

PanelView Plus 7 Standard ターミナル

Cat. No. 2711P-T4W21D8S、2711P-T4W21D8S-B、2711P-T6C21D8S、2711P-T6C21D8S-B、2711P-T7C21D8S、
2711P-T7C21D8S-B、2711P-T9W21D8S、2711P-T9W21D8S-B、2711P-T10C21D8S、2711P-T10C21D8S-B、
2711P-T12W21D8S、2711P-T12W21D8S-B、2711P-T15C21D8S、2711P-T15C21D8S-B



お客様へのご注意

本装置の設置、構成および操作について、本マニュアルおよび参考資料に記載された資料に目を通してから、本製品の設置、構成、操作、メンテナンスを行なってください。ユーザは適用されるすべての条例、法律、規格要件に加えて、設置、配線指示に熟知している必要があります。

設置、調整、供用開始、使用、組立て、分解、メンテナンスを含めた作業は、適切な実施基準に従って適切な訓練を受けた作業員しか実施しないでください。

本装置を製造メーカーの指定した方法以外で使用した場合、装置の保護機能が低下する可能性があります。

Rockwell Automation, Inc. は、いかなる場合も、本機器の使用または適用により発生した間接的または派生的な損害について一切の責任を負いません。

本書で使用した図表やプログラム例は内容を理解しやすくするためのものであり、その結果としての動作を保証するものではありません。個々の用途については数値や条件が変わることが多いため、当社では図表やプログラム例に基づいて実際に使用した場合の結果については責任を負いません。

本書に記載されている情報、回路、機器、装置、ソフトウェアの利用に関して特許上の問題が発生しても、当社は一切責任を負いません。製品改良のため、仕様などを予告なく変更することがあります。

Rockwell Automation, Inc. の書面による許可なく本書の全部または一部を複製することは禁じられています。

本書を通じて、特定の状況下で起こりうる人体または装置の損傷に対する警告および注意を示します。



警告： 本書内の「警告」は、人体に傷害を加えうる事項、および装置の損傷または経済的な損害を生じうる、危険な環境で爆発が発生する可能性がある操作や事項を示します。



注意： 本書内の「注意」は正しい手順を行なわない場合に、人体に傷害を加えうる事項、および装置の損傷または経済的な損害を生じうる事項を示します。危険を示し、危険を防止し、結果を認識する助けとなるよう注意を促します。

重要

本書内の「重要」は、製品を正しく使用および理解するために特に重要な事項を示します。

装置上、または装置内にあるラベルは、特別な注意事項に関するものです。



感電の危険： 危険な電圧が発生する恐れがあることを警告するために、ドライブやモータなどの機器または機器の内部にラベルを貼っています。



やけどの危険： 表面が危険な温度に達する恐れがあることを警告するために、ドライブやモータなどの機器または機器の内部にラベルを貼っています。



アーク閃光の危険： モータ・コントロール・センタなどの装置上、または装置内にあるラベルは、アーク閃光などが発生する可能性があることを警告します。アーク閃光は重傷または死亡にいたる恐れがあります。適切な保護具（PPE）を装着してください。作業の安全と保護具（PPE）に必要な規制要件を順守してください。

本マニュアルには、新しい情報と前回リリースされたマニュアルから更新された情報があります。

新情報と更新情報

以下の表に、このリビジョンでの変更内容を示します。

項目	参照ページ
本ユーザーズマニュアルに以下の新しいターミナルに関する情報を追加。 <ul style="list-style-type: none"> • 12.1 インチ (2711P-T12W21D8S および 2711P-T12W21D8S-B) • 15 インチ (2711P-T15C21D8S および 2711P-T15C21D8S-B) 	-
ターミナル機能のリストを更新。	11
ハードウェア機能の表を更新。	12
カタログ番号の説明を更新。	16
製品選択の表を更新。	16
保護オーバーレイアクセサリの表を更新。	17
パネルのカットアウト寸法の更新。	24
取付けレバーの向きおよびロック手順の図を更新。	27

Notes:

はじめに	参考資料	9
	パッケージの内容	9
	製品リリースノート	10
	第 1 章	
概要	PanelView Plus 7 Standard ターミナルについて	11
	ハードウェアの機能	12
	オペレータコントロール	13
	ソフトウェアサポート	13
	PanelView Plus 7 Standard アプリケーション	14
	Windows CE オペレーティングシステム	14
	オープンシステムとクローズドシステム	14
	デスクトップアクセス	14
	起動オプション	15
	EtherNet/IP 通信	15
	通常の構成	15
	カタログ番号の説明	16
	製品の選択	16
	アクセサリ	17
	イーサネットケーブル	18
	第 2 章	
PanelView Plus 7 Standard ターミナルの 取付け	危険な領域	21
	USB 周辺機器に必要な回路ポートパラメータ	23
	取付けに関する注意事項	24
	取付け間隔	24
	パネルに関するガイドライン	24
	パネルカットアウト寸法	24
	パネル取付けの準備	25
	ターミナルのパネルへの取付け	28
	電源端子台の取り外しと交換	32
	電源の接続	33
	ネットワークへの接続	34
	イーサネットポート	34
	リニア・ネットワーク・トポロジ	35
	スター・ネットワーク・トポロジ	36
	初回起動時	37
	ターミナルのリセット	37
	第 3 章	
ターミナル設定の構成	FactoryTalk View ME Station	39
	ターミナル設定	41
	ソフトキーボード	42
	アプリケーションのロードと実行	43

デスクトップアクセス	44
デスクトップへのアクセスの有効	44
デスクトップへのアクセスの無効	45
デスクトップのパスワードの設定	47
デスクトップのパスワードの再設定	48
起動オプションの構成	49
起動時の FactoryTalk View ME Station の無効	49
起動時の構成モードの実行	50
起動時のロード済みアプリケーションの実行	51
コントローラのアドレスの構成	52
イーサネット設定の構成	52
ターミナルのイーサネットアドレスの設定	53
イーサネットリンク速度の設定	54
サーバアドレスへの名前の指定	54
ターミナルのデバイス名の変更	55
ターミナルでのファイルのコピー	56
ターミナルからのファイルの削除	57
ログファイルの削除	57
ディスプレイの設定	58
ディスプレイの輝度の調整	58
スクリーンセーバの構成	59
スクリーンカーソルの無効	59
入力装置の設定	60
タッチスクリーンのキャリブレーション	60
タッチスクリーンでのダブルタップ感度の設定	61
文字列入力用ポップアップの変更	61
印刷オプションの構成	62
診断の構成	64
アプリケーションファイルの整合性チェック	65
システム・イベント・ログの表示とクリア	66
アラームディスプレイの有効 / 無効	66
システム情報の表示	67
ターミナル情報の表示	67
FactoryTalk View ME Station の情報の表示	69
時刻と日付の設定	70
ターミナルでのタイムゾーンの変更	70
ターミナルでの現在の日付の変更	71
ターミナルでの現在の時刻の変更	71
地域の設定	72
小数点記号の変更	72
言語の時刻形式の変更	73
言語の短い日付形式の変更	74
言語の長い日付形式の変更	74

第 4 章

Windows オペレーティングシステム	オペレーティングシステムの機能	75
	アプリケーションサポート	76

スクリプトのサポート	76
ネットワークのサポート	76
サーバのサポート	77
Windows Explorer	77
タスクバー	77
ソフト入力パネル	78
Windows コントロールパネル	78
バックアップおよび復元	79
バックアップの実行	80
バックアップイメージの復元	81
ディスプレイプロパティ	83
デスクトップの背景	83
デスクトップの外観	83
バックライトの輝度	83
スクリーンセーバ	84
カーソル	84
画面の回転	85
ハードウェアモニタ	85
プロセス	85
システム・イベント・ログ	86
モニタ	86
ロゴマネージャ	87
ユーザアカウント	89
サービス	91
ネットワークサーバ構成	91
VNC サーバ構成	91
Web サーバの構成	99
FTP サーバ構成	100
ファイルサーバ	103
KEP サーバ構成	104
システム情報	104
全般情報	104
スタートアップオプション	104
デバイス名	107
タッチプロパティ	108
キャリブレーション	108
ダブルタップ	108
PDF リーダ	109
コマンド・プロンプト・パラメータ	110

第 5 章

コンポーネントの取付け および交換

USB ポートへの接続	112
USB ケーブル	113
USB プリンタのインストール	113
プラグ & プレイインストール	113
プリンタの手動インストール	115
SD カードの挿入	115

	バッテリーの交換	117
	保護オーバーレイの取付け	119
	オーバーレイの清掃	120
	オーバーレイの取り外し	120
	第 6 章	
ファームウェアのアップ デート	ターミナルのファームウェア	121
	ファームウェアファイルのダウンロード	122
	ファームウェア・アップグレード・ウィザード	123
	記憶装置からのターミナルのファームウェアの アップグレード	123
	ファームウェア・アップグレード・カードの作成	123
	ファームウェア・アップグレード・カードを使用する ターミナルファームウェアのアップグレード	126
	ネットワークを介するターミナルファームウェアの アップグレード	127
	第 7 章	
トラブルシューティング	システム情報の表示	131
	ステータスインジケータ	132
	ターミナルが起動しない	133
	ターミナルの断続的な再起動	133
	タッチスクリーンの問題	133
	ディスプレイに関する問題	134
	イーサネットに関する問題	134
	パフォーマンスが遅い	135
	化学物質に対する耐性	135
	ディスプレイの清掃	136
	塗料やグリースの除去	136
	機器の洗浄	136
	ターミナルの発送	136
	メンテナンスモードでの操作	137
	付録 A	
ターミナルの常駐フォント	TrueType フォント	139
索引	143

本マニュアルでは、PanelView™ Plus 7 Standard ターミナルの取付け、構成、操作、およびトラブルシューティング方法について解説します。本マニュアルには、ターミナル上で、またはコントローラ内で動作するラダーロジック上で動作するアプリケーションの作成手順は記載していません。

実行する必要があるその他のタスクは以下の通りです。

- FactoryTalk® View Machine Edition (ME) ソフトウェアのバージョン 7.0 以降を使用して、ターミナルのヒューマン・マシン・インターフェイス (HMI) アプリケーションを作成する。
- Studio 5000 Logix Designer™ アプリケーションを使用して、コントローラのラダーロジックを作成する。

参考資料

以下の資料には、当社の関連製品に関する追加情報が記載されています。

マニュアル名	説明
PanelView Plus 7 Standard 7 Standard Terminals Technical Data (Pub. No. 2711P-TD008)	PanelView Plus 7 Standard ターミナルの技術仕様、環境仕様、および認可について説明する。
Industrial Automation Wiring and Grounding Guidelines (配線および接地に関するガイドライン) (Pub. No. 1770-4.1)	ロックウェル・オートメーションの産業用システムを取付ける際の一般的なガイドライン
Safety Guidelines for the Application, Installation and Maintenance of Solid State Controls (ソリッド・ステート・コントロール ソリッドステート機器のアプリケーション、設置、および保守のための安全ガイドライン) (Pub.No. SGI-1.1)	ソリッド・ステート・コンポーネントを使用する個々のデバイスまたはパッケージアセンブリの形式でのソリッド・ステート・コントロールのアプリケーション、インストール、メンテナンスのための一般的なガイドライン
Guidelines for Handling Lithium Batteries Technical Data (Pub.No. AG-5.4)	リチウム電池の保管、取り扱い、取付け、および廃棄のためのガイドライン
製品認証についての Web サイト : http://www.ab.com	適合宣言書 (DoC)、認可、および他の認可の詳細

これらの資料は、<http://www.rockwellautomation.com/literature/> で閲覧したり、またはダウンロードすることができます。技術資料をハードコピーでお求めの場合は、当社または当社代理店までお問い合わせください。

パッケージの内容

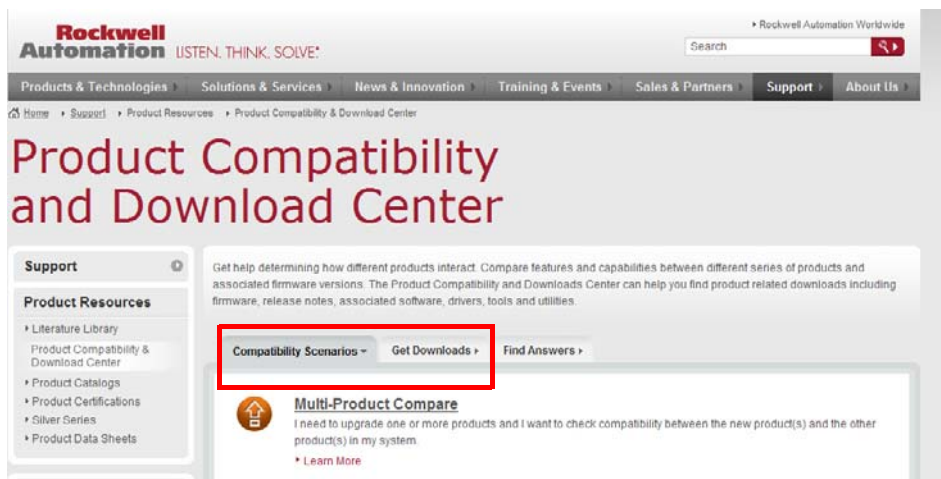
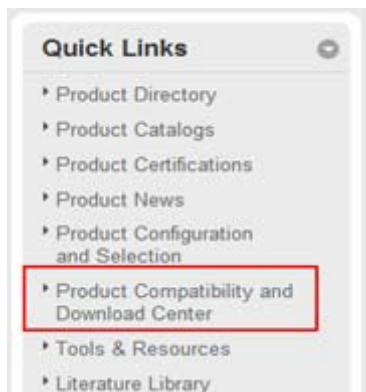
この製品には以下のものが付属しています。

- FactoryTalk View ME Station ランタイムソフトウェアがインストールされ、アクティベーションされている PanelView Plus 7 Standard ターミナル
- パネル取付け用のレバー
- 脱着式電源端子台
- セキュアデジタル (SD) カードカバー
- 製品情報
- カットアウト用テンプレート
- 中国 RoHS に関する情報
- 製品機能に関するお知らせ

製品リリースノート

製品リリースノートは、Product Compatibility and Download Center からオンラインで入手できます。

1. <http://www.ab.com> の Quick Links リストから、Product Compatibility and Download Center を選択します。



2. Compatibility Scenarios タブまたは Get Downloads タブから、ご使用の製品を検索して選択します。

Start by selecting products

Product Search:

<input type="text" value="search by name or description"/>	<input type="text" value="All Categories"/>	<input type="text" value="All Families"/>	<input type="button" value="Go"/>
--	---	---	-----------------------------------

Example: 1756-L61, L65, Logix, Ethernet *You can also filter by product category or family.*

3. ダウンロードアイコン  をクリックして、製品リリースノートを入手します。

概要

項目	参照ページ	項目	参照ページ
PanelView Plus 7 Standard ターミナルについて	11	起動オプション	15
ハードウェアの機能	12	EtherNet/IP 通信	15
オペレータコントロール	13	通常の構成	15
ソフトウェアサポート	13	カタログ番号の説明	16
Windows CE オペレーティングシステム	14	製品の選択	16
オープンシステムとクローズドシステム	14	アクセサリ	17
デスクトップアクセス	14	イーサネットケーブル	18

PanelView Plus 7 Standard ターミナルについて



PanelView Plus 7 Standard ターミナルは、オペレータインターフェイス装置であり、EtherNet/IP ネットワーク上で ControlLogix[®] 5570 および CompactLogix[™] 5370 コントローラに接続された装置をモニタおよび制御します。アニメーション画像やテキスト表示により、オペレータに機械やプロセスの動作状態を伝えます。オペレータは、タッチスクリーンへの入力を介して制御システムと情報をやりとりします。

PanelView Plus 7 Standard ターミナルには、以下の機能が搭載されています。

- 1 台のコントローラと最大 25 のスクリーンおよび最大 200 のアラームを接続可能なターミナル機能
- FactoryTalk View Machine Edition ソフトウェアによる HMI アプリケーション作成のための使い慣れた環境
- 設定やサードパーティ製アプリケーションにデスクトップからアクセスできる Windows CE オペレーティングシステム
- リニアおよびスター・ネットワーク・トポロジをサポートするイーサネット通信
- PDF ビューアによるターミナル上に格納された PDF ファイルへのアクセス
- 4 インチ、6 インチ、7 インチ、9 インチ、10 インチ、12 インチ、および 15 インチを含むターミナルの追加スクリーンオプション
- 4 インチ、9 インチ、12 インチの 3 サイズが選べるワイドスクリーンターミナル
- スクリーン解像度の向上
- ターミナルは、アレン・ブラドリーのブランドとして、またはターミナルに自社ブランドを希望するお客様向けにノーブランドとして使用することができます。
- クラス1、ディビジョン2、およびATEXゾーン2および22などの認証

ハードウェアの機能

PanelView Plus 7 Standard ターミナルでは、さまざまなディスプレイサイズの固定ハードウェア構成とタッチスクリーン入力を備えています。

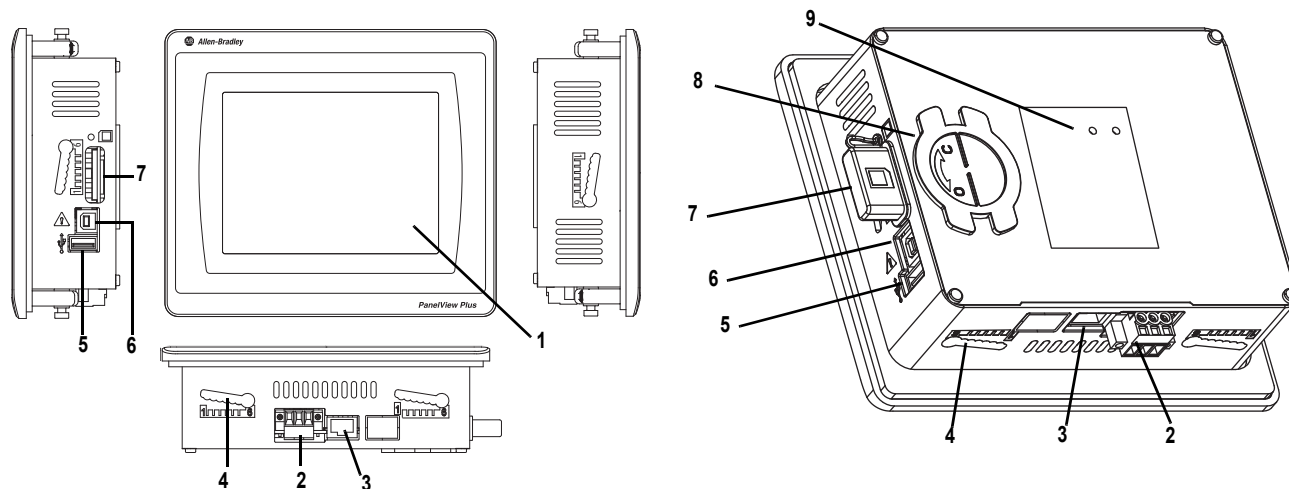


表 1 - ハードウェアの機能

項目	機能	説明
1	ディスプレイ/ タッチスクリーン	タッチスクリーンを備えたさまざまなサイズの TFT カラー・グラフィック・ディスプレイ ・ 4.3 インチ・ワイド・スクリーン・タッチ (WQVGA) ・ 5.7 インチタッチ (VGA) ・ 6.5 インチタッチ (VGA) ・ 9.0 インチ・ワイド・スクリーン・タッチ (WVGA) ・ 10.4 インチタッチ (SVGA) ・ 12.1 インチ・ワイド・スクリーン・タッチ (WXGA) ・ 15.0 インチタッチ (XGA)
2	電源	公称 DC24V (DC18~30V) 非絶縁入力電源
3	イーサネット ポート	シングル 10/100Base-T、Auto MDI/MDI-X、コントローラ通信用のイーサネットポート
4	取付けスロット	パネルまたはエンクロージャのデバイス取付けスロットに取付けレバーを挿入します。スロットの数は、ターミナルのサイズによって異なります。
5	汎用シリアルバス (USB) ホスト ポート	USB 2.0 高速 (タイプ A) ホストポート x1
6	USB デバイス ポート	ホストコンピュータへの接続用の USB 2.0 高速 (タイプ B) デバイスポート x1
7	SD カードスロット および保護カ バー	・ 外付けストレージ用ホットスワップ可能 SD カード (Cat. No. 1784-SDx) をサポートする SD カードスロット x1 ・ 重要 :ATEX 機器の取付け - 保護カバーはスロットの SD カードを保護し、ATEX および危険な環境での取付けに必要となります。 - ホットスワップ、ATEX、および危険な環境での取付けについては、 115 ページの「SD カードの挿入」 を参照してください。
8	バッテリー	バッテリーカバーは、交換のためリチウムバッテリーにアクセスできます。
9	ステータスイン ジケータ	ターミナル背面のステータスインジケータは、ステータスおよびフォルト状態を表示します。

オペレータコントロール

すべてのターミナルには、オペレータコントロール用のタッチスクリーン付きカラーディスプレイが搭載されています。抵抗性タッチスクリーンにより、産業アプリケーション向けの正確で信頼性の高い、耐久性のあるタッチ操作を行なうことができます。



注意：タッチスクリーンは、乾燥したまたは湿度の高い環境での指先、スタイラスまたは手袋をはめた指による入力を受取ります。

プラスチック製スタイラスは、先端の半径が1.3mm(0.051インチ)以上である必要があります。その他の物体または工具を使用すると、タッチスクリーンを損傷する場合があります。

同時に複数の操作を行なわないでください。意図しない動作を引き起こす場合があります。タッチスクリーン上の操作要素に、一度に1つだけ1本の指で触れてください。

ヒント 実行時に、データ入力のために仮想キーボードまたは数値キーパッドがターミナル画面に表示されます。

タッチスクリーンはタッチジェスチャをサポートし、実行時に画面要素を使って対話的に操作することができます。タッチスクリーンでは以下のタッチジェスチャのみを使用してください。

- **タップ** – ターミナル画面の対象を指先で短くタップします。
- **ダブルタップ** – ターミナル画面の対象を指先で素早く2回タップします。
- **ドラッグ** – ターミナル画面の対象をタッチし、指先を画面上で移動します。
- **長押し** – 画面上の対象をタッチしたまま、数秒間動かさずにおきます。

タッチジェスチャを使用して実行できる操作リストは、FactoryTalk View ME ヘルプを参照してください。

ソフトウェアサポート

重要 インストールされているサードパーティ製ソフトウェア、アップデート、パッチ、またはファームウェアに悪意のあるバグやスパイウェアなどがないことをお客様の責任で確認してください。

表 2 - PanelView Plus 7 Standard ソフトウェアのサポート

ソフトウェア	説明	バージョン
FactoryTalk View ME Station	ターミナルのランタイム環境： <ul style="list-style-type: none"> • FactoryTalk View ME アプリケーションの実行。 • ターミナル設定の表示と構成オプションの提供。 Machine Edition Station は各ターミナルにロード済みであり、アクティベーションは必要ない。	7.0 以降
FactoryTalk View Studio for Machine Edition	ターミナル上で実行される HMI アプリケーションの開発用ソフトウェア。このソフトウェアはターミナル上では実行されない。このソフトウェアで作成された HMI アプリケーションがターミナルにロードされる。	7.0 以降
FactoryTalk ViewPoint	ターミナル上で実行される HMI アプリケーションにインターネットブラウザを使用してリモートユーザがアクセスし制御することを可能にするウェブ・サーバ・アプリケーション。 ターミナルごとに、ターミナルへの1つのクライアント接続をサポートする1つのライセンスが含まれている。	1.2 以降

PanelView Plus 7 Standard アプリケーション

PanelView Plus 7 Standard Machine Edition アプリケーションは、以下のアプリケーションに制限されています。

- 最大 25 のスクリーン
 - 最大 200 のアラームメッセージ
 - RSLinx Enterprise または KEPServer Enterprise ソフトウェアのいずれかを使用して、1 台のコントローラに 1 つの接続またはショートカット
 - イーサネット通信のみサポート
- RSLinx Enterprise ソフトウェアを使用する場合、イーサネットドライバがサポートされています。

Windows CE オペレーティングシステム

ターミナルでは、Windows CE オペレーティングシステムが動作しています。これらのデバイスでは、HMI アプリケーションが実行され、以下の機能を持ったデスクトップが利用できます。

- ファイル転送プロトコル (FTP) サーバ
- バーチャル・ネットワーク・コンピューティング (VNC) クライアントおよびサーバ
- ActiveX コントロール - ターミナルにインストールされた ActiveX コントロールのリストを表示するには、[69 ページの「FactoryTalk View ME Station の情報の表示」](#)を参照してください。

ヒント ActiveX コントロールの全リストは、<http://www.rockwellautomation.com/knowledgebase> にアクセスし、ナレッジベースで「ActiveX Support for PanelView Plus Terminals」というキーワードを入力して検索してください。

- PDF リーダ
- サードパーティのデバイスのサポート

オープンシステムとクローズドシステム

以下のオープンまたはクローズドデスクトップ環境で実行するようにターミナルを構成することができます。

- オープンシステムでは、スタートアップ時に Windows デスクトップが起動されます。
- クローズドシステムでは、スタートアップ時に FactoryTalk View ME アプリケーションまたは FactoryTalk View ME Station が起動します。デスクトップへのアクセスは制限されています。

ターミナルはすべて、クローズドシステムとして出荷されます。

デスクトップアクセス

ターミナルでは Windows デスクトップへのアクセスを許可または制限することができます。デスクトップでは、システムの操作やコントロールパネルの操作を実行したり、サードパーティのアプリケーションを実行することができます。また、特定のタスクを実行するために一時的にアクセスを許可した後で、許可されていない変更を防ぐためにデスクトップへのアクセスを無効にすることもできます。

ヒント すべてのターミナルは、デスクトップへのアクセスが無効な状態で出荷されます。

デスクトップへのアクセスの変更方法については、[44 ページの「デスクトップアクセス」](#)を参照してください。

起動オプション

ターミナルは、スタートアップ時に以下の3つの動作のうち、いずれか1つを実行することができます。

- FactoryTalk View ME HMI アプリケーションを起動する。
- 構成モードで FactoryTalk View ME Station を起動する。このモードにより、ターミナル設定とスタートアップオプションを構成し、アプリケーションをロードして実行し、デスクトップへのアクセスを有効または無効にする。
- Windows デスクトップを起動する。

工場出荷時の設定状態とファームウェアアップグレード後の起動オプションでは、ターミナルが構成モードで起動します。起動オプションの変更方法の詳細は、[49 ページの「起動オプションの構成」](#)を参照してください。

EtherNet/IP 通信

PanelView Plus 7 Standard ターミナルは、EtherNet/IP 接続を介して ControlLogix 5570 および CompactLogix 5370 コントローラと通信します。

通常の構成

従来のスターおよびリニア・ネットワーク・トポロジがサポートされています。例として、以下の項目を参照してください。

- [35 ページの「リニア・ネットワーク・トポロジ」](#)
- [36 ページの「スター・ネットワーク・トポロジ」](#)

カタログ番号の説明

ターミナルのカタログ番号の説明については、以下の表を参照してください。

Bulletin	入カタイプ	ディスプレイ サイズ	ディスプレイタイプ	ネットワーク	電源	オペレーティ ングシステム	モデル	オプション
2711P-	T=タッチスクリーン	4=4.3 インチ 6=5.7 インチ 7=6.5 インチ 9=9.0 インチ 10=10.4 インチ 12=12.1 インチ 15=15.0 インチ	C=カラー W=ワイドアスペクト比カラー	21=シングル・イーサネット・ポート	D=DC	8=Windows CE	S=Standard ⁽¹⁾	B=ノーブランドラベル

(1) 標準モデルは、Windows CE バージョン 6.0 オペレーティングシステムと FTP サーバ、VNC クライアントサーバ、ActiveX コントロール、および PDF リーダをサポートしています。

製品の選択

表 3 に、製品選択について説明します。

表 3 - PanelView Plus 7 Standard ターミナル製品の選択

Cat. No. ⁽¹⁾	ディスプレイ				入力 電源	イーサ ネット ポート 数★	メモリ	
	タッチスクリーン	サイズ	タイプ	アスペ クト比			ピクセル (W x H)	RAM
2711P-T4W21D8S		4.3 インチ	WQVGA TFT カラー	16:9	480 x 272	DC	1	512MB 250MB
2711P-T6C21D8S		5.7 インチ	VGA TFT カラー	4:3	640 x 480	DC	1	512MB 250MB
2711P-T7C21D8S		6.5 インチ	VGA TFT カラー	4:3	640 x 480	DC	1	512MB 250MB
2711P-T9W21D8S		9.0 インチ	WVGA TFT カラー	5:3	800 x 480	DC	1	512MB 250MB
2711P-T10C21D8S		10.4 インチ	SVGA TFT カラー	4:3	800 x 600	DC	1	512MB 250MB
2711P-T12W21D8S		12.1 インチ	WXGA TFT カラー	16:10	1280 x 800	DC	1	512MB 250MB
2711P-T15C21D8S		15.0 インチ	XGA TFT カラー	4:3	1024 x 768	DC	1	512MB 250MB

(1) アレン・ブラドリーのロゴや製品識別情報のないターミナルを注文する場合は、カタログ番号の末尾に B を付加してください（例：2711P-T9W21D8S-B）。

(2) ユーザがアプリケーションの保存に使用できるメモリ。

アクセサリ

表4から表9では、PanelView Plus 7 Standard ターミナル用アクセサリのリストを示しています。

表4 - 保護オーバーレイ

Cat. No.	ディスプレイサイズ	タッチ入力	数量
2711P-RGT4S	4.3 インチ	•	3
2711P-RGT6S	5.7 インチ	•	3
2711P-RGT7SP	6.5 インチ	•	3
2711P-RGT9SP	9.0 インチ	•	3
2711P-RGT10SP	10.4 インチ	•	3
2711P-RGT12SP	12.1 インチ	•	3
2711P-RGT15SP	15 インチ	•	3

表5 - 電源および電源端子台

Cat. No.	説明	数量
1606-XLP95E	DIN レール電源、DC24 ~ 28V 出力電圧、95W	1
1606-XLP100E	DIN レール電源、DC24 ~ 28V 出力電圧、100W	1
2711P-RSACDIN	DIN レール電源、AC-DC、AC85 ~ 265V、47 ~ 63Hz	1
2711P-RTBDSP	3 ピン DC 電源端子台（黒色に白のラベルは+、-、およびGND）	10

表6 - 取付け具

Cat. No.	説明	数量
2711P-RMCS ⁽¹⁾	取付けレバー（灰色）	12

(1) Cat. No. 2711P-RMCS 取付けレバーは、PanelView Plus 7 Standard ターミナルでのみ使用します。これらの取付けレバーを他の PanelView Plus ターミナルで使用しないでください。黒色の取付けレバーを使用しないでください。PanelView Plus 7 Standard ターミナルとは互換性がありません。

表7 - SD カード⁽¹⁾

Cat. No.	説明	数量
1784-SD1	1-GB SD カード	1
1784-SD2	2-GB SD カード	1
2711C-RCSD	SD カード用の USB/SD アダプタ	1
2711P-RCKS	交換用 SD カバー	3

(1) ターミナルで SD カードまたは USB ドライブを使用する場合は、データ破損の可能性を減らすため、ロックウェル・オートメーションでは Cat. No. 1784-SD1 または 1784-SD2 の SD カードを使用することをお奨めします。

表8 - USB プログラミングケーブル

Cat. No.	説明	長さ
6189V-USBCBL2	ターミナルのデバイスポートからコンピュータの USB ホストポートに接続するためのプログラミングケーブル	1.8m (5.9 フィート)

表9 - 交換用バッテリー

Cat. No.	説明	数量
2711P-RY2032	リチウムコイン型バッテリー CR2032 と同等のバッテリー	1
2711P-RYKS	交換用バッテリーカバー	3

イーサネットケーブル

推奨のイーサネットケーブルおよびメディアソリューションについては、『Industrial Ethernet Media Brochure』（Pub. No. [1585-BR001B](#)）を参照してください。

USB/シリアル・ポート・アダプタに関する情報は、『USB to Serial Adapter Quick Start Guide』（Pub. No. [GMSC10-QS003](#)）を参照してください。

PanelView Plus 7 Standard ターミナルの取付け

項目	参照ページ
危険な領域	21
取付けに関する注意事項	24
取付け間隔	24
パネルに関するガイドライン	24
パネルカットアウト寸法	24
パネル取付けの準備	25
ターミナルのパネルへの取付け	28
電源端子台の取り外しと交換	32
電源の接続	33
ネットワークへの接続	34
初回起動時	37
ターミナルのリセット	37



注意 : PanelView Plus 7 Standard ターミナルを非常停止や人員または機器の安全にとって極めて重要なその他の制御のために使用しないでください。ソリッドステートを使用した電子機器に依存しない、ハード配線された別のオペレーターインターフェイス装置を使用してください。

本機器は下記規格の要件に適合し、等級は下記の通りとなります。

ATEX:

- EN 60079-0:2009、EN 60079-11:2012、EN 60079-15:2010、EN 60079-31:2009
- II 3 GD
- Ex ic nA IIC T4 Gc
- Ex tc IIIC T135°C (275°F) Dc IP66
- Tamb = 0 ~ +55°C (32 ~ +131 °F)
- DEMKO 14 ATEX 1302X



注意：環境およびエンクロージャ

この装置は、過電圧カテゴリ II アプリケーション (IEC 60664-1 に定義)、高度 2000m (6561 フィート) までディレーティングなし、汚染度 2 の産業用環境での使用を意図しています。このターミナルは、プログラマブル・ロジック・コントローラと共に使用されることを前提としています。

この装置は、IEC/CISPR Pub. No.11 に準拠したグループ 1、クラス A 産業用装置とみなされます。適切な予防策を講じないと、伝導性と放射性の外乱のため、住居や他の環境で電磁妨害波の影響を防ぐことが困難になります。

韓国電磁波適合登録 - 標章が付されている場合、この装置は家庭用機器ではなく、業務用機器 (A) として電磁波適合登録されています。販売者および使用者は、この点に注意する必要があります。

이 기기는 업무용 (A 급) 전자파적합기기로서 판 매자 또는 사용자는 이 점을 주의하시기 바라 며, 가정외의 지역에서 사용하는 것을 목적으로 합니다.

この装置は、「開放型」装置として出荷されています。特定の環境条件に適合し、帯電部への接触による人体への危険を防ぐように適切に設計されたエンクロージャ内に取付ける必要があります。また、何らかのツールを使用しなければエンクロージャの内部にアクセスできないような構造が必要です。これらのターミナルは、対応する定格のパネルまたはエンクロージャに取付けられた場合にのみ、特定の NEMA/UL タイプおよび IEC 定格を満たします。以降のセクションには、特定の製品の安全要件を満たすのに必要な特定のエンクロージャタイプの定格に関する追加情報が記載されています。

他の参考文献：

- その他の取付け要件については、『配線および接地に関するガイドライン』(Pub. No. [1770-4.1](#)) を参照してください。
- エンクロージャのタイプによって異なる保護レベルの説明については、対応する NEMA 250 および IEC 60529 を参照してください。



注意：配線および安全に関するガイドライン

デバイスの配線を行なう場合は、NFPA 70E 『Electrical Safety Requirements for Employee Workplaces』、IEC 60364 『Electrical Installations in Buildings』、または設置する国の他の適合する配線の安全要件を参照して使用してください。NFPA ガイドラインの他に、以下の点にもご注意ください。

- 機器の配線作業には資格を持つ技術者のみを用い、現地、州、国の法令に従って行なってください。
- 機器および他の類似の電子機器はそれぞれの分岐回路に接続してください。
- 15A 以下の定格を持つヒューズまたはサーキットブレーカを使用して入力電源を保護してください。
- 入力電源は、通信ラインとは異なる経路で機器まで配線してください。
- 電力線および通信線を交差しなければならないときは、垂直交差になるようにしてください。
- 通信線は、低レベル DC I/O 回線 (10V 未満) と同じ配線管に入れることができます。
- 電磁干渉 (EMI) を防止するために、ケーブルを適切にシールドし、接地してください。接地処理は、EMI によるノイズを最小限に抑える手段であり、電気設備における安全対策です。

推奨される接地方法については、米国消防協会 (NFPA) が公表する米国電気工事規定 (NEC) を参照してください。

危険な領域

The following information applies when operating this equipment in hazardous locations.

Products marked “CL I, DIV 2, GP A, B, C, D” are only suitable for use in Class I, Division 2, Groups A, B, C, and D hazardous locations and nonhazardous locations. Each product is supplied with markings on the rating nameplate indicating the hazardous location temperature code. When combining products within a system, the most adverse temperature code?lowest “T” number?can be used to help determine the overall temperature code of the system. Combinations of equipment in your system are subject to investigation by the local authority having jurisdiction at the time of installation.



WARNING: EXPLOSION HAZARD

The following information applies when operating this equipment in hazardous locations.

This equipment is suitable for use in Class I, Division 2, Groups A, B, C, and D or nonhazardous locations only.

- Do not disconnect equipment unless power has been removed or the area is known to be nonhazardous.
- Do not disconnect connections to this equipment unless power has been removed or the area is known to be nonhazardous. Secure any external connections that mate to this equipment by using screws sliding latches, threaded connectors, or other means provided with this product.
- When installed in a hazardous location do not open the enclosure, install or remove the memory card or battery, or connect or disconnect equipment unless the area is known to be nonhazardous.
- Substitution of components can impair suitability for Class I, Division 2.
- Peripheral equipment must be suitable for the location where it is used.
- All wiring must be in accordance with Class I, Division 2 wiring methods of Article 501 of the National Electrical Code and/or in accordance with Section 18-1J2 of the Canadian Electrical Code, and in accordance with the authority having jurisdiction.
- For ATEX Zone 2 applications, transient limiting shall be provided in the application that limits transient overvoltages to not more than 40% above the applied voltage.
- For ATEX applications, mount the display in environments where ultraviolet?UV?light cannot influence the nonmetallic parts.
- USB device port is for maintenance use only, it is not to be used during normal operation of the device.
- Install the display in the cutout of an enclosure by using the provided clamps to compress the bezel gasket to form a seal against the panel. The gasket seal is permanent for the installation.
- Use field/power wiring that is rated to a minimum of 90 °C?194 °F?.
- Install the display in a location that minimizes the risk of impact from other objects. Do not drop, jolt, or impact the display during installation.
- For ATEX, mount the display through an enclosure wall with a minimum ingress protection rating of IP54?Zone 2 applications?and IP6x?Zone 22 applications?, and in an overall environment not exceeding Pollution Degree 2.?The display supports enclosure ratings up to IP66.?The enclosure must meet the requirements of EN 60079-0:2009, EN 60079-11:2012, EN 60079-15:2010, and EN 60079-31:2009 as applicable.
- Do not use the USB ports in ATEX Zone 2 and Zone 22 applications unless the area is known to be nonhazardous.

この装置を危険な場所で操作する場合に、以下の情報が適用されます。

“CL I, DIV 2, GP A, B, C, D” の表示がある製品は、クラス I、ディビジョン 2、グループ A、B、C、および D の危険な領域および危険ではない領域での使用にのみ適しています。各製品は、危険な場所の温度コードを示すようにマーキングされた定格銘板付きで提供されます。システム内で製品を組合わせて使用する場合は、最も厳しい温度コード（最低の温度コード）を使用すると、システム全体の温度コードを判別するのに役立ちます。システム内での装置の組合せは、取付け時に各地域の管轄機関による検査を受けることがあります。



警告：爆発の危険性

この装置を危険な場所で操作する場合に、以下の情報が適用されます。

この機器は、クラス I、ディビジョン 2、グループ A、B、C、および D または危険ではない領域での使用にのみ適しています。

- 電源を切断するか、または領域が危険でないとわかるまでは、装置を切り離さないでください。
- 電源を切断するか、または領域が危険でないとわかるまでは、この装置への接続を切り離さないでください。ねじ、スライディングラッチ、ねじ式のコネクタ、またはこの製品と共に提供される他の手段を用いて、この機器に接続されているすべての外部コネクタを固定してください。
- 機器を危険な領域に設置する場合、領域が危険でないとわかるまでは、エンクロージャを開いたり、メモリカードやバッテリーの脱着、機器の接続や切断を行なわないでください。
- コンポーネントを置き換えると、クラス I、ディビジョン 2 への適合性を損なうことがあります。
- 周辺機器は、使用する環境に適合していることが必要です。
- すべての配線は、米国電気工事規定 (NEC) の第 501 条に従うクラス I、ディビジョン 2 の配線方法、またはカナダ電気工事規定のセクション 18-1J2 や他の管轄機関に従う必要があります。
- ATEX ゾーン 2 アプリケーションの場合は、過渡的な過電圧が適正電圧範囲を 40% 超過しないように過電圧保護を講じる必要があります。
- ATEX アプリケーションの場合は、紫外線 (UV) が非金属製部品に影響を及ぼすことのない環境でディスプレイを取付けます。
- USB デバイスポートはメンテナンスのためにのみ使用し、機器の通常運転中に使用するものではありません。
- 付属のクランプを使用してベゼルガasketを圧縮してパネルに対して密閉し、エンクロージャのカットアウトにディスプレイを取付けます。取付けられたガasketシールは、永続的に使用されます。
- 最低でも 90°C (194°F) の定格を持つフィールド / 電源配線を使用してください。
- 他の物とぶつかる危険のない場所にディスプレイを設置します。取付け作業中にディスプレイを落としたり、振動や衝撃を受けないよう注意してください。
- ATEX アプリケーションの場合は、最低でも浸入保護等級 IP54 (ゾーン 2 アプリケーション) および IP6x (ゾーン 22 アプリケーション)、および全体的な環境が汚染度 2 を超えない範囲で、エンクロージャの壁を通してディスプレイを取付けます (ディスプレイは最大 IP66 の保護等級をサポート)。エンクロージャは、対応する EN 60079-0:2009、EN 60079-11:2012、EN 60079-15:2010、および EN 60079-31:2009 の要件を満たす必要があります。
- 領域が危険でないとわかるまでは、ATEX ゾーン 2 およびゾーン 22 アプリケーションでは USB ポートを使用しないでください。

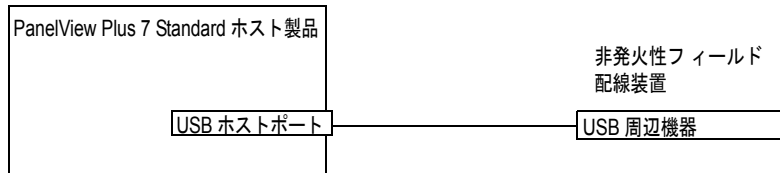
ターミナルは、最高周囲温度が 55°C (131°F) で操作する場合、温度コード T4 に区分されます。大気の発火温度が 135°C (275°F) 未満の環境には製品を設置しないでください。

USB 周辺機器に必要な回路ポートパラメータ

この製品には、危険な領域環境に適合する USB ホストポートが含まれています。米国電気工事規定の第 500 条に従い、フィールド配線の準拠要件を示します。

図 1 - PanelView Plus 7 Standard ターミナルの制御図面

関連する非発火性フィールド配線装置



PanelView Plus 7 Standard ターミナルでは、電源を供給する USB ホストポートを 1 つ利用することができます。表 10 では、このポートの回路パラメータの定義を記載します。

表 10 - USB ホストポートの回路パラメータ

パラメータ	値	パラメータの定義	
$V_{oc} \text{ (USB)}$	DC5.25V	ホスト USB ポートの開回路電圧 USB 周辺機器の最大印加電圧定格 $V_{max} \text{ (peripheral)}$ は、 $V_{oc} \text{ (USB)}$ 以上である必要があります。	$V_{max} \text{ (peripheral)} \geq V_{oc} \text{ (USB)}$ (適切な場合)
$I_{sc} \text{ (USB)}$	1.68A	ホスト USB ポートの最大出力電流 各 USB 周辺機器が制約を受ける最大電流 $I_{max} \text{ (peripheral)}$ は、 $I_{sc} \text{ (USB)}$ 以上である必要があります。	$I_{max} \text{ (peripheral)} \geq I_{sc} \text{ (USB)}$
$C_a \text{ (USB)}$	10 μ F	USB ホストポートに接続できる最大合計静電容量。USB 周辺機器と接続ケーブルの合計静電容量が指定値を超えないようにする必要があります。 最大合計静電容量 $C_i \text{ (peripheral)}$ と別の USB 周辺機器のケーブル静電容量は、 $C_a \text{ (USB)}$ 以下である必要があります。	$C_i \text{ (peripheral)} + C_{cable} \text{ (USB)} \leq C_a \text{ (USB)}$
$L_a \text{ (USB)}$	15 μ H	USB ホストポートに接続できる最大合計インダクタンス。USB 周辺機器と接続ケーブルの合計インダクタンスが指定値を超えないようにする必要があります。 最大合計インダクタンス $L_i \text{ (peripheral)}$ と別の USB 周辺機器のケーブルインダクタンスは、 $L_a \text{ (USB)}$ 以下である必要があります。	$L_i \text{ (peripheral)} + L_{cable} \leq L_a \text{ (USB)}$

アプリケーション情報

米国電気工事規定 (NEC) では、危険な領域で使用される非発火性フィールド配線装置の回路パラメータは、ホスト製品と合わせて使用しても非発火性が保たれなければならないと定められています。PanelView Plus 7 Standard ターミナルおよび USB 周辺機器はこの規定に準拠して取り扱う必要があります。

また、PanelView Plus 7 Standard の USB ホストポートに接続して使用しても非発火性が保持されるよう、USB 周辺機器およびその接続ケーブルの回路パラメータは、表 10 に記載された制限値に従う必要があります。

ケーブルの静電容量およびインダクタンスが不明な場合は、ANSI/ISA-RP 12.06.01-2003 で定められた以下の値が適用してください。

$$C_{cable} = 197 \text{ pF/m (60 pF/ft)}$$

$$L_{cable} = 0.7 \text{ }\mu\text{H/m (0.20 }\mu\text{H/ft)}$$

非発火性フィールド配線の接続および切り離しは、米国電気工事規定 (NEC)、ANSI/NFPA 70 の第 501 条 10 (B) (3) 項、およびその他の適用し得る地域の法令に遵守して行なう必要があります。この関連する非発火性フィールド配線装置について、他の関連する非発火性フィールド配線装置と合わせて使用する場合は評価は行なわれていません。

- 取付けに関する注意事項** ターミナルの取付けを行なう場合は、以下の事項を考慮してください。
- ターミナルは通常、パネルまたはエンクロージャの垂直面に目の高さのすぐ下に 0° の角度で取付けます。
 - ほとんどのオペレータに適した高さにターミナルを取付けます。
 - 適度な照明がある場所にターミナルを取付けます。
 - 直射日光の当たる場所にターミナルを取付けしないでください。

取付け間隔 換気とケーブル配線のために、ターミナルの周囲とエンクロージャ内部に十分な空間を確保してください。エンクロージャ内の他のデバイスによって発生する熱も考慮する必要があります。ターミナルの周囲温度は、0 ~ 55°C (32 ~ 131°F) である必要があります。

表 11 - 必要最小間隔

製品面積	最小限の間隔
上面	51mm (2 インチ)
底面	51mm (2 インチ)
側面	SD カードを装着しない場合は側面 25 mm (1 インチ) SD カードを装着する場合は側面 51 mm (2 インチ)
背面	0mm (0 インチ)

- パネルに関するガイドライン** NEMA、UL タイプ、または IP 定格エンクロージャのドアまたは壁にターミナルを取付けます。
- エンクロージャは、IP20 以上の保護等級に適合したものを使用する必要があります。
 - パネルには、最低でも 1.5 ~ 4.8mm (0.060 ~ 0.188 インチ) の厚さが必要です。
 - パネルの材料は、ターミナルを支え、水や埃が入らないように適度な密閉を維持するために十分な強度と高度を備える必要があります。
 - パネルの表面は平坦で適度な密閉と NEMA、UL タイプ、および IP 保護等級を維持するために欠陥のない状態である必要があります。

パネルカットアウト寸法 ターミナルに同梱されているテンプレートを使用して、カットアウト寸法をトレースしてください。

表 12 - パネルカットアウトの寸法 - PanelView Plus 7 Standard ターミナル

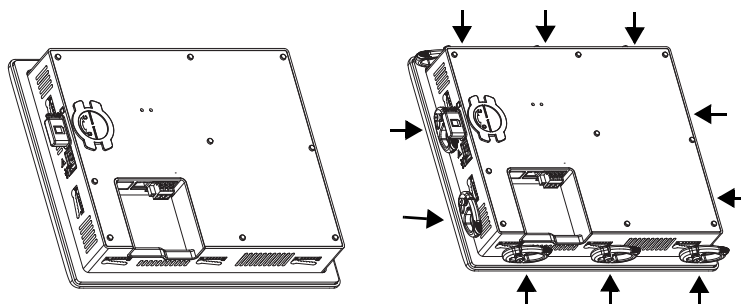
ターミナルのサイズ	入力タイプ	高さ : mm (インチ)	幅 : mm (インチ)
4.3 インチ	タッチスクリーン	92 (3.62)	117 (4.61)
5.7 インチ	タッチスクリーン	123 (4.84)	156 (6.14)
6.5 インチ	タッチスクリーン	142 (5.59)	184 (7.24)
9.0 インチ	タッチスクリーン	162 (6.38)	252 (9.92)
10.4 インチ	タッチスクリーン	224 (8.82)	269 (10.59)
12.1 インチ	タッチスクリーン	218 (8.58)	312 (12.28)
15.0 インチ	タッチスクリーン	290 (11.42)	353 (13.90)

パネル取付けの準備

パネルにターミナルを取付ける前に、このセクションと [28 ページ](#) の取付け手順全体をお読みください。

重要 PanelView Plus 7 Standard ターミナルには、Cat. No. 2711P-RMCS 取付けレバーを使用してください。これらの取付けレバーを他の PanelView Plus ターミナルで使用しないでください。黒色の取付けレバーを使用しないでください。PanelView Plus 7 Standard ターミナルとは互換性がありません。

取付けレバーは、ベゼルの周囲にあるスロットに挿入し、パネルにターミナルを固定します。取付けレバーの数は、ターミナルのサイズによって異なります。

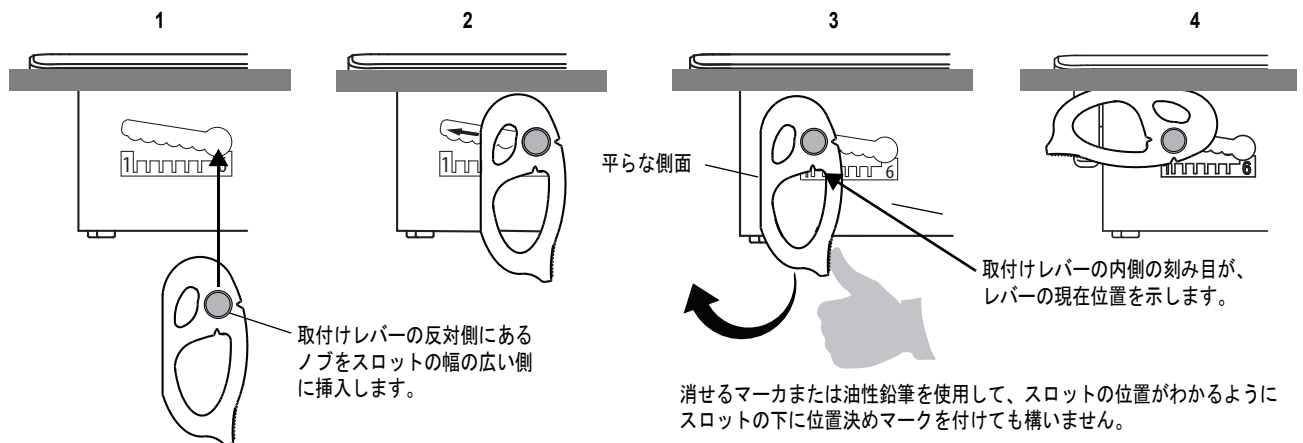


各スロットには、取付けレバーのロック位置を示す位置決めマークの付いた刻み目が6つ付いています。ターミナルを取付けるパネルの厚さによって、NEMA、UL タイプ、および IP の密閉を維持するために必要なロック位置が決まります。

表 13 - 取付けレバーのロック位置

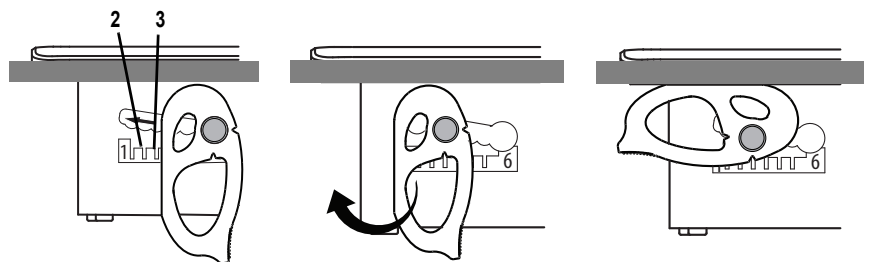
取付けスロット	取付けレバーのロック位置	パネルの厚さの範囲	一般的なゲージ
	1	1.50 ~ 2.01mm (0.060 ~ 0.079 インチ)	16
	2	2.03 ~ 2.64mm (0.08 ~ 0.104 インチ)	14
	3	2.67 ~ 3.15mm (0.105 ~ 0.124 インチ)	12
	4	3.17 ~ 3.66mm (0.125 ~ 0.144 インチ)	10
	5	3.68 ~ 4.16mm (0.145 ~ 0.164 インチ)	8/9
	6	4.19 ~ 4.80mm (0.165 ~ 0.188 インチ)	7

取付けレバーはスロットに挿入する前に必ず垂直方向に向けてください。このようにした場合のみ、取付けレバーのノブをスロット内にスライドさせて位置決めを行なうことができます。取付けレバーを特定の刻み目にスライドさせた後、取付けレバーをパネル方向に回し、所定の位置でロックします。取付けレバーの平らな側面をパネルに接触させる必要があります。



最初に、それぞれの取付けレバーを最終的なロック位置より刻み目が 1 つまたは 2 つ大きな位置にスライドさせて、パネルにターミナルを固定します。例えば、最終的なロック位置が 1 であれば、それぞれの取付けレバーを 2 または 3 の位置にスライドさせます。[27 ページの図 3](#) に示されているターミナルサイズに対応する手順に従います。

ヒント ロック位置が 6 である場合は、取付けレバーをスロットまたは挿入穴の幅の広い側にスライドします。



[26 ページの図 2](#) には、5.7 インチおよび 10.4 インチターミナルの取付けレバーの向きとロック手順が示されています。すべてのターミナルのロック手順と取付けレバーの向きについては、[27 ページの図 3](#) を参照してください。

図 2 - 取付けレバーのロック位置の表示

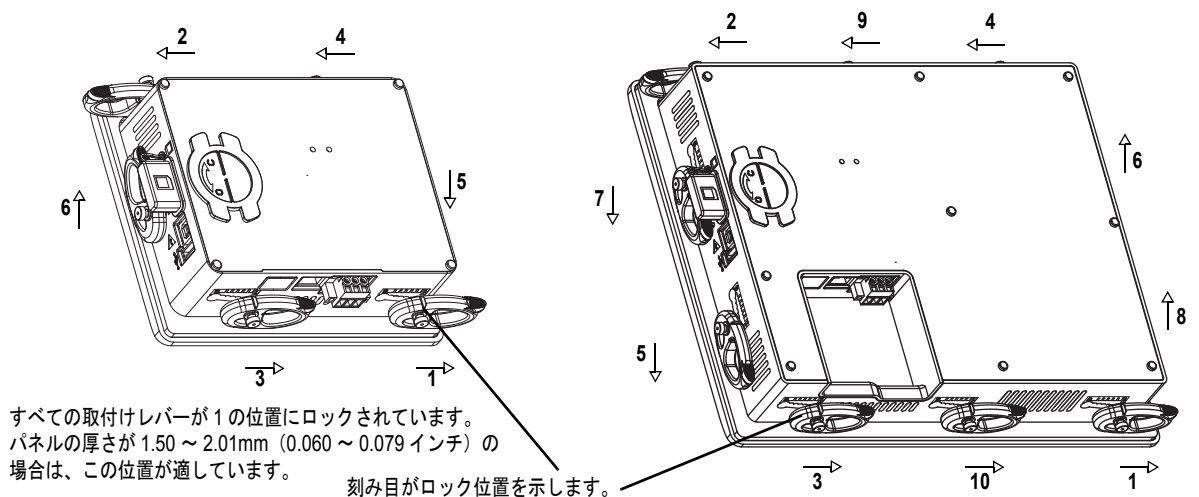
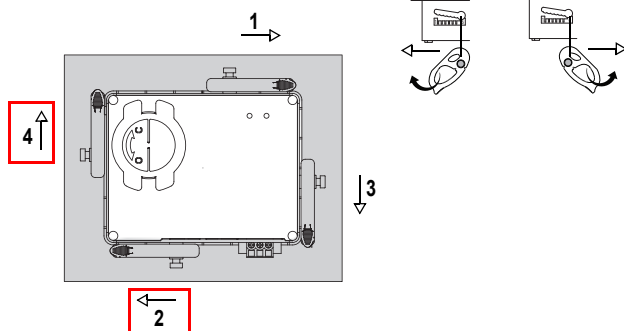
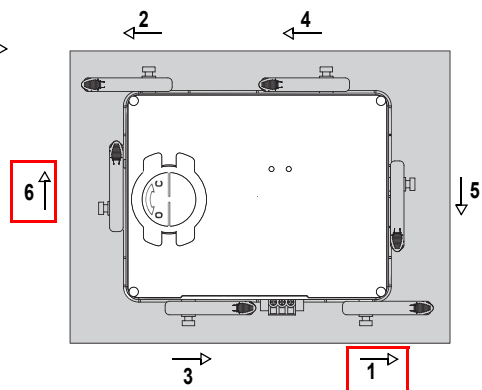


図3 - 取付けレバーの向きおよびロック手順

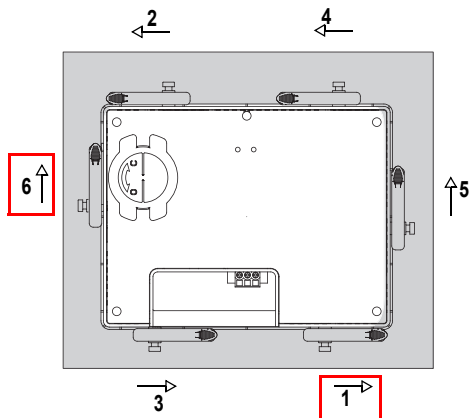
4.3インチタッチスクリーン - レバー4個



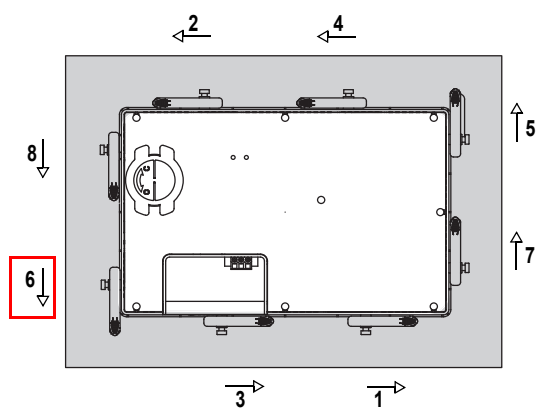
5.7インチタッチスクリーン - レバー6個



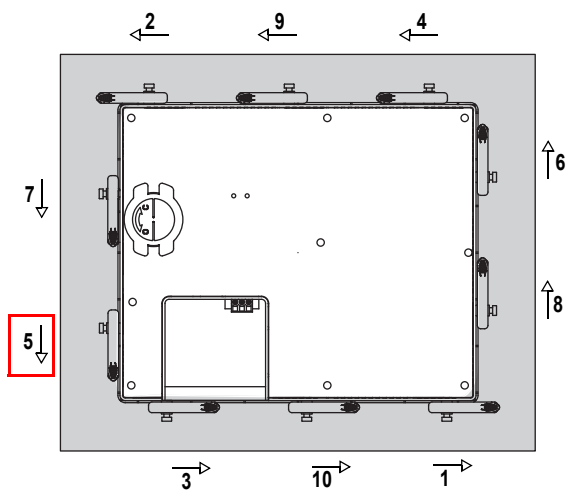
6.5インチタッチスクリーン - レバー6個



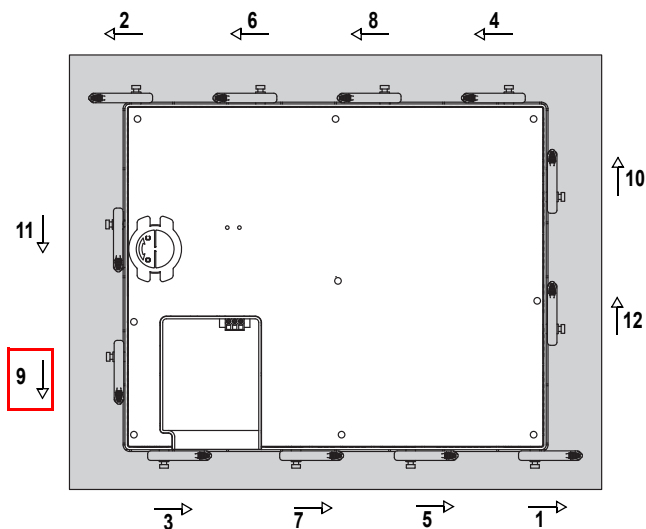
9.0インチタッチスクリーン - レバー8個



10.4インチおよび12.1インチタッチスクリーン - レバー10個



15インチタッチスクリーン - レバー12個



 ボックスは、ポートやケーブルとの干渉を避けるため、図示の方向にレバーを回転する必要があることを示します。

重要: 図に表示されている取付けレバーの向きは、NEMA、UL タイプ、および IP シールを維持するために必要です。NEMA、UL タイプ、または IP シールが必要な場合は、図示以外の方向で取付けレバーを使用しないでください。

ターミナルのパネルへの取付け

ターミナルは、1人で取付けられるように設計されています。パネルカットアウトに必要な工具以外の工具は必要ありません。

以下の手順に従って、パネル内にターミナルを取付けてください。



注意：

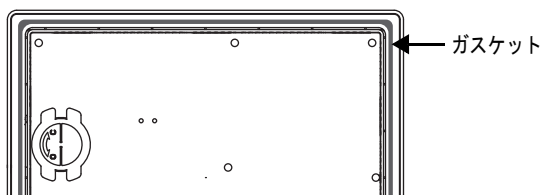
パネルカットアウトを行なう前に、パネルからすべての電源を切断してください。

パネルカットアウトの周辺に障害物がなく、パネルにゴミ、油分、またはその他の化学物質が付着していないことを確認してください。

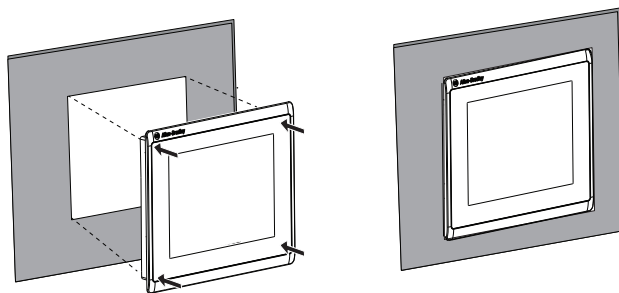
パネル内部にすでに別のコンポーネントが取付けられているようなときは、内部コンポーネントに金属の切削片が入り込むことがなく、カットアウトの端にバリや鋭い縁がないことを確認します。

この注意事項を守らないと、人体に危険が及んだりパネル内のコンポーネントが損傷することがあります。

1. [24 ページ](#)のカットアウトの寸法を使用して、パネルの開口部をカットしてください。
2. ターミナルにシーリングガスケットがあることを確認します。
このガスケットが圧縮タイプのシールとなります。シール用配合剤は使用しないでください。



3. ターミナルをパネルのカットアウト部分の中央に位置決めします。



4. パネルの厚さに対応した取付けレバーの最終的なロック位置を確認するには、[25 ページの表 13](#)を参照してください。
5. ターミナルサイズに対応した取付けレバーの向きとロック手順を確認するには、[27 ページの図 3](#)を参照してください。

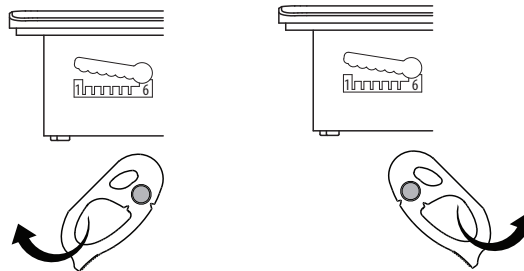
6. パネルにターミナルを固定します。

ヒント PanelView Plus 7 Standard ターミナル用の取付けレバーは、ベゼルの色に似た灰色です (Cat. No. 2711P-RMCS)。

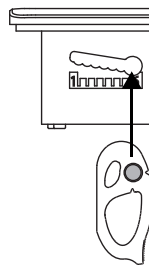
黒色の取付けレバーを使用しないでください。PanelView Plus 7 Standard ターミナルとは互換性がありません。

a. 取付けレバーの向きを確認します。

各取付けレバーを回転させる方向は、各ターミナルサイズによって異なります。

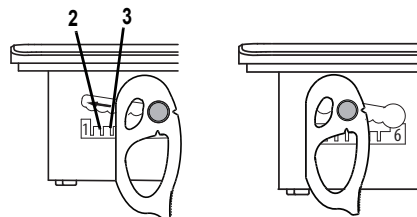


b. 最初の取付けレバーをスロットに垂直になるロック手順で保持し、スロットの幅の広い側にノブを挿入します。



c. パネルの厚さに対応した最終的なロック位置より 1 つまたは 2 つ大きな位置の刻み目まで取付けレバーをスライドさせます。

最終的なロック位置が 1 の場合は、取付けレバーを 2 または 3 の位置にスライドさせます。

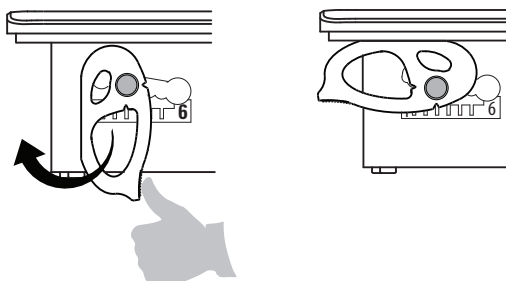


ヒント 消せるマーカまたは油性鉛筆を使用して、スロットの位置がわかるように位置決めマークを付け、最終的なロック位置にマークを付けます。

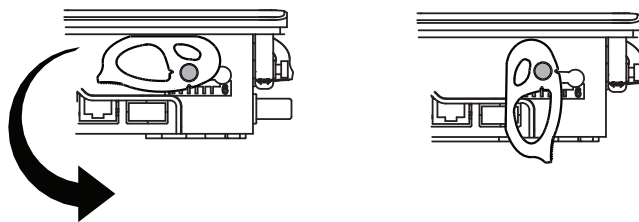
- d. 取付けレバーの平らな側面がパネルに接触するまで取付けレバーを回します。

重要 工具を使用したり過度の力をかけて取付けレバーを回さないでください。取付けレバーは、手を使って回して固定するように設計されています。

ヒント 取付けレバーが折れてもターミナルを損傷させることはありません。
取付けレバーは、過度のトルクがかけられた場合はピンが折れて取れるように設計されています。取付けレバーが折れることにより、ターミナルベゼルが破損することを防ぎます。ピンが折れた場合、取付けレバーを回し、他のピンを使って取付け作業を続けてください。詳細情報と制限事項については、[27 ページの図 3](#) を参照してください。



- e. 残りの取付けレバーについても、手順 [a](#) から手順 [d](#) を繰り返します。
7. [27 ページの図 3](#) と同じロック手順を使用して、各取付けレバーを最終的な位置に合わせて調整します。
- a. この手順で取付けレバーの 1 つを回してロックを解除し、ベゼルから外します。



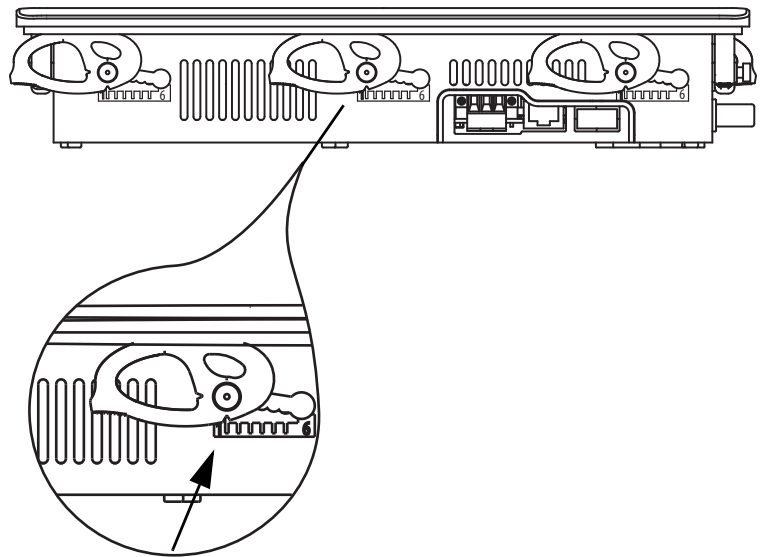
- b. 取付けレバーをスロットに対して垂直の位置にして、取付けレバーを [25 ページの表 13](#) の最終的な位置にスライドします。
- c. 注意しながら取付けレバーを回し、パネルの方向に戻します。
- d. 手順 [a](#) から [c](#) を繰り返し、最終的な位置にある残りの取付けレバーをロックします。

- すべての取付けレバーが点検し、それぞれが正しいロック位置にあることを確認します。



注意：ターミナルとパネル間でガスケットを十分密閉するには、すべての取付けレバーを正しいロック位置に合わせ正しいレバー取付け手順に従う必要があります。不適切な取付けによって生じた、エンクロージャ内のターミナルやその他の装置に対する湿気や化学物質による損傷については、当社では責任を負いかねます。

取付けレバーの外側にある刻み目がロック位置を示しています。この図では、取付けレバーは1の位置にロックされています。



電源端子台の取り外しと交換

この製品には、電源接続用の 3 ピンの端子台があります。DC 電源端子台および配線をターミナルから取り外します。



警告：爆発の危険

電源を投入した状態で配線を接続または切断すると、電気的なアークが発生する場合があります。危険な環境で取付けを行なっている場合は、このアークによって爆発が起こる可能性があります。作業を行なう前に、電源が切断されていて、周辺に危険がないことを確認してください。

電源を切断しないと、感電またはターミナルの損傷が発生する恐れがあります。

端子台の配線には 0.6 x 3.5mm のマイナスドライバーを使用してください。

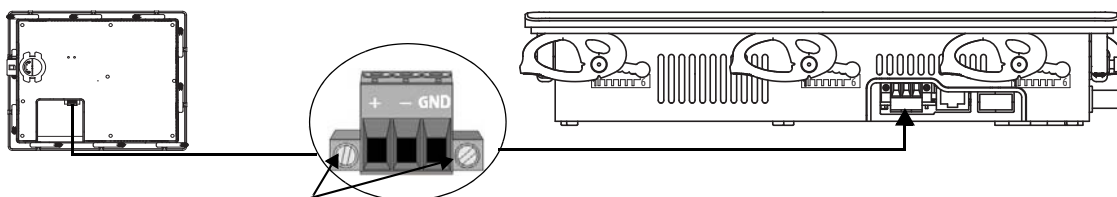
表 14 - 入力電源端子台のワイヤ仕様

ワイヤタイプ	デュアルワイヤのサイズ ⁽¹⁾	シングルワイヤのサイズ	剥く長さ	ねじトルク
より線またはソリッド Cu 90°C (194°F)	0.3 ~ 1.3mm ² 22 ~ 16 AWG	0.3 ~ 2.1mm ² (22 ~ 14 AWG)	7mm (0.28 インチ)	0.56 Nm (5.0 ポンドインチ)

(1) 端子当たり最大 2 線

以下の手順に従って、電源端子台を取り外してください。

1. 端子台を固定する 2 個のねじを緩めます。



2. 端子台をコネクタから慎重に引っ張り出します。

以下の手順に従って、電源端子台を取付けてください。

1. 端子台をコネクタに押しつけ、ぴったりはめます。



注意： DC 端子台を所定の位置にはめ込むために無理に力をかけないでください。DC 端子台は、DC コネクタにはめるためのキーが付いています。端子台がコネクタにはまらない場合は、正しい DC 端子台を使用しているか確認してください。[17 ページの表 5](#) を参照してください。

2. 端子台をコネクタに固定する 2 個のねじを締め付けます。

電源の接続

ターミナルには、以下の定格電力の DC24V の非絶縁電源があります。

- 公称 DC24V (DC18 ~ 30V)
- 最大 35W (DC24V のとき 1.46A)



注意：この電源は、極性反転に対して内部的に保護されています。DC+ または DC- をアースグラウンド端子に接続すると、デバイスが損傷することがあります。AC 電源や DC30V を超える電源を接続した場合も、ターミナルを損傷することがあります。

ターミナルは、安全超低電圧 (SELV) または保護超低電圧 (PELV) DC24V 電源での動作をサポートしています。サポートされる電源には、Cat. No. 1606-XLP95E、1606-XLP100E、および 2711P-RSACDIN が含まれています。

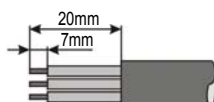


注意：取付けの際には、設置する地域の配線に関する規制によって定められた SELV 電源または PELV 電源をご使用ください。SELV および PELV 電源には、通常の状態および単一故障状態において導線とアースグラウンド間の電圧が安全値を超えないようにするための保護機能が装備されています。

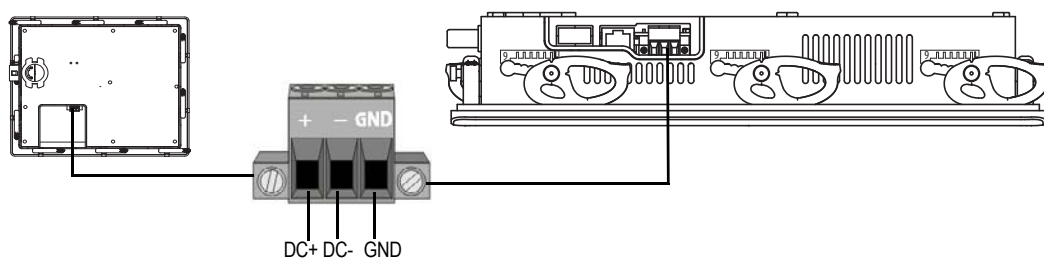
DC 電源バスを使用して、他の機器と同じ電源からターミナルに給電します。

以下の手順に従って、オペレータターミナルを DC 電源に接続してください。

1. 配線が電源に接続されていないことを確認します。
2. 電源ワイヤの絶縁体を 7mm (0.28 インチ) 剥きます。



3. DC 電源ワイヤを端子台のマークが付いている端子 (+ および -) に固定します。



4. アースグラウンド線を電源端子台の GND 端子に固定します。

GND 端子は、低インピーダンスのアースグラウンドに接続する必要があります。



注意：アースグラウンド接続は義務付けられています。この接続は、ノイズの除去、信頼性の向上、および CE マーク適合に必要な欧州連合 (EU) EMC 指令で定められた電磁適合性 (EMC) のために必要です。この接続は、UL (保険業者研究所) が規定する安全性のために必要です。

重要 下記を防止するために電源ケーブルを固定します。

- コネクタの振動
- パネルドアの開閉時やパネル内側で作業する際に引っ張られる。

5. オペレータターミナルの電源を投入します。

ネットワークへの接続

ターミナルでは、1つのイーサネットポートを使用して EtherNet/IP ネットワークでコントローラに接続することができます。下記のタイプのネットワークがサポートされています。

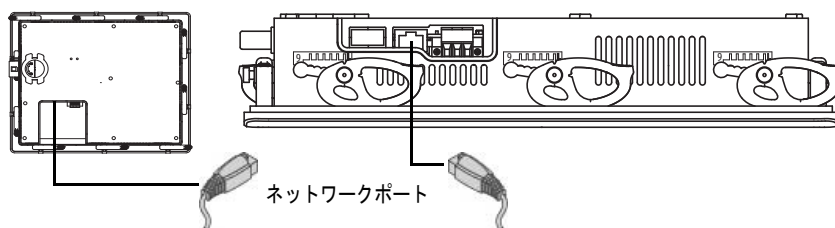
- [35 ページの「リニア・ネットワーク・トポロジ」](#)
- [36 ページの「スター・ネットワーク・トポロジ」](#)

これらの各 EtherNet/IP ネットワークトポロジでは、必要に応じて EtherNet/IP ネットワークを介して統合モーションを使用するアプリケーションがサポートされています。詳細は、『EtherNet/IP 内蔵スイッチテクノロジー アプリケーションガイド』（Pub. No. [ENET-AP005](#)）を参照してください。

イーサネットポート

イーサネットポートは、ネットワーク通信に RJ45、10/100Base-T コネクタを持ち、MDI/MDI-X 接続をサポートしています。

ターミナルは、CAT5、CAT5E、または CAT6 の RJ45 コネクタ付きツイスト・ペア・イーサネット・ケーブルを使用して EtherNet/IP ネットワークに接続します。



重要 EtherNet/IP ネットワークの不慮の断線を防止するため、以下の作業を行なってください。

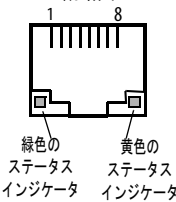
- ケーブルの振動を抑制し、パネル内側で作業する人員が偶発的にケーブルを切断する可能性を減らすためにイーサネットケーブルをコネクタで固定します。
- イーサネットケーブルの配線を張り過ぎないでください。パネルドアの開閉時にケーブルが引っ張られないように、ケーブルにある程度の余裕を残してください。

イーサネットポートとイーサネットハブ（リピータまたはファイバーなし）の 10/100 Base-T ポートとの間の最大ケーブル長は、100m（328 フィート）です。



警告：この機器またはネットワーク上の機器に電力が印加されている状態で、通信ケーブルの取付けまたは取り外しを行なわないでください。危険な環境で取付けを行なうと、電気的なアークによって爆発が起こる可能性があります。作業を行なう前に、電源が切断されていて、周辺に危険がないことを確認してください。

表 15 - イーサネットコネクタのピン配列

コネクタ	ピン	ピン名
RJ45 コネクタの概略図 	1	TD+
	2	TD-
	3	RD+
	4	未使用
	5	未使用
	6	RD-
	7	未使用
	8	未使用
	シールド接続	直接接続なし (AC はシャーシ GND に接続)

イーサネットポートには、動作状態を表示する 2 個のインジケータがあります。

表 16 - イーサネット・ステータス・インジケータ

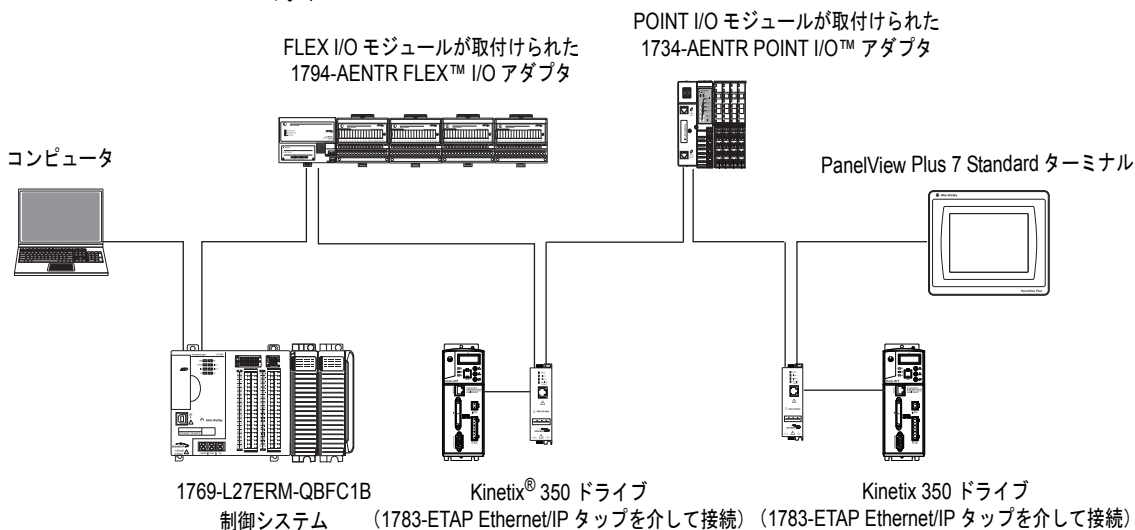
インジケータ	色	説明
リンクの整合性	緑色	リンクが存在するときに点灯
動作	黄色	イーサネットリンク上で動作が検出されたときに点滅

リニア・ネットワーク・トポロジ

リニア・ネットワーク・トポロジは、EtherNet/IP ネットワーク上でダイジェネーションされたデバイスの集合です。リニア・ネットワーク・トポロジ接続に対応するデバイスは、内蔵されたスイッチテクノロジーを使用し、スター・ネットワーク・トポロジで必要となる別個のスイッチが必要ありません。

ヒント イーサネットポートを 1 つ備えた PanelView Plus 7 Standard ターミナルは、リニアネットワークの端での接続のみが可能です。

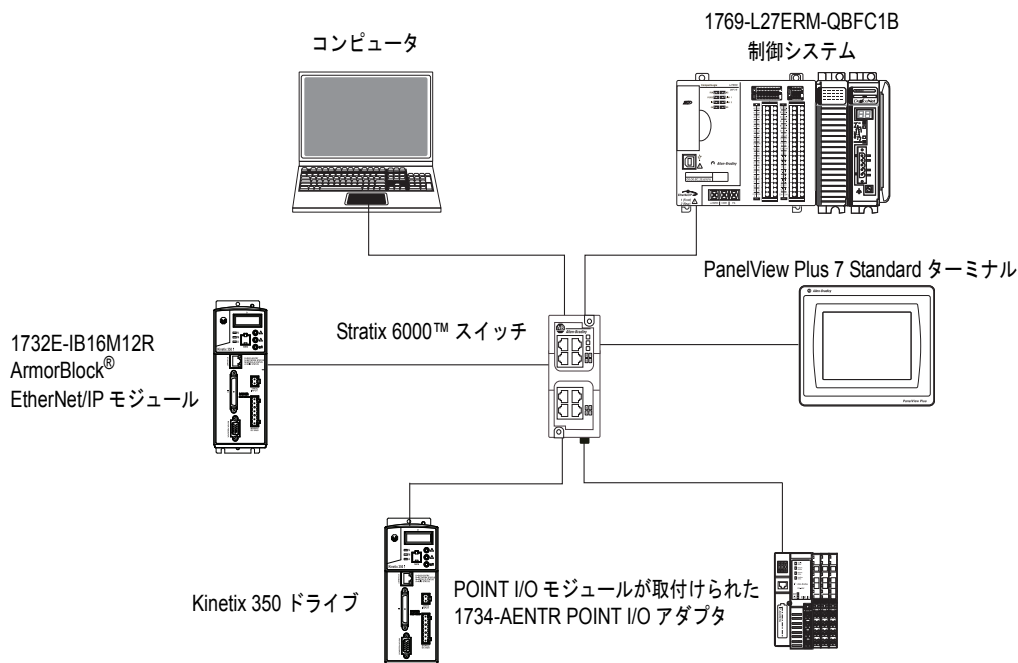
図 4 - リニアネットワークの端に接続された PanelView Plus 7 Standard ターミナル



スター・ネットワーク・トポロジ

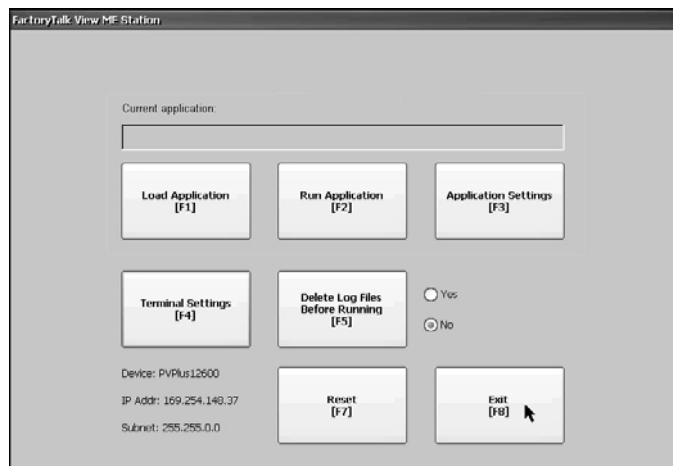
スター・ネットワーク・トポロジは、イーサネットスイッチを介して相互に接続された複数のデバイスを含む従来の EtherNet/IP ネットワークです。

図 5 - Stratix 6000 スイッチを介して接続された PanelView Plus 7 Standard ターミナル



初回起動時

システムを初めて起動すると、起動シーケンスが実行され、FactoryTalk View ME Station の構成モードが起動します。



ターミナル設定を押し、次に起動オプションをタップすると、起動時の動作を変更することができます。以下のオプションのいずれかを設定できます。

- FactoryTalk View ME HMI アプリケーションを起動する。
- 構成モードで FactoryTalk View ME Station を起動する（デフォルト）。
- Windows デスクトップを起動する。

ヒント ターミナルは、最初は、デスクトップへのアクセスが無効な状態で出荷されています。デスクトップへのアクセスを許可するようにターミナルを構成することができます。

起動オプションとデスクトップアクセスの変更については、「[第3章 ターミナル設定の構成](#)」を参照してください。

ターミナルのリセット

電源を切断して再投入せずにターミナルを再起動するには、以下のいくつかの方法があります。

- FactoryTalk View ME Station の構成モードから、リセットをタップします。
- ターミナルデスクトップの Start メニューで、Programs → Restart System の順に選択します。
- メンテナンスモードにアクセスするには、以下の操作を行なってください。
 - a. USB キーボードを接続します。
 - b. ターミナルの起動時に画面の左下隅に表示される白いボックスを押して、そのまま保持します。

メンテナンスモードからターミナルを再起動する方法については、[137 ページの「メンテナンスモードでの操作」](#)を参照してください。

Notes:

ターミナル設定の構成

項目	参照ページ	項目	参照ページ
FactoryTalk View ME Station	39	ディスプレイの設定	58
ターミナル設定	41	入力装置の設定	60
ソフトキーボード	42	印刷オプションの構成	62
アプリケーションのロードと実行	43	診断の構成	64
デスクトップアクセス	44	アプリケーションファイルの整合性チェック	65
起動オプションの構成	49	システム・イベント・ログの表示とクリア	66
コントローラのアドレスの構成	52	アラームディスプレイの有効/無効	66
イーサネット設定の構成	52	システム情報の表示	67
ターミナルのデバイス名の変更	55	時刻と日付の設定	70
ターミナルでのファイルのコピー	56	地域の設定	72
ターミナルからのファイルの削除	57		

FactoryTalk View ME Station

FactoryTalk View ME Station は、ターミナルのランタイム環境です。この環境により、起動オプションの構成、HMI アプリケーションのロードと実行、ターミナル設定の調整、Windows デスクトップへのアクセス、およびその他のターミナル操作の実行が可能になります。

ターミナルをリセットすると、構成済みの起動オプションに応じて、以下の動作のうちのいずれか1つが実行されます。

- FactoryTalk View ME Station が構成モードで起動します。これが初期設定です。
- FactoryTalk View ME .mer アプリケーションが実行されます。
- Windows デスクトップが起動します。

重要


- ターミナル上の HMI アプリケーションから構成モードにアクセスするには、Goto Configuration Mode を押します。このボタンは、アプリケーションの開発中に FactoryTalk View Studio ソフトウェアのアプリケーション画面に追加されます。アプリケーションは実行を停止しますが、引き続きロードされた状態です。
- Goto Configuration Mode ボタンが表示されないアプリケーションの場合の構成モードにアクセスする方法については、[50 ページの「起動時の構成モードの実行」](#)を参照してください。
- Windows デスクトップから構成モードにアクセスするには、FTViewME Station アイコン  をダブルクリックします。

図 6 - FactoryTalk View ME Station ダイアログボックス

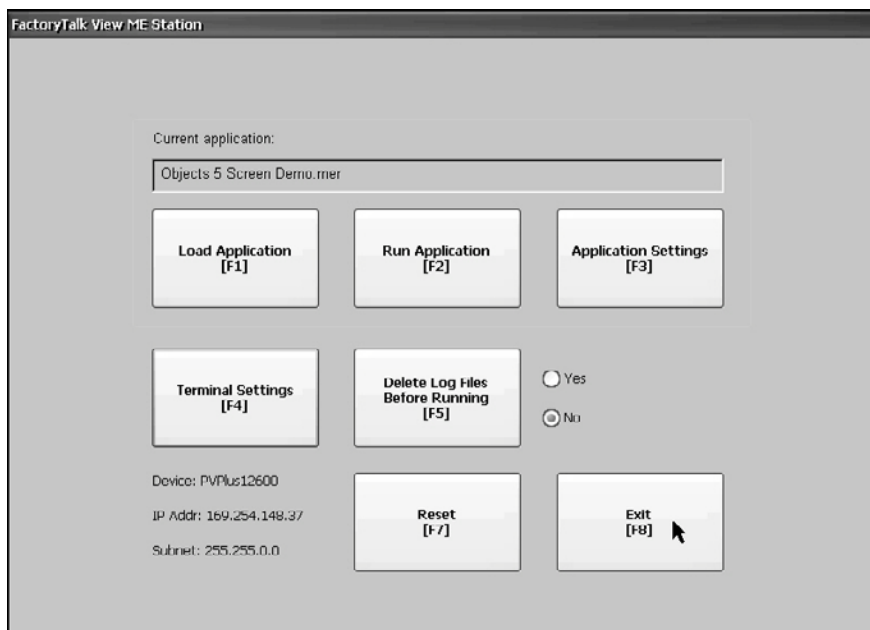


表 17 - ターミナルの操作

押す	機能
Load Application [F1]	デバイスにロードする .mer アプリケーションを選択するためのダイアログボックスを開く。アプリケーションは、実行する前にロードしなければならない。 ロードされたアプリケーションの名前が Current Application の下に表示される。
Run Application [F2]	ターミナルに現在ロードされている .mer アプリケーションを実行する。
Application Settings [F3]	ロードされている .mer アプリケーションに対して定義されたデバイスショートカットなど、アプリケーション固有の設定メニューを開く。デバイスショートカットは読み取り専用。 例えば、CLX は ControlLogix コントローラ用のデバイスショートカット。
Terminal Settings [F4]	オプションのメニューを開き、ターミナル設定を変更する。
Delete Log Files Before Running [F5]	Yes と No を切換えることができる。 <ul style="list-style-type: none"> アプリケーションを実行する前に、すべてのデータ・ログ・ファイル、アラーム履歴、アラーム・ステータス・ファイルを削除する場合は Yes を選択する。 ログファイルを削除せずにアプリケーションを実行するには、No を選択する。
Reset [F7]	ターミナルをリセットし、HMI アプリケーション、FactoryTalk View ME Station ソフトウェア、または Windows デスクトップを起動する。この時の動作は、構成された起動オプションによって異なる。
Exit [F8]	FactoryTalk View ME Station を終了する。デスクトップへのアクセスが許可されている場合は、デスクトップにアクセスできる。
Device, IP Addr, Subnet (表示のみ)	デバイス名、IP アドレス、およびイーサネットネットワークに接続されたターミナルのサブネットを識別する。 ネットワーク情報は 60 秒ごとに更新される。ターミナルがネットワークから切断されている場合は、IP アドレスとサブネットが 0.0.0.0 と表示される。

ターミナル設定

ターミナルには、アプリケーションに固有のものではない、調整可能な設定があります。

1. FactoryTalk View ME Station のダイアログボックスから Terminal Settings を押します。
2. 上 / 下カーソルキーをタップしてオプションを選択します。
3. 選択した機能にアクセスするには [Enter] キーを押します。

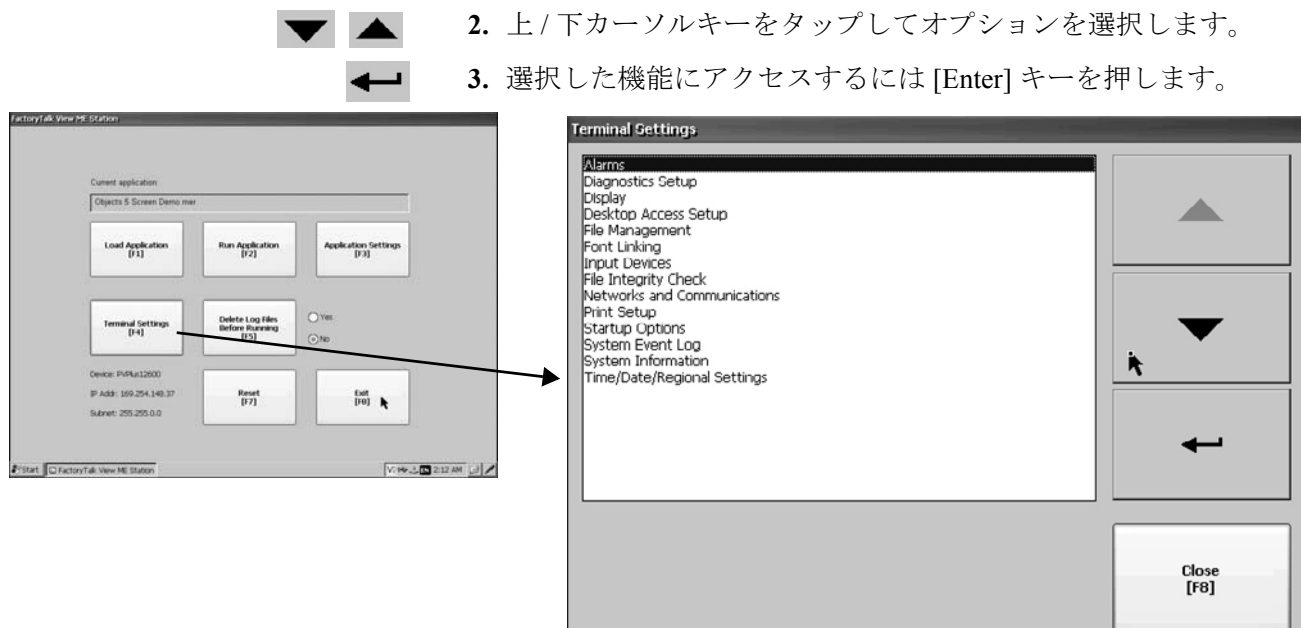


表 18 - ターミナル設定

オプション	機能
Alarms	最新のアラームがオペレータによって確認されたときにターミナルのアラームディスプレイを閉じる。デフォルトでは、アラームディスプレイが閉じられる。
Diagnostics Setup	診断メッセージの保存場所を変更し、保存するメッセージの種類を決定する。
Display	ディスプレイの輝度を調整し、スクリーンセーバを構成し、タッチスクリーンのカーソルを有効 / 無効にする。
Desktop Access Setup	デスクトップへのアクセスを許可または制限し、デスクトップパスワードを設定またはリセットする。
File Management	アプリケーションファイルおよびフォントファイルをターミナル、SD カード、または USB ドライブにコピーする。アプリケーションファイル、ログファイル、およびフォントファイルの削除もできる。
Font Linking	フォントファイルをターミナルにロードされている基本フォントにリンクさせる。
Input Devices	タッチスクリーンのキャリブレーションをはじめとして、キーボード、接続されたキーボード、マウス、またはタッチスクリーン用の設定を構成する。また、文字列入力用にポップアップ形式文字入力またはポップアップ形式キーボードのいずれかを選ぶこともできる。
File Integrity Check	詳細情報をファイル整合性チェックログに記録することで、.mer アプリケーションファイルおよびランタイムファイルの整合性をチェックする。このログはいつでも表示 / 消去できる。
Networks and Communications	アプリケーションで使用するイーサネットや他の通信設定を構成する。
Print Setup	ディスプレイ、アラームメッセージ、またはアプリケーションによって生成された診断メッセージを印刷するための設定を構成する。
Startup Options	ターミナルの起動時にデスクトップを起動するか、アプリケーションを起動するか、または FactoryTalk View ME Station の構成モードを起動するかを指定する。
System Event Log	ターミナルによってログに記録されたシステムイベントを表示し、ログからイベントを消去できる。
System Information	ターミナルの電源、温度、バッテリー、およびメモリに関する詳細情報を表示する。FactoryTalk View ME Station のファームウェアバージョンやターミナルにロードされている他のソフトウェアを表示することもできる。技術サポート情報も表示する。
Time/Date/Regional Settings	ターミナルとアプリケーションで使用する日付、時刻、言語、および数字形式を設定する。

ソフトキーボード

ターミナルでデータ入力フィールドを有効にすると、キーボードが開きます。数値のみ必要なフィールドでは、0～9までの数字と小数点のみが有効になります。

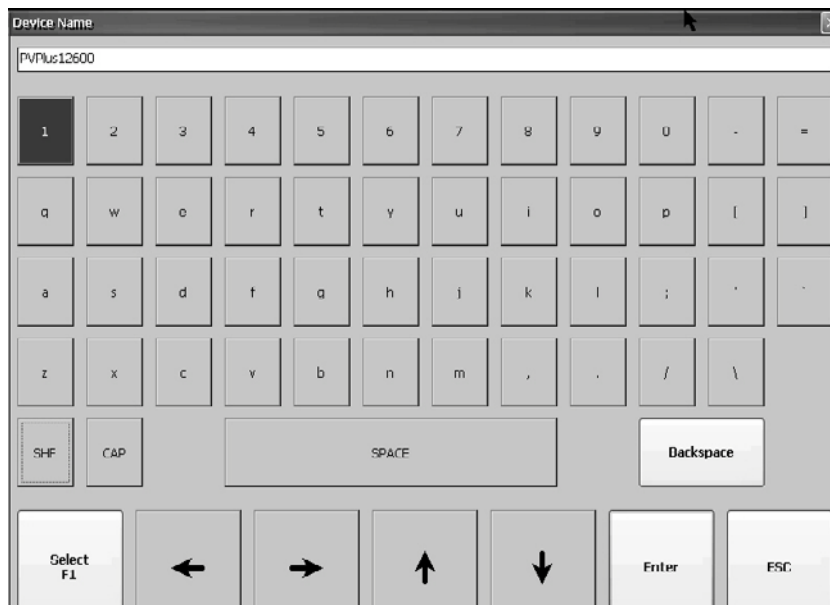


表 19 - ソフトキーボードのコントロール

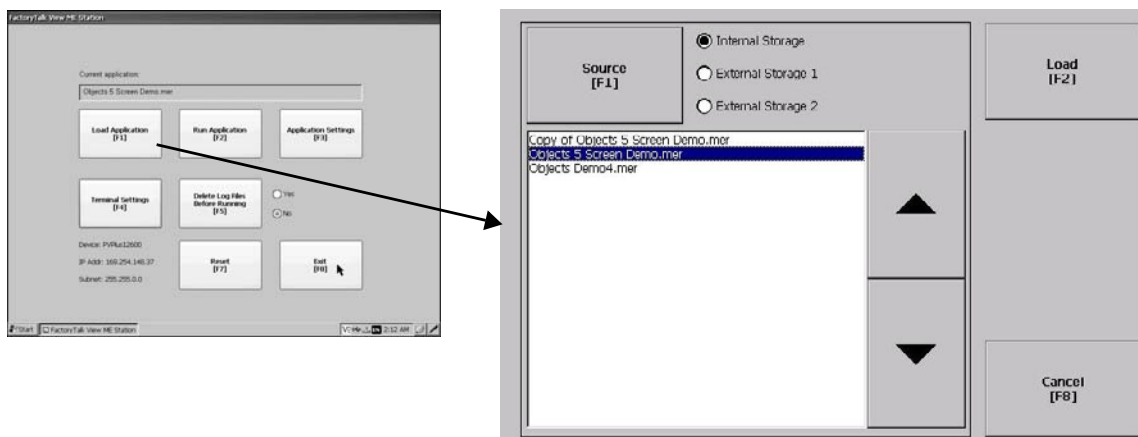
キー	機能
SHF	キーのシフトされた状態とシフトされていない状態を切替える。
CAP	小文字と大文字を切替える。
SPACE	表示領域で文字と文字の間にスペースを入力する。
Backspace	表示領域で（カーソルの左側にある）直前の文字を削除する。
Select	選択された文字を表示領域に入力する。
左、右、上、下矢印	現在選択されている文字の左、右、上、下側の文字を選択する。
Enter	入力された文字を受入れて、直前のダイアログボックスに戻る。
ESC	現在の操作をキャンセルして、直前のダイアログボックスに戻る。

キーボードの上の表示領域に文字を入力するには、以下の操作を行なってください。

1. キーをタップしてキーボードの文字を選択します。
2. 完了したら [Enter] キーを押して、キーボードを終了します。

アプリケーションのロードと実行

ターミナル上で FactoryTalk View ME .mer アプリケーションを実行するには、初めにアプリケーションをロードする必要があります。ターミナルの内部ストレージ（不揮発性メモリ）、SD カード、または USB ドライブからアプリケーションをロードすることができます。



以下の手順に従って、ターミナルでアプリケーションをロードして実行してください。

1. FactoryTalk View ME Station のダイアログボックスから Load Application を押します。
2. Source を押して、ロードするファイルの場所を選択します。
 - Internal Storage - ターミナルの不揮発性メモリ
 - External Storage 1 - カードスロットに装着された SD カード
 - External Storage 2 - USB ホストポートに接続された USB ドライブ

ヒント ターミナルの Machine Edition ファイルのパスは、My Device\Application Data\Rockwell Software\RSViewME\Runtime です。

SD カードまたは USB ドライブの Machine Edition ファイルのパスは、\Rockwell Software\RSViewME\Runtime です。

3. 上/下カーソルキーを使ってリストから .mer ファイルを選択します。
 4. Load を押して、選択したアプリケーションをロードします。
- ターミナルの現在の通信構成をアプリケーションで定義された構成に置き換えるかどうかを確認するメッセージが表示されます。
5. Yes または No を選択します。

- アプリケーションの通信設定を使用する場合は Yes を選択します。ターミナル用に構成された通信設定は、アプリケーション設定により置き換えられます。
- ターミナルの通信設定を使用する場合は No を選択します。

アプリケーションがロードされ、アプリケーション名が FactoryTalk View ME Station ダイアログボックスの上部に表示されます。

6. FactoryTalk View ME Station ダイアログボックスの Run Application を押して、ロードされたアプリケーションを実行します。

- ヒント**
- アプリケーションがログファイルを生成します。アプリケーションを実行する前に、FactoryTalk View ME Station ダイアログボックスからログファイルを削除することができます。ターミナルのメモリを再利用するためにログファイルを削除します。
 - 起動またはリセット時にアプリケーションを自動実行するようにアプリケーションを設定するには [51 ページの「起動時のロード済みアプリケーションの実行」](#)を参照してください。

デスクトップアクセス

ターミナルではデスクトップへのアクセスを許可または制限することができます。デスクトップでは、システムの操作やコントロールパネルの操作を実行することができます。一時的にアクセスを許可し、その後は許可されない変更を防ぐためにデスクトップアクセスを無効にすることができます。

- ヒント** ターミナルは、デスクトップへのアクセスが無効な状態で工場から出荷されます。

アクセスが制限されている場合は、デスクトップにアクセスするためのパスワードを入力する必要があります。各ターミナルには、デフォルトのパスワードとユーザ確認のための質問が設定されています。

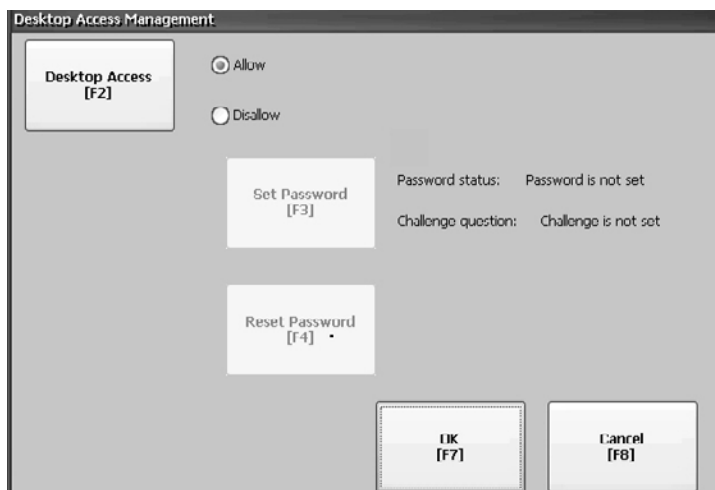
デフォルトパスワード認証情報	値
パスワード	password (大文字と小文字が区別される)
ユーザ確認のための質問	What is the opposite of lock?
ユーザ確認のための回答	unlock (大文字と小文字が区別される)

- 重要** ロックウェル・オートメーションでは、デフォルトのパスワードとユーザ確認のための質問および回答をご使用のインストール独自のものに変更することをお奨めします。

デスクトップへのアクセスの有効

以下の手順に従って、デスクトップへのアクセスを有効にしてください。

- Terminal Settings → Desktop Access Setup の順に押します。
- Desktop Access を押して、Allow を選択します。
Enter Password ダイアログボックスが開きます。
デスクトップアクセスを Disallow (許可しない) から Allow (許可する) に変更するたびに、最初にパスワードを入力する必要があります。初期設定のパスワードは「password」です。
- Password を押してパスワードを入力し、[Enter] キーを押します。
- もう一度 [Enter] キーを押して、Desktop Access Management に戻ります。



パスワードが設定されていないことを確認します。

5. OK を押して Desktop Access Management を終了し、Close を押して Terminal Settings を終了し、FactoryTalk View ME Station のダイアログボックスに戻ります。
6. Exit を押してデスクトップにアクセスします。

デスクトップへのアクセスが有効になっている場合は、パスワードの入力を求められることはありません。

デスクトップへのアクセスの無効

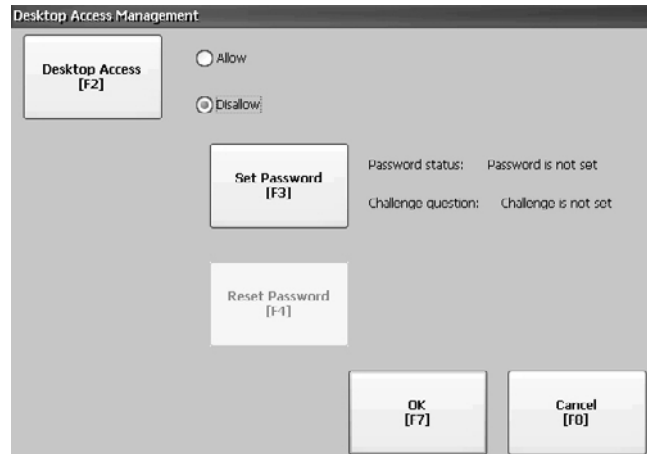
重要 デスクトップへのアクセスを制限するには、起動オプションを Go to Configuration Mode または Run Current Application に設定する必要があります。詳細は、[49 ページ](#)を参照してください。

デスクトップへのアクセスを制限するには、デスクトップパスワードとユーザ確認のための質問を設定する必要があります。

- Exit を押すと、パスワードを入力して FactoryTalk View ME Station からデスクトップにアクセスすることができます。
- ユーザ確認のための質問および回答を入力すると、Reset 機能を使ってパスワードを変更することができます。

以下の手順に従って、デスクトップへのアクセスを無効にしてください。

1. Terminal Settings → Desktop Access Setup の順に押します。
2. Desktop Access を押して、Disallow を選択します。
Set Password ボタンが有効になります。



重要 エラーメッセージが表示される場合、起動オプションを Go to Configuration Mode または Run Current Application に変更することができます。起動オプションが Do not start FactoryTalk View ME Station に構成されている場合は、デスクトップへのアクセスを制限することはできません。

3. 新しいパスワードとユーザ確認のための質問を設定するには、[47 ページの「デスクトップのパスワードの設定」](#)を参照してください。

デスクトップのパスワードの設定

重要 デスクトップへのアクセスを制限する場合は、新しいパスワードとユーザ確認のための質問を設定する必要があります。

以下の手順に従って、新しいデスクトップパスワードを定義してください。

1. Set Password を押します。

Desktop Access Set Password ダイアログボックスが開きます。

2. Set Password を押して、8 ～ 20 文字のパスワードを入力してから [Enter] キーを押します。

重要 ユーザは、デスクトップにアクセスする前に、このパスワードを正確に入力する必要があります。

3. Set Challenge を押して、ユーザ確認のための質問を入力します。デスクトップパスワードを再設定する場合は、この質問に正確に回答する必要があります。
4. Set Response ボタンを押して、ユーザ確認のための質問に対する回答を入力してから [Enter] キーを押します。
5. OK を押します。

Desktop Access Management ダイアログボックスに、パスワードとユーザ確認のための質問が設定されたことが表示されます。

6. OK を押して Terminal Settings に戻ります。

重要 将来使うために、パスワードとユーザ確認のための質問を安全確実なものにしてください。パスワードをクリアして再設定するには、ユーザ確認のための質問に正しく回答する必要があります。回答を忘れた場合は、ターミナルを元の工場出荷時の初期設定に戻す以外に、パスワードをクリアする方法はありません。[137 ページの「Factory default \(工場出荷時の初期設定\)」](#)を参照してください。

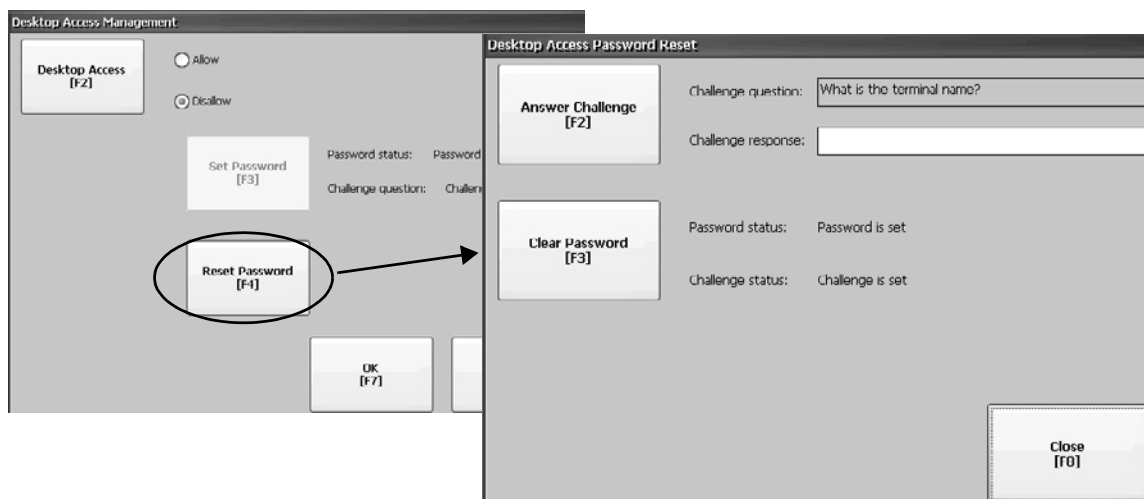
デスクトップのパスワードの再設定

現在のパスワードをクリアして変更するには、ユーザ確認のための質問に正しく回答する必要があります。回答を思い出せない場合は、ターミナルを工場出荷時のデフォルト状態に戻す必要があります。[137 ページの「メンテナンスモードでの操作」](#)を参照してください。

重要 デスクトップへのアクセスが制限されている、つまり許可しないように設定されている場合は、パスワードとユーザ確認のための質問を再設定できます。

以下の手順に従って、デスクトップパスワードを再設定してください。

1. Desktop Access Management ダイアログボックスで Reset Password を押します。



2. Answer Challenge を押して、現行のユーザ確認のための質問に対する正しい回答を入力します。
3. Clear Password を押して、現行のパスワードとユーザ確認のための質問をクリアします。
ダイアログボックスにパスワードとユーザ確認のための質問のステータスが更新されたことが表示されます。
4. Close を押します。
5. 新しいパスワードとユーザ確認のための質問を設定するには、[47 ページの「デスクトップのパスワードの設定」](#)を参照してください。

パスワードを消去した後は、新しいデスクトップパスワードを設定するか、デスクトップへのアクセスを 'Allow' (許可する) に変更する必要があります。

起動オプションの構成

起動時またはリセット時のターミナルの動作を指定できます。

起動オプション	実行される動作	標準システム
Do not start FactoryTalk View ME Station	起動時に Windows デスクトップを起動する。	オープン
Go to Configuration Mode	起動時に FactoryTalk View ME Station を構成モードで起動する。これが工場出荷時の初期設定。	クローズド
Run Current Application	起動時に、ターミナルにロードされている FactoryTalk View ME アプリケーションを実行する。	クローズド

重要 デスクトップへのアクセスが制限されている場合、起動オプションは Run Current Application または Go to Configuration Mode（デフォルト）に設定されなければなりません。デスクトップへのアクセスを許可または制限する方法については、[44 ページ](#)を参照してください。

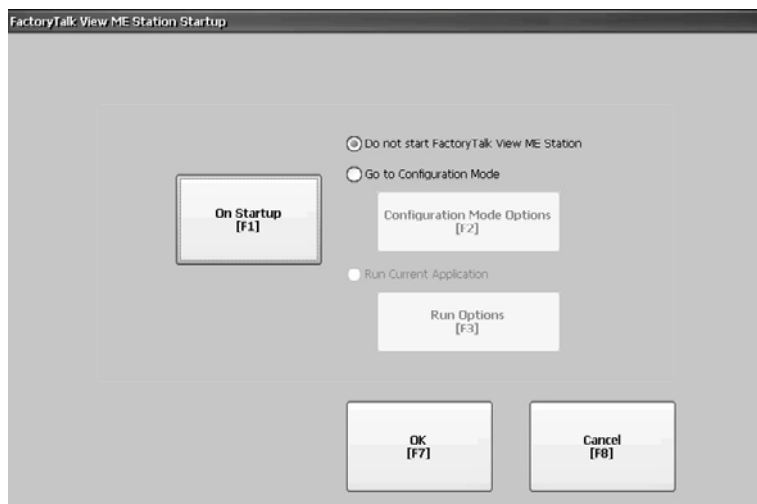
起動時の FactoryTalk View ME Station の無効

起動時にデスクトップを起動するには、FactoryTalk View ME Station を無効にする必要があります。

ヒント FactoryTalk View ME Station ダイアログボックスで Exit を押しても、デスクトップを起動することができます。

以下の手順に従って、起動時に FactoryTalk View ME Station を無効にしてください。

1. Terminal Settings → Startup Options の順に押します。



2. 'Do not start FactoryTalk View ME Station' が選択されるまで On Startup を押します。

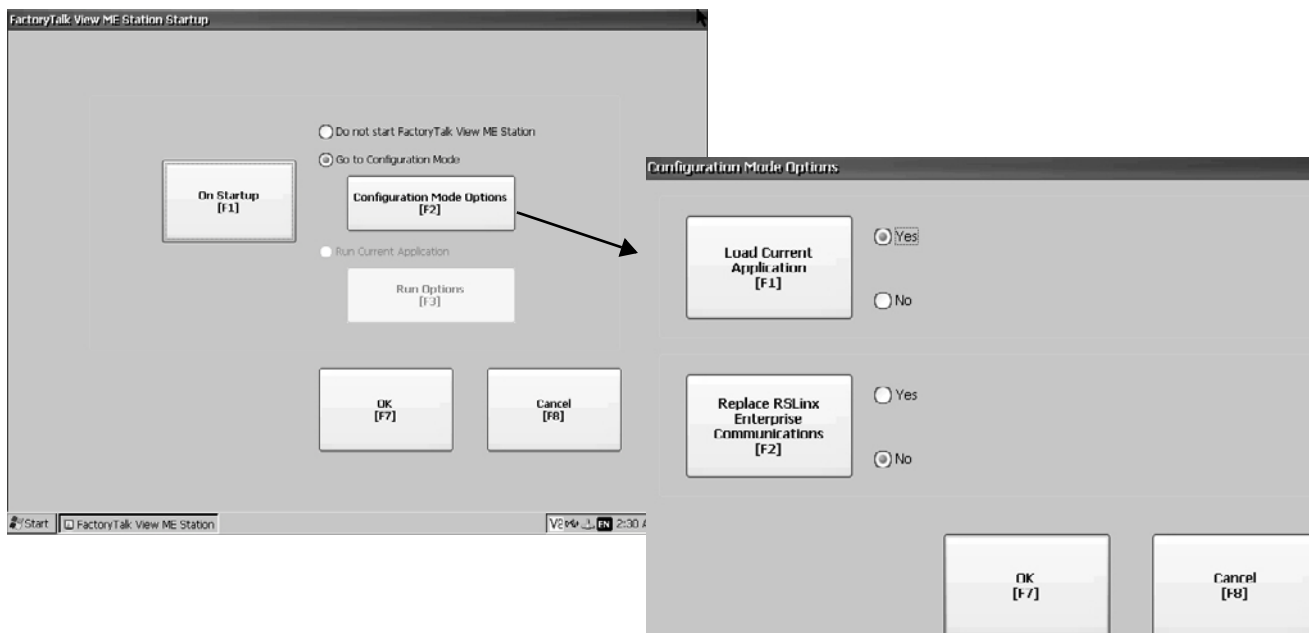
ヒント デスクトップへのアクセスを許可するように設定されている必要があります。そうでない場合は警告が表示されます。[44 ページ](#)の「デスクトップへのアクセスの有効」を参照してください。

3. OK を押します。

起動時の構成モードの実行

以下の手順に従って、起動時に FactoryTalk View ME Station を構成モードが起動するように構成してください。

1. Terminal Settings → Startup Options の順に押します。
2. On Startup を押して Go to Configuration Mode を選択します。
3. Configuration Mode Options を押して、オプションの設定を表示または変更します。



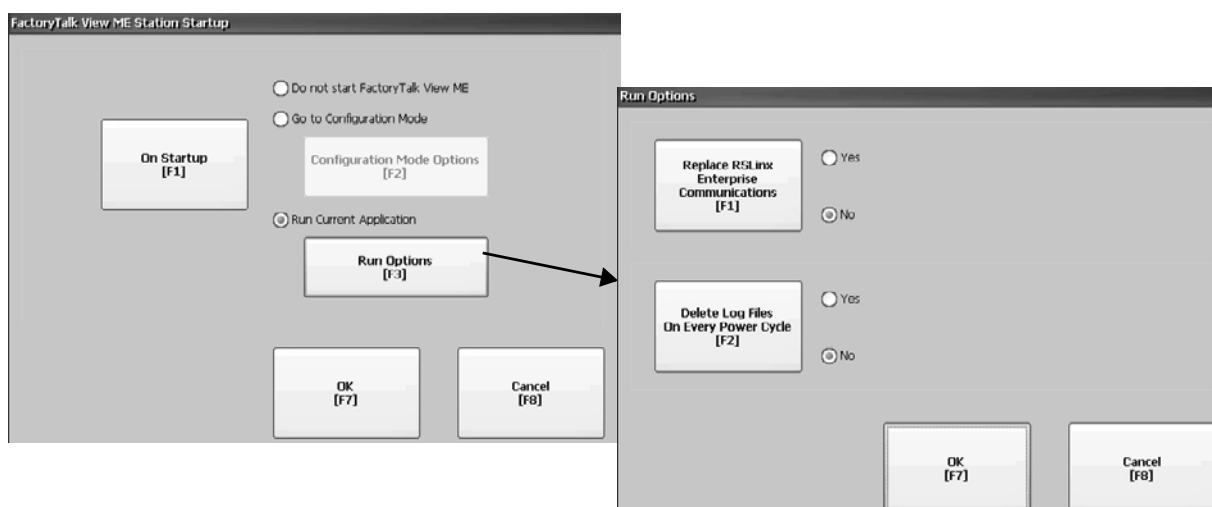
4. Load Current Application を押して、起動時に現在のアプリケーションをロードするかどうかを指定します。
5. Replace RSLinx Enterprise Communications を押して、ロードされたアプリケーションの実行時に使用する構成設定を指定します。
 - ターミナルで RSLinx[®] の通信設定を使用する場合は No を選択します。
 - ターミナルの設定をアプリケーションの通信設定に置き換える場合は Yes を選択します。ターミナルの RSLinx のデバイスアドレスまたはドライバのプロパティに対する変更はすべて失われます。
6. OK を押して直前のダイアログボックスに戻ります。
7. OK を押して Terminal Settings に戻ります。

起動時のロード済みアプリケーションの実行

以下の手順に従って、起動時にターミナルにロードされた FactoryTalk View .mer アプリケーションを実行するように構成してください。

1. Terminal Settings → Startup Options の順に押します。
2. On Startup を押して Run Current Application を選択します。
3. Run Options を押して、オプションの設定を表示または変更します。

アプリケーションがロードされていない場合、これらのオプションは無効になっています。



4. Replace RSLinx Enterprise Communications を押して、アプリケーションの実行時に使用する構成設定を指定します。
 - ターミナルで RSLinx の通信設定を使用する場合は No を選択します。
 - ターミナルの設定をアプリケーションの通信設定に置き換える場合は Yes を選択します。ターミナルの RSLinx のデバイスアドレスまたはドライバのプロパティに対する変更はすべて失われます。
5. Delete Log Files On Every Power Cycle を押して、起動時のログファイルに対する処理を指定します。
 - アプリケーションを実行する前に、ターミナルで生成されたすべてのログファイル（データ、アラーム履歴、アラームステータス）を削除する場合は Yes を選択します。ファイルがシステムデフォルトの場所から削除されます。
 - すべてのログファイルを保持する場合は No を選択します。
6. OK を押して直前のダイアログボックスに戻ります。
7. OK を押して Terminal Settings に戻ります。

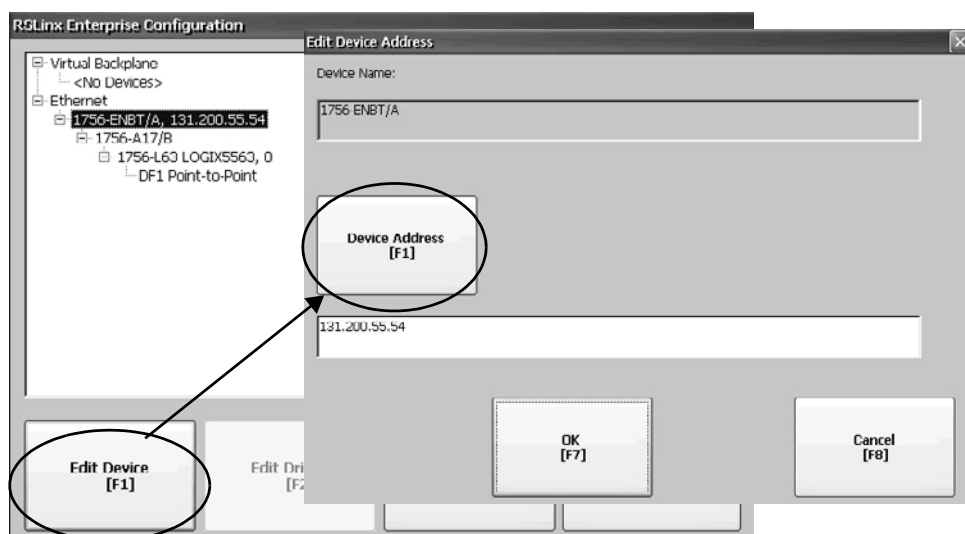
コントローラのアドレスの構成

RSLinx Enterprise ソフトウェアを使用して、アプリケーションやコントローラの通信情報を構成します。

ヒント FactoryTalk View Studio ソフトウェアを使用して、ご使用のアプリケーションとコントローラの通信情報を構成することもできます。

以下の手順に従って、コントローラのデバイスアドレスを編集してください。

1. Terminal Settings を押してから、Networks → Communications → RSLinx Enterprise Communications の順に選択します。



2. ツリーでコントローラを選択します。
3. Edit Device を押して、デバイス名と現在のアドレスを表示します。
4. アドレスを変更するために Device Address を押します。
現在のアドレスが表示された入力パネルが開きます。
5. 入力パネルにアドレスを入力し、[Enter] キーを押します。
6. OK を押します。

更新は、ターミナルが再起動されるまで有効にはなりません。

イーサネット設定の構成

ターミナルにはイーサネットドライバが組込まれています。デバイスの以下のイーサネット情報を変更することができます。

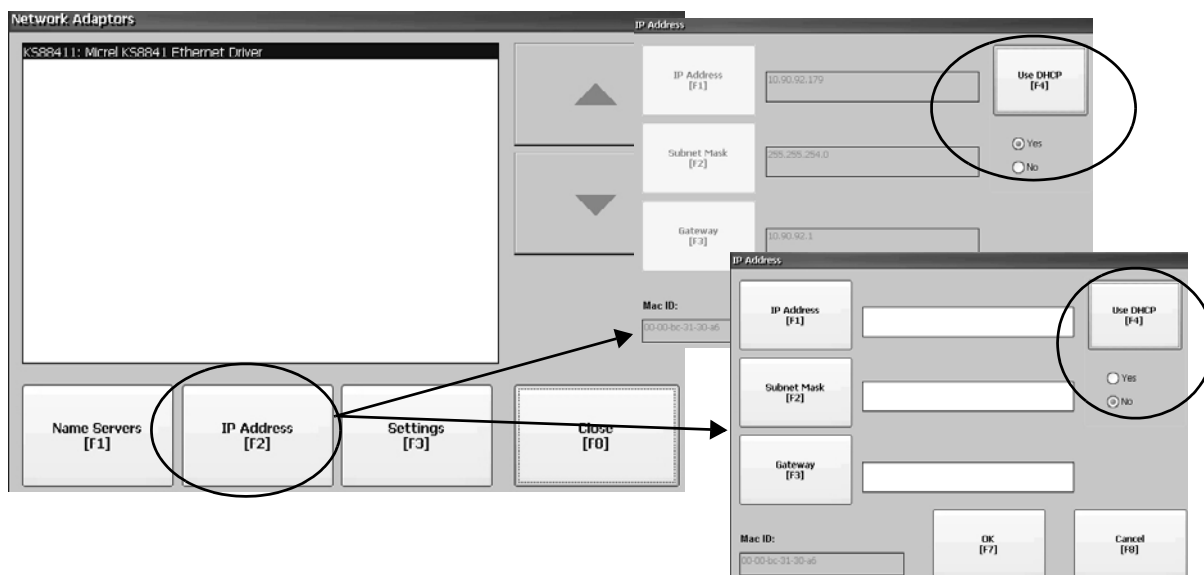
- ネットワーク上のターミナルの IP アドレス（リンク速度を含む）
- ネットワーク上でのターミナルを識別するデバイス名
- ネットワークリソースにアクセスするためのユーザ名とパスワード

ターミナルのイーサネットアドレスの設定

一部のネットワークでは、動的ホスト構成プロトコル（DHCP）が有効になっている場合に IP アドレスを自動的に割付けます。DHCP が無効になっている場合は、IP アドレスを手動入力できます。

以下の手順に従って、ターミナルの IP アドレスを表示または入力してください。

1. Terminal Settings を押してから、Networks → Communications → Network Connections → Network Adapters の順に選択します。



2. IP Address を押して IP アドレスを表示または変更します。
3. Use DHCP を押してアドレスの DHCP 割付けを有効または無効にします。
 - DHCP が有効になっている、つまり Yes に設定されている場合は、ネットワークに新たに接続されたデバイスに IP アドレスが自動的に割付けられます。
 - DHCP が無効になっている、つまり No に設定されている場合は、IP アドレスを手動入力できます。IP address、Subnet Mask、および Gateway を押して IP 形式のアドレスを入力します。

- ヒント**
- IP address – IP アドレスの形式は、xxx.xxx.xxx.xxx (例：192.168.124.96) です。10 進数の最初のセットでは、値の範囲は 1 ~ 255 で、後の 3 つのセットでは値の範囲は 0 ~ 255 です。デフォルト値は、000.000.000.000 です。
 - Subnet Mask – アドレスはサーバのサブネットマスクと同一でなければならない。
 - Gateway – オプションのアドレス
 - Mac ID – 読取り専用フィールド

4. 完了したら OK を押します。

メッセージが表示されたら、FactoryTalk View ME Station のダイアログボックスでデバイスをリセットしてください。

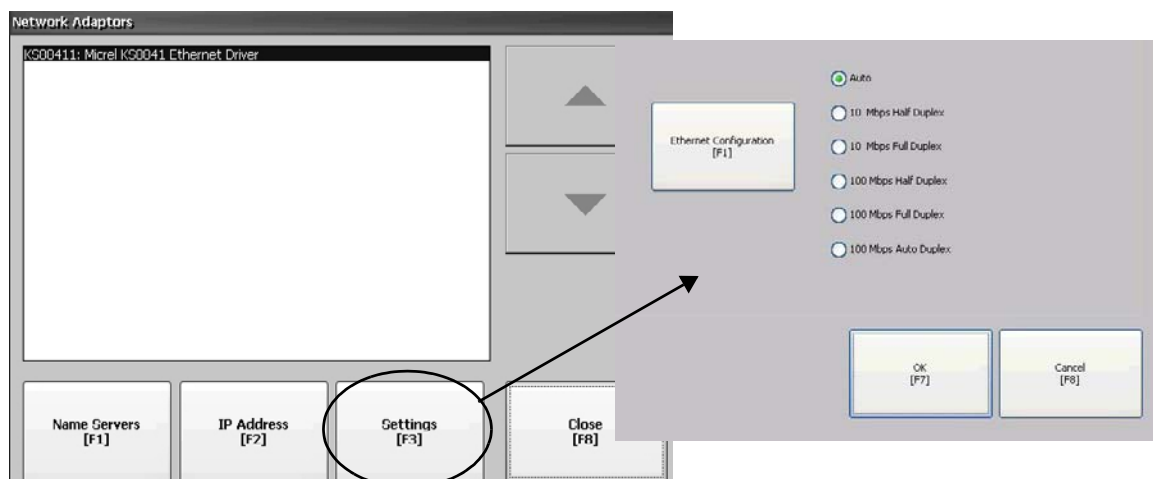
5. Close を押します。

イーサネットリンク速度の設定

イーサネットネットワークでデータが転送される速度とモードを変更することができます。デフォルト設定は **Auto** です。Auto オプションでは、ローカルネットワークの速度に合わせて自動的にデバイスの速度が構成されます。

- ヒント** Auto オプションでは、イーサネットネットワークに接続されるデバイスの実速度と二重性の設定が自動的に決定されるので、このオプションを推奨します。
- 手動オプションを選択する場合は、イーサネットネットワークに接続されるデバイスの速度と二重性の設定が同一であることを確認してください。設定が異なる場合は、ネットワークパフォーマンスが落ちてエラーが発生する場合があります。

1. Terminal Settings を押してから、Networks → Communications → Network Connections → Network Adapters の順に選択します。

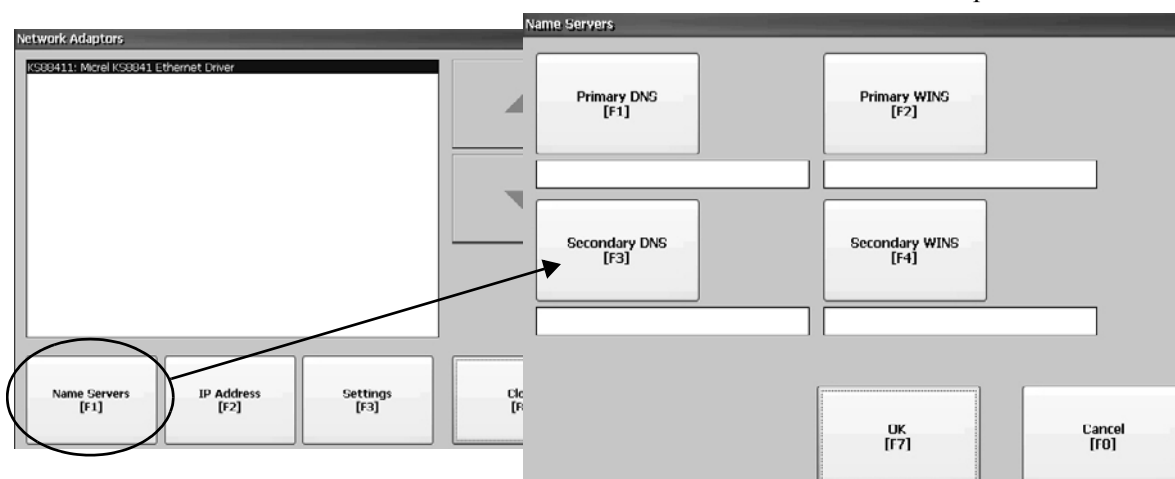


2. Settings を押して、イーサネットのリンク設定にアクセスします。
3. Ethernet Configuration を押して、イーサネットネットワークのデータ転送速度を変更します。
4. OK を押して Network Adapters ダイアログボックスに戻ります。

サーバアドレスへの名前の指定

EtherNet/IP ネットワークアダプタに対してサーバアドレスに名前を付けることができます。DHCP がそのアダプタに対して有効になっている場合、これらのアドレスは自動的に割当てられます。

1. Terminal Settings を押してから、Networks → Communications → Network Connections → Network Adapters の順に選択します。

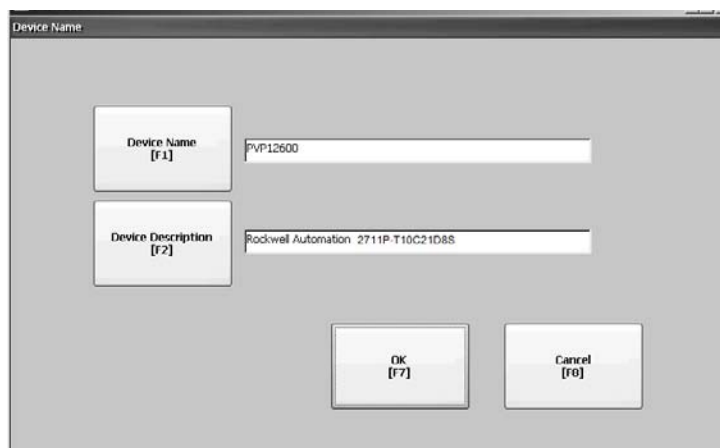


2. Name Servers を押します。
3. ボタンを押して、対応する名前のサーバアドレスを入力します。
4. 完了したら OK を押します。

ターミナルのデバイス名の変更

各ターミナルには、ネットワーク上で識別できるように固有の名前が付けられています。

1. Terminal Settings を押してから、Networks → Communications → Network Connections → Device Name の順に選択します。
2. Device Name を押してデフォルトのデバイス名を編集します。



- ヒント** デバイス名には、次のように1～15文字が使用されます。
- 最初の文字には、大文字または小文字の a～z、A～Z を使用する必要があります。
 - 残りの文字には、a～z、A～、0～9、または - (ハイフン) を使用することができます。

3. Device Description を押してデバイスの説明を変更します。

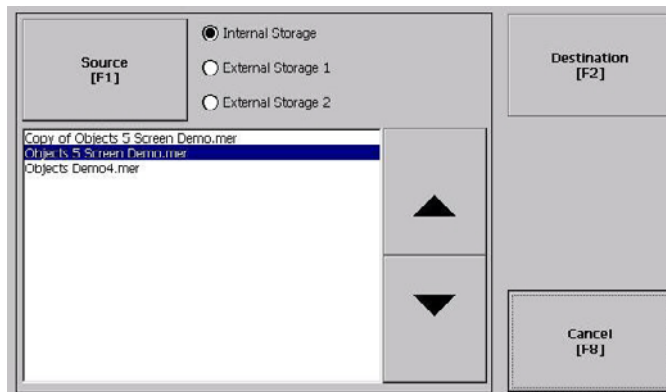
ヒント 説明は最大 50 文字です。デフォルトの説明はロックウェル・オートメーションとデバイスのカタログ番号です。

4. OK を押します。

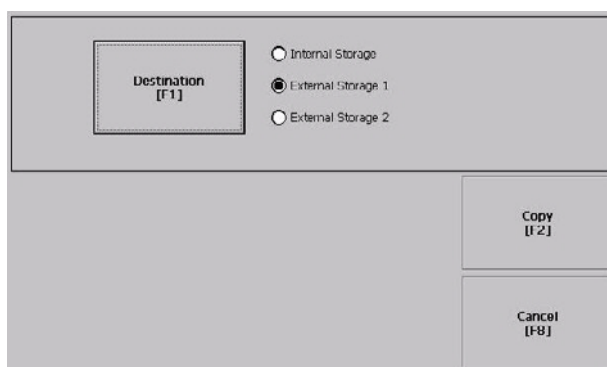
ターミナルでのファイルのコピー

ターミナルの不揮発性メモリ、USB ドライブ、または SD カードの間で FactoryTalk View ME の .mer アプリケーションファイルまたはフォントファイルをコピーすることができます。

1. Terminal Settings を押してから、File Management → Copy Files → Copy Applications または Copy Fonts の順に選択します。



2. Source を押して、コピーするファイルの場所を選択します。
 - Internal Storage - ターミナルの不揮発性メモリ
 - External Storage 1 - ターミナルのカードスロットに装着された SD カード
 - External Storage 2 - ターミナルの USB ホストポートに接続された USB ドライブ
3. 選択した格納領域のリストに表示されるファイルを選択します。
4. 同じダイアログボックスの Destination を押します。



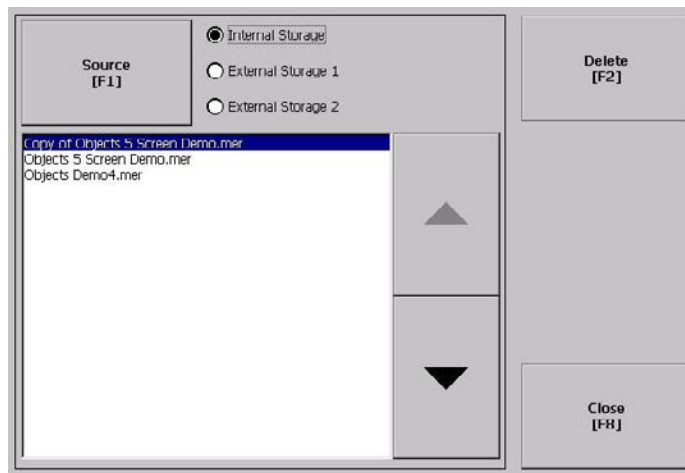
5. Destination を押して、ファイルをコピーする格納場所を選択します。
コピー先はコピー元の場所と違っていなければなりません。
6. Copy を押して、選択したファイルをコピー先にコピーします。
そのファイルがすでに存在する場合は、そのファイルを上書きするかどうかを確認するメッセージが表示されます。Yes または No を選択します。

ヒント ターミナルにファイルを保存する場合は、必ず .mer ファイルは My Device\Application Data\Rockwell Software\RSViewME\Runtime\ に保存し、フォントファイルは \Rockwell Software\RSViewME\Fonts\ に保存します。

ターミナルからの ファイルの削除

ターミナルの不揮発性メモリ、USB フラッシュドライブ、または SD カードに存在する FactoryTalk View ME Station の .mer ファイルまたは フォントファイルを削除することができます。

1. Terminal Settings を押してから、File Management → Delete Files → Delete Applications または Delete Fonts の順に選択します。



2. Source を押して、削除するアプリケーションまたはフォントファイルの格納場所を選択します。
 - Internal Storage - ターミナルの不揮発性メモリ
 - External Storage 1 - ターミナルのカードスロットに装着された SD カード
 - External Storage 2 - ターミナルの USB ホストポートに接続された USB ドライブ
3. 選択した格納領域のリストに表示されるファイルを選択します。
4. Delete を押します。
5. 選択したアプリケーションまたはフォントファイルを削除するかどうかを確認するメッセージが表示されたら Yes または No を選択します。

ログファイルの削除

ログファイル、アラーム履歴ファイル、およびアラーム・ステータス・ファイルをターミナルのシステムデフォルトの場所から削除できます。これらのファイルは実行時にアプリケーションによって生成されます。

1. Terminal Settings → File Management → Delete Files → Delete Log Files の順に押します。

以下に示すように、ファイルを削除することを確認するメッセージが表示されます。

Do you want to delete all of the FactoryTalk View ME Station Log Files?
(FactoryTalk View ME Station ログファイルをすべて削除しますか?)

2. Yes または No を選択します。

システムデフォルトの場所がないログファイルは削除されません。

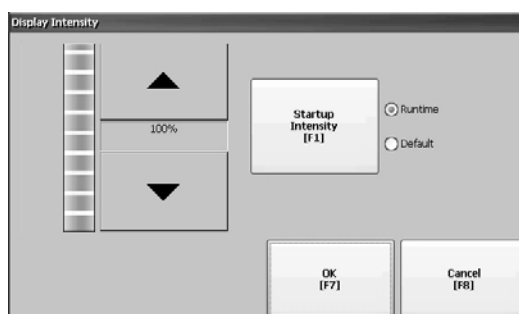
ディスプレイの設定

ターミナルのディスプレイでは、輝度の変更、スクリーンセーバの構成、スクリーンカーソルを無効にすることができます。

ディスプレイの輝度の調整

バックライトの輝度を1～100%の範囲で10%ずつ増減して調整することができます。0%では、バックライトはほとんど見えなくなります。初期設定の輝度100%で使用することも、実行時の操作の輝度を調整することもできます。

1. Terminal Settings を押してから、Display → Display Intensity の順に選択します。

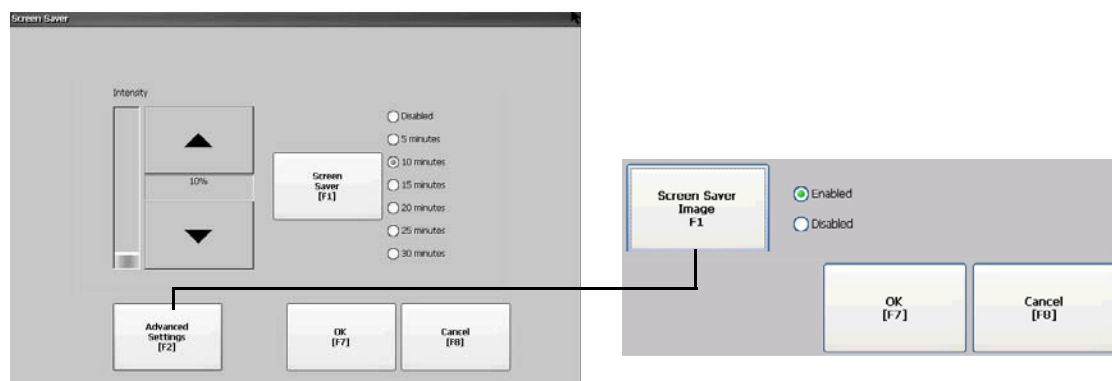


2. Startup Intensity を押して、輝度を Default と Runtime の間で切替えます。
 - Runtime を選択すると、スタートアップ画面では実行時の輝度を使用されます。
 - Default を選択すると、スタートアップ画面ではデフォルト設定である 100% が使用されます。
3. 上 / 下矢印キーを押して、実行時の操作の輝度を増減します。
4. 調整が終わったら OK を押して変更を保存します。

スクリーンセーバの構成

一定の時間、ユーザの操作が検出されないと、ターミナルのディスプレイにスクリーンセーバの画像が表示されます。デフォルトのアイドル時間は 10 分です。スクリーンセーバのアイドル時間と輝度レベルを調整し、スクリーンセーバをオフにし、またはスクリーンセーバの画像をオフにすることができます。

1. Terminal Settings を押してから、Display → Screen Saver の順に選択します。

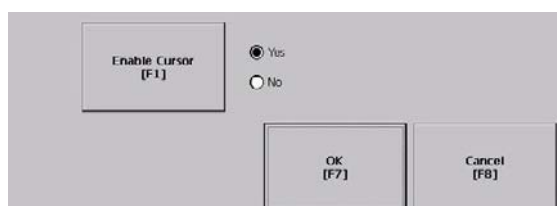


2. Screen Saver を押して、スクリーンセーバをアクティブにするためのアイドル時間を変更します。
スクリーンセーバを無効にする場合は、Disabled を選択します。
3. 上 / 下カーソルボタンを押して、スクリーンセーバの輝度を増減します。
4. Advanced Settings を押して、スクリーンセーバの画像設定にアクセスします。
 - a. Screen Saver Image を押して、現在のスクリーンセーバを無効または有効にします。
スクリーンセーバの画像の変更方法については、[84 ページ](#)を参照してください。
 - b. OK を押して Screen Saver ダイアログボックスに戻ります。
5. OK を押して終了し、Terminal Settings に戻ります。

スクリーンカーソルの無効

ターミナルでは、スクリーンカーソルの機能があり、無効 / 有効することができます。

1. Terminal Settings を押してから、Display → Cursor の順に選択します。



2. Enable Cursor を押して、カーソルを無効または有効にします。
3. OK を押して終了し、Terminal Settings に戻ります。

入力装置の設定

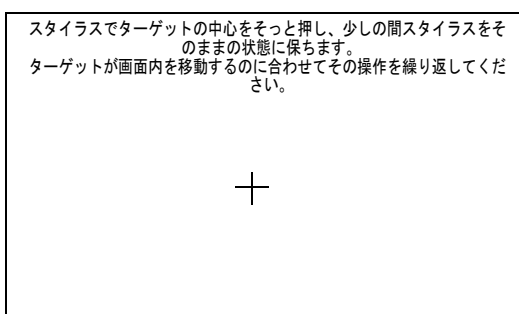
タッチスクリーンや文字列入力ポップアップなどの、ターミナルで使用される入力装置を調整することができます。

タッチスクリーンのキャリブレーション

以下の手順に従って、タッチスクリーンをキャリブレーションしてください。

重要 先端の最小半径が 1.3mm (0.051 インチ) のプラスチック製スタイラスを使用してください。スタイラスは指よりも正確に操作でき、またスクリーンの保護にもなります。

1. Terminal Settings を押してから、Input Devices → Touch Screen → Calibration の順に選択します。



2. 画面上の手順に従います。

キャリブレーションが完了すると、新しいキャリブレーション設定の計測結果を示すメッセージが表示されます。以下のいずれかを選択することができます。

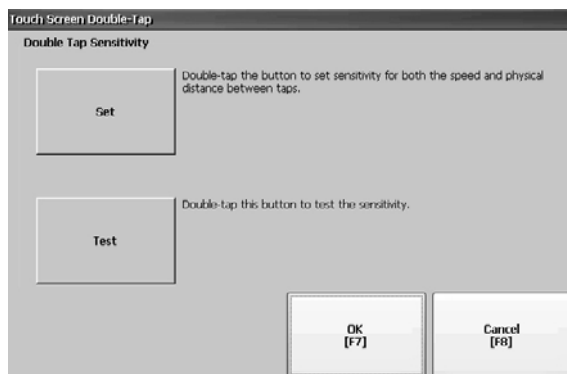
- 保存されたデータを登録するには画面を押す。
- 保存されたデータをキャンセルし現行の設定を保持するには 30 秒間待つ。

タッチスクリーンでのダブルタップ感度の設定

タッチスクリーンをダブルタップする間の速度と物理的距離の両方について感度を設定およびテストすることができます。

ヒント このプロセスは、マウスクリックの感度の設定とテストのプロセスとまったく同じです。マウスクリックの感度を調整するには、Terminal Settings を押してから、Input Devices → Mouse の順に選択します。

1. Terminal Settings を押してから、Input Devices → Touch Screen → Double Tap Sensitivity の順に選択します。

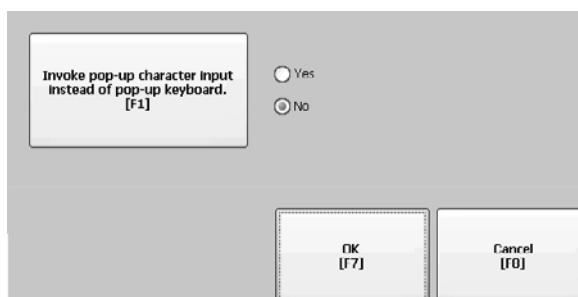


2. Set をダブルタップして、タッチスクリーンのタップの感度を設定します。
3. Test をダブルタップして、タッチスクリーンのタップの感度をテストします。
Test ボタンをダブルタップすると、Test ボタンの文字表示色と背景色が反転します。
4. 完了したら OK を押します。

文字列入力用ポップアップの変更

ポップアップキーボードまたは入力パネルのかわりに、文字入力用の文字列ポップアップを使用することができます。

1. Terminal Settings を押してから、Input Devices → String Popup の順に選択します。



2. 「Invoke pop-up character input instead of pop-up keyboard」を押して、文字入力で優先される入力方式を選択します。
3. OK を押します。

印刷オプションの構成

ディスプレイ、アラームメッセージ、または FactoryTalk View ME アプリケーションからの診断メッセージを印刷するための設定を構成できます。ディスプレイとメッセージの印刷設定は同じですが、高度な設定は異なります。

PanelView Plus 7 Standard ターミナルは、選択されたプリンタに対応しています。サポートされているプリンタのリストは、<http://www.rockwellautomation.com/knowledgebase> にアクセスし、ナレッジベースで「Printers Supported on PanelView Plus」というキーワードを入力して検索してください。

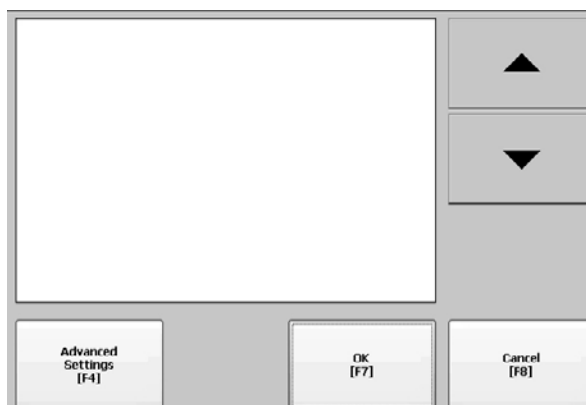
プリンタのインストールは、プラグ & プレイです。サポートされているプリンタは、自動的に適切なドライバにマッピングされます。自動的に適切なドライバに対応するように構成されないプリンタは手動でインストールできます。

以下の手順に従って、印刷設定にアクセスしてください。

1. Terminal Settings を押してから、Print Setup → option の順に選択します。
 - Alarm Print Setup
 - Diagnostic Setup
 - Display Print Setup

Print Setup ダイアログボックスでは、FactoryTalk View ME アプリケーションで利用可能なインストール済みのプリンタが表示されます。表示されるプリンタのリストは、インストールされているプリンタによって異なります。

出荷時にターミナルにはプリンタが事前に構成されていないため、最初はダイアログボックスに何も表示されません。

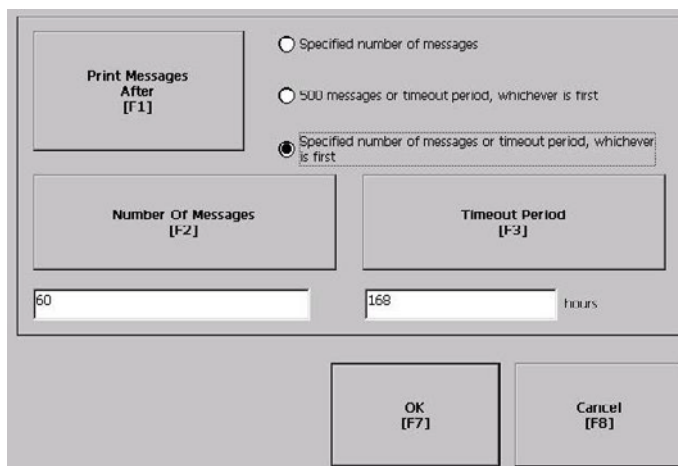


2. インストール済みのプリンタを選択します。

ヒント 選択するプリンタは、コントロールパネルの Printers アプレットにリスト表示されています。
 プリンタの自動インストール試行の失敗は、システム・イベント・ログに報告されます。
 自動的にインストールされないプリンタを手動でインストールするには、Windows Explorer のコントロールパネルを使用します。

3. Advanced Settings を押して、以下の設定にアクセスします。

- 印刷表示のオプションには、印刷方向、ドラフトモード、およびカラーが含まれています。
- 印刷診断およびアラームメッセージのオプションでは、ネットワークまたは USB ポートに送信されたメッセージを出力するタイミングを決定します。



Print Messages After	デフォルト値	例
Specified number of messages	60 件のメッセージ	キューに 60 件のメッセージが入っている場合、それらのメッセージは、キュー内に格納されていた時間に関わらず印刷される。 このメッセージ件数は変更できる。
500 messages or timeout period, whichever is first	168 時間 (7 日)	168 時間経過後にキューに 350 件のメッセージが入っている場合は、それらの 350 件のメッセージが印刷される。 このタイムアウト期間は変更できる。
Specified number of messages or timeout period, whichever is first	60 件のメッセージ 168 時間 (7 日)	24 時間経過後にキューに 60 件のメッセージが入っている場合は、それらの 60 件のメッセージが印刷される。 このメッセージ件数とタイムアウト期間は変更できる。 例えば、メッセージの件数が 75 に、タイムアウト期間が 48 時間に設定されているとする。 <ul style="list-style-type: none"> • 24 時間経過後にキューに 75 件のメッセージが入っている場合は、設定された 48 時間のタイムアウト以前にそれらの 75 件のメッセージが印刷される。 • 48 時間経過後にキューに 15 件のメッセージが入っている場合は、設定されたそのタイムアウト期間後にそれらの 15 件のメッセージが印刷される。

4. 完了したら OK を押します。

5. OK を押して Terminal Settings に戻ります。

診断の構成

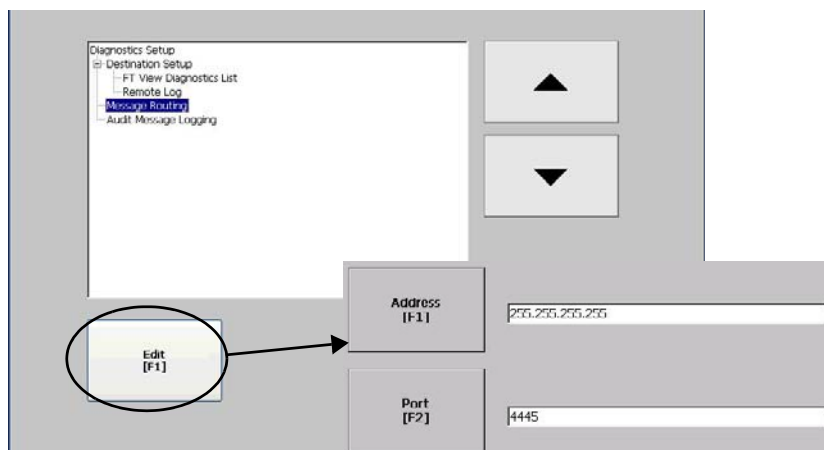
トラブルシューティングのために、診断結果をリモートコンピュータでログに記録することができます。

以下の手順に従って、診断を設定し、任意のコンピュータに転送するように構成してください。

1. Terminal Settings → Desktop Setup の順に押します。

診断ノードのリストが表示されます。

ヒント Remote Log Setup または Message Routing Setup にアクセスするには、ノードを選択してから Edit を押します。



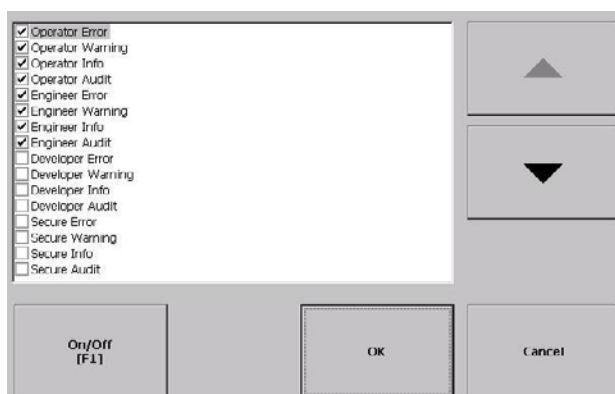
Remote Log Destination ではメッセージの診断を実行中の Windows コンピュータへ転送します。IP アドレスとポート番号からコンピュータが識別されます。

フィールド	説明	有効値
Address	リモート Windows コンピュータの IP アドレス	XXX.XXX.XXX.XXX
Port	リモート Windows コンピュータとの通信に使用されるポート	4445 (デフォルト)

Message Routing を選択し、以下のダイアログボックスにアクセスします。

- Remote Log
- FactoryTalk View Diagnostics List

それぞれのダイアログボックスには、転送先に送信可能なメッセージのリストが表示されます。メッセージにカーソルを置いてから、On/Off を押してメッセージを有効または無効にします。ボックスがチェックされたメッセージは有効になります。ボックスがチェックされていないメッセージは無効になります。



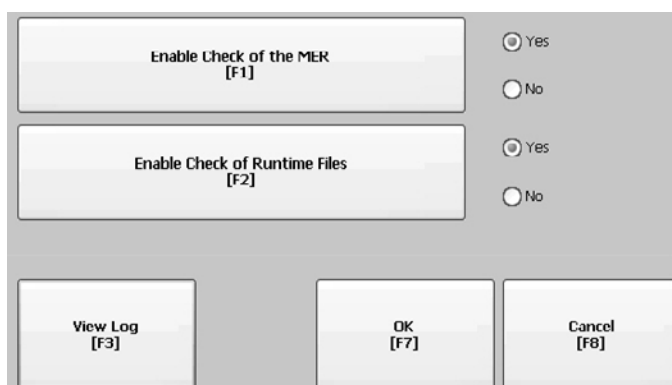
Audit Message Logging により、メッセージを Audit または Information としてログに記録することができます。

アプリケーションファイルの整合性チェック

ターミナルにロードされている .mer アプリケーションとランタイムファイルの整合性チェックを定期的に行なってください。エラー、警告、および情報メッセージは、1つのファイルに記録されます。このログを表示して、項目をログから消去することができます。

ヒント ランタイムファイルにより、ターミナル上でアプリケーションを実行することができます。ターミナルが正しく機能していない場合は、ログを見直すことによりランタイムファイルのエラーを特定することができます。

1. Terminal Settings → File Integrity Check の順に押します。



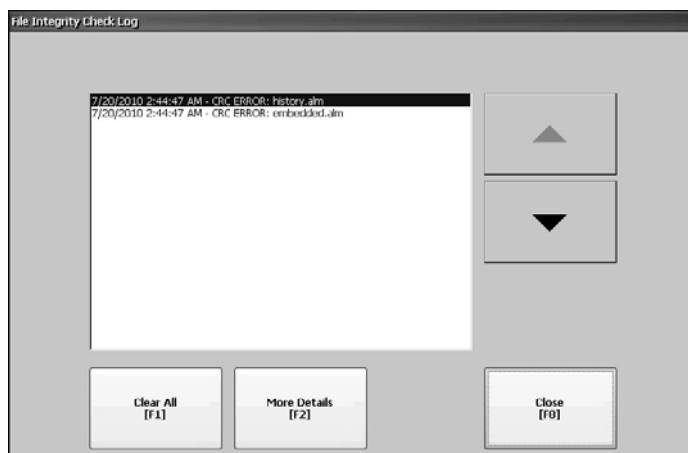
2. Enable オプションのいずれかを押し、.mer アプリケーションまたはランタイムファイルの整合性チェックを無効にします。

アプリケーションの .mer ファイルとランタイムファイルに対して整合性チェックが自動的に実行されます。上記のいずれかの機能を無効にした場合は、それらのファイルに対してチェックは行なわれず、ログファイルも更新されません。

3. OK を押して変更を保存します。

以下の手順に従って、ランタイムファイルによって生成されたログを表示してください。

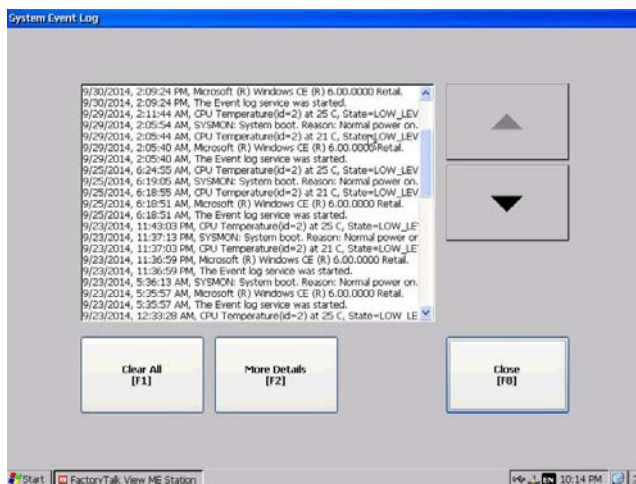
1. File Integrity Check ダイアログボックスの View Log を押します。



2. イベントを選択し、More Details を押して、そのイベントの詳細を表示します。
3. Clear All を押して、ログからすべての詳細情報を消去します。
4. Close を押して直前のダイアログボックスに戻ります。

システム・イベント・ログの表示とクリア

System Event Log には、ターミナルでログに記録された警告、エラー、およびイベントが表示されます。このログは、各イベントの発生日時を示すタイムスタンプとイベントについての説明テキストを提供します。新たにイベントが発生したときにイベントログが満杯の場合は、その新規イベント用のスペースを確保するために最も古いエントリ項目が削除されます。

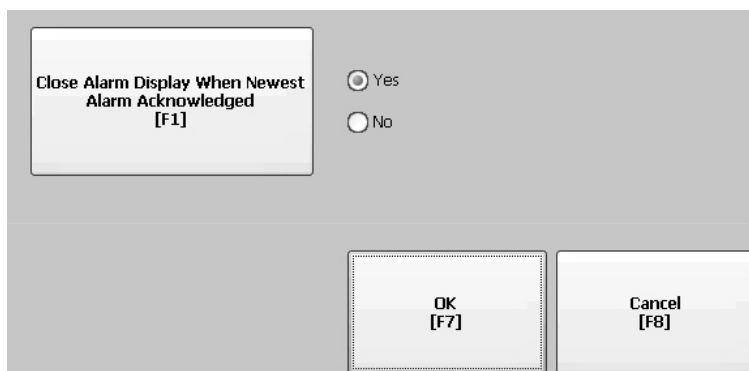


1. Terminal Settings → System Event Log の順に押します。
2. イベントを選択し、More Details を押して、そのイベントの詳細を表示します。
3. Clear All を押して、ログからすべてのイベントを消去します。
4. Close を押します。

アラームディスプレイの有効 / 無効

ターミナルでは、アラーム発生時に各アラームをアラームディスプレイまたはアラームバナーに表示します。オペレータが最新のアラームを確認すると、アラームディスプレイは閉じるか、開いたままになります。デフォルトでは、アラームディスプレイを閉じます。

1. Terminal Settings を押してから、Alarms を選択します。



2. 「Close Alarm Display When Newest Alarm Acknowledged」を押して、Yes と No を切換えます。
 - Yes の場合、最新のアラームを確認すると、アラームディスプレイが閉じます。
 - No の場合、最新のアラームを確認しても、アラームディスプレイは開いたままになります。
3. OK を押します。

システム情報の表示

ターミナル情報と、ターミナルにインストールされているソフトウェアのファームウェアリビジョン情報を表示できます。

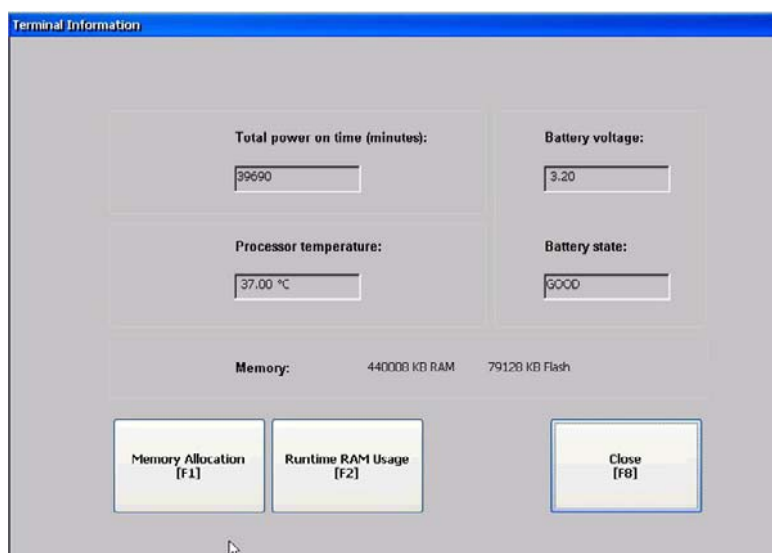
ターミナル情報の表示

以下の情報を表示することができます。

- 総稼働時間（単位：分）
- プロセッサ温度
- バッテリ電圧および状態
- メモリの割当てと使用率
- 実行時のランダム・アクセス・メモリ（RAM）の使用率

以下の手順に従って、ターミナルのステータス情報を表示してください。

1. Terminal Settings を押してから、System Information → Terminal Information の順に選択します。



- プロセッサ温度は 90°C（194°F）未満でなければならない。

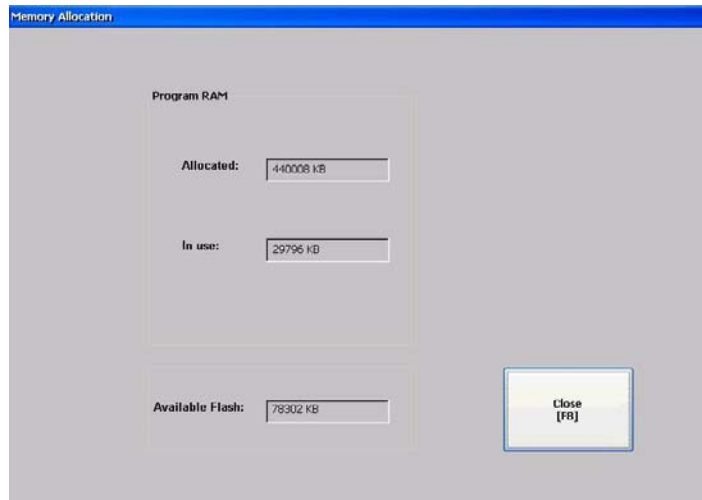
重要 温度超過メッセージは、システム・イベント・ログに記録されます。

- 85°C（185°F）で、警告メッセージが発行されます。
- 90°C（194°F）で、エラーメッセージが発行されます。

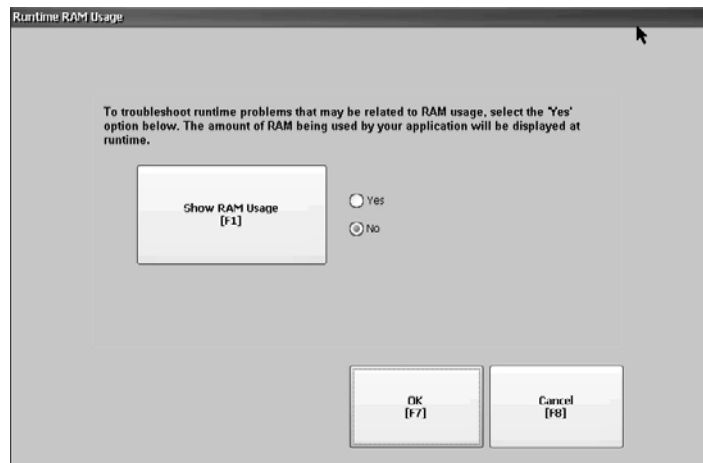
- バッテリ電圧は DC2.75V 以上でなければならない。

バッテリーの状態	説明
GOOD	適正なバッテリーの状態
FAILING	バッテリー電力低下。バッテリーを交換してください。
BAD	バッテリーが検出されないか、不良状態である。バッテリーを交換する。

2. Memory Allocation を押して、Program RAM と Available Flash（不揮発性）メモリに関する情報を表示します。



3. Close を押して直前のダイアログボックスに戻ります。
4. Runtime RAM Usage を押して、実行時にアプリケーションで使用される RAM を表示します。この情報は、RAM の使用率に関連する問題のトラブルシューティングを行なう際に役に立ちます。

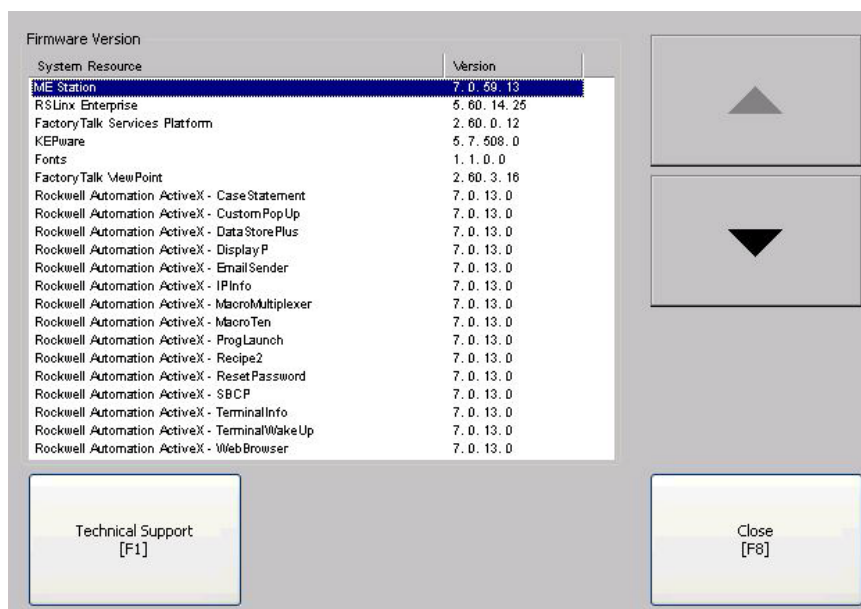


5. OK を押して直前のダイアログボックスに戻ります。
6. Terminal Settings に戻るまで Close を押します。

FactoryTalk View ME Station の情報の表示

ターミナルにインストールされたコンポーネントのファームウェアおよびバージョン情報を表示し、テクニカルサポート情報にアクセスすることができます。

1. Terminal Settings を押してから、System Information → About FactoryTalk View ME Station の順に選択します。



2. Technical Support を押して、サポート用の電話番号と Web サイトを表示します。
3. Terminal Settings に戻るまで Close を押します。

時刻と日付の設定

ターミナルの操作のタイムゾーン、日付、時刻、および地域に関する設定を変更できます。

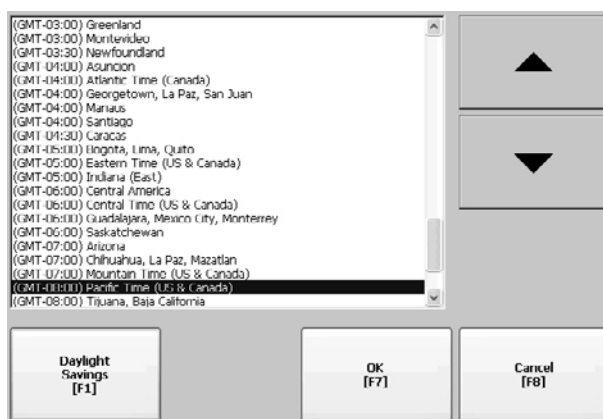
ヒント ターミナルの現在の日付と時刻を変更する前に、タイムゾーンを設定します。

ターミナルでのタイムゾーンの変更

ターミナルの現在のタイムゾーンを表示または変更することができます。タイムゾーンは、オペレーティングシステムによってインストールされています。タイムゾーンを変更すると、タイムゾーンに一致するように現在の時刻と日付が調整されます。

ターミナルの時計は、ターミナル上でファイルが作成または変更された時刻を記録します。時計の時刻とタイムゾーンを変更することができます。

1. Terminal Settings を押してから、Time/Date/Regional Settings → Time Zone の順に選択します。



2. 上 / 下カーソルを押してタイムゾーンを選択します。

サマータイムを採用していない日本を除くすべてのタイムゾーンで、Daylight Saving Time（サマータイム）が有効に設定されています。Daylight Saving Time を変更すると、ターミナルの時計は自動的に調整されます。

3. オプションとして、タイムゾーンの Daylight Saving Time を有効または無効にするには、Use Daylight Savings を押します。



変更内容は、Time Zone ダイアログボックスを閉じるまでは永続的なものになりません。

4. 完了したら Close を押します。
5. OK を押して直前のダイアログボックスに戻ります。

ターミナルでの現在の日付の変更

以下の手順に従って、ターミナルの日付を調整してください。

1. Terminal Settings を押してから、Time/Date/Regional Settings → Date の順に選択します。

2. Year、Month、および Day を押してボタンの上にある現在の値を変更します。
 - Year は 4 桁で、範囲は 1980 ~ 2099
 - Month の範囲は 1 ~ 12
 - Day の範囲は 1 ~ 31 で、月に照らし合わせて検証される。
3. 完了したら OK を押します。

ターミナルでの現在の時刻の変更

以下の手順に従って、ターミナルの時刻を調整してください。

1. Terminal Settings を押してから、Time/Date/Regional Settings → Time の順に選択します。

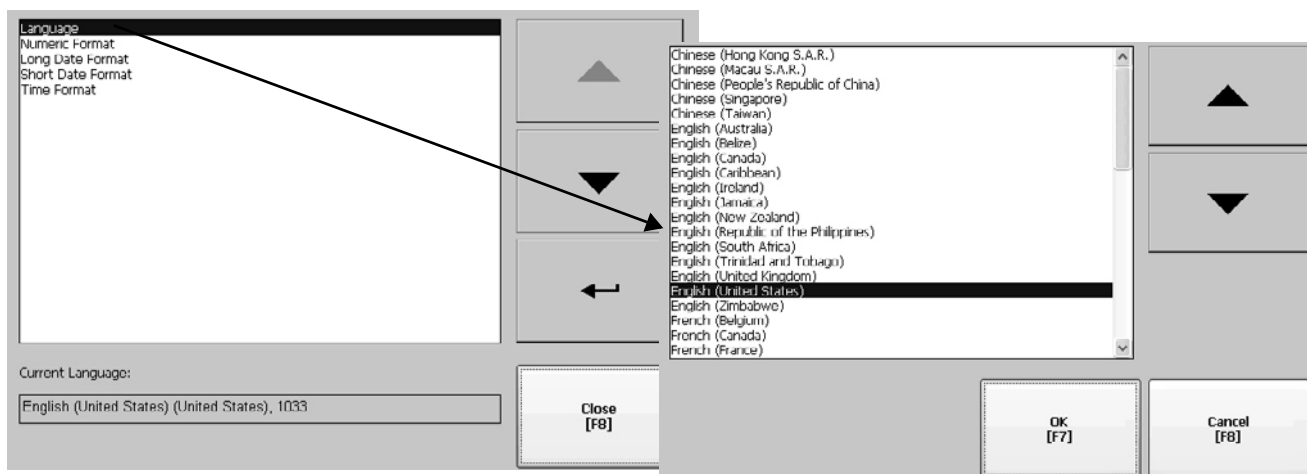
2. Hour、Minute、および Seconds を押して現在値を変更します。
 - Hour の範囲は 0 ~ 23 (24 時間形式)
 - Minute と Seconds の範囲は、0 ~ 59
3. 完了したら OK を押します。

地域の設定

日付、時刻、および国または地域の規格に合った数字の表示形式を変更することができます。言語は、オペレーティングシステムによってインストールされています。地域の設定を変更する前に、言語を選択する必要があります。

以下の手順に従って、ターミナルにインストールされた言語を選択してください。

1. Terminal Settings を押してから、Time/Date/Regional Settings → Language の順に選択します。



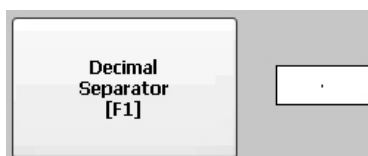
2. 上 / 下カーソルキーを使って言語を選択します。
3. OK を押します。

選択した言語が Regional Settings ダイアログボックスの Current Language の下に表示されます。

小数点記号の変更

選択された言語の数値形式で使用される小数点記号を変更できます。デフォルトの小数点の記号はピリオドです。

1. Terminal Settings を押してから、Time/Date/Regional Settings → Numeric Format の順に選択します。



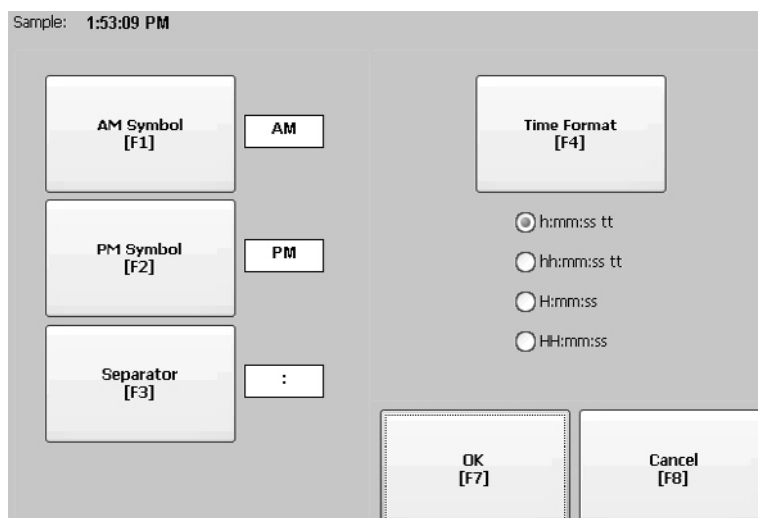
デフォルトの小数点が表示されます。

2. 新しい小数点の記号として最大 3 文字を入力します。
3. OK を押します。

言語の時刻形式の変更

以下の手順に従って、選択した言語の時刻形式を変更してください。

1. Terminal Settings を押してから、Time/Date/Regional Settings → Time Format の順に選択します。



現在の時刻が選択された形式で表示されます。

2. 適切な選択肢を押して形式を調整します。
選択を行なうたびに、サンプルの形式が変化します。

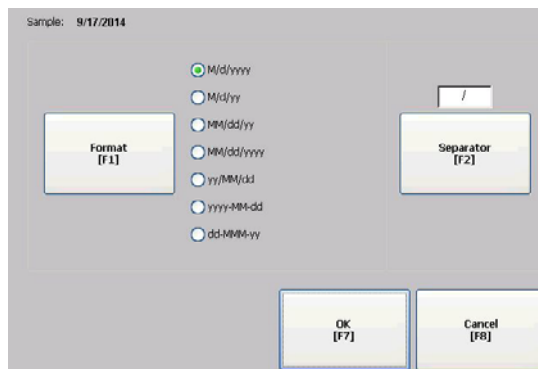
フィールド	説明	例
Time Format 12 時間	h:mm:ss tt (デフォルト) h =12 時間表示、先頭にゼロを付けない tt = AM または PM 記号	7:23:02 AM または 1:13:31 PM 11:43:59 AM
	hh:mm:ss tt hh =12 時間表示、先頭にゼロを付ける tt = AM または PM 記号	07:23:02 AM または 01:13:31 PM 11:43:59 PM
Time Format 24 時間	H:mm:ss h =24 時間表示、先頭にゼロを付けない	7:03:42 または 1:13:32 23:43:59
	HH:mm:ss hh =24 時間表示、先頭にゼロを付ける	07:03:42 または 01:13:22 23:43:59
AM Symbol	AM (午前) を示すための文字。時刻形式が 12 時間表示 (h:mm:ss tt または hh:mm:ss tt) に設定されている場合は、AM 記号を変更できる。	AM (デフォルト) 最大 12 文字
PM Symbol	PM (午後) を示すための文字。時刻形式が 12 時間表示 (h:mm:ss tt または hh:mm:ss tt) に設定されている場合は、PM 記号を変更できる。	PM (デフォルト) 最大 12 文字
Separator	時刻形式のフィールドの区切り文字	: (デフォルト) 最大 3 文字

3. OK を押します。

言語の短い日付形式の変更

以下の手順に従って、選択した言語の短い日付形式を変更してください。

1. Terminal Settings を押してから、Time/Date/Regional Settings → Regional Settings → Short Date Format の順に選択します。

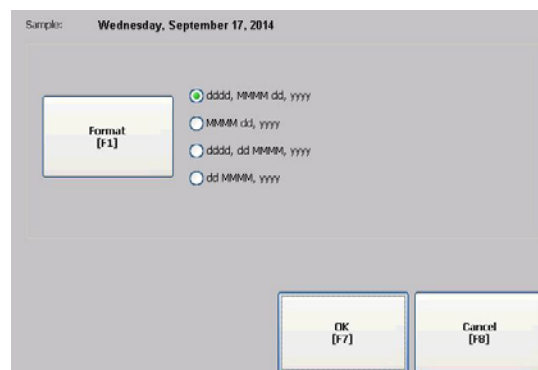


2. Format を押して、短い日付形式を変更します。
選択に伴い Sample エリアの日付が更新されます。
3. Separator を押して、日付要素の区切り文字を変更します。
区切り文字は 3 文字の場合があります。デフォルトの区切り文字は - または / です。
4. 完了したら OK を押します。

言語の長い日付形式の変更

以下の手順に従って、選択した言語の長い日付形式を変更してください。

1. Terminal Settings を押してから、Time/Date/Regional Settings → Regional Settings → Long Date Format の順に選択します。



2. Format を押して、長い日付形式を変更します。
選択に伴い Sample エリアの日付が更新されます。
3. 完了したら OK を押します。

Windows オペレーティングシステム

項目	参照ページ
オペレーティングシステムの機能	75
Windows Explorer	77
タスクバー	77
ソフト入力パネル	78
Windows コントロールパネル	78
バックアップおよび復元	79
ディスプレイプロパティ	83
ハードウェアモニタ	85

項目	参照ページ
ログマネージャ	87
ユーザアカウント	89
サービス	91
ネットワークサーバ構成	91
システム情報	104
タッチプロパティ	108
PDF リーダ	109

オペレーティングシステムの機能

PanelView Plus 7 ターミナルでは、以下の機能を提供する Microsoft Windows CE バージョン 6.0 オペレーティングシステム (OS) が動作しています。

- コマンドシェル
- コマンドプロセッサ
- コンソールウィンドウ
- Windows Explorer シェル
- 共通ダイアログボックス
- コントロールパネル
- ネットワーク・ユーザ・インターフェイス
- ソフトキーボード入力パネル
- PDF リーダ
- 右クリックがサポートされたマウスおよびタッチスクリーンのサポート

ヒント スクリーンを 1 秒以上タップしたままにすると、右クリック機能を実行できます。

- VNC サーバ/クライアントビューア

重要 このターミナルでは、2 つの VNC クライアントビューアが配布されます。

- Vncviewer.exe は、ターミナルデスクトップの /Windows フォルダにあります。このビューアをパーソナルコンピュータに導入して、PanelView Plus 7 ターミナルの接続、表示、および制御を行なうことができます。
- ターミナル上のもう 1 つのビューアにより、別の PanelView Plus 7 ターミナルへの VNC コネクションを確立することができます。このビューアにアクセスするには、Start → Programs → VNC Viewer の順に選択します。

アプリケーションサポート

Windows CE オペレーティングシステムでは、以下のアプリケーションサポートを利用することができます。

- .Net Compact Framework (バージョン 3.5 以降)
- C++ ライブラリおよびランタイム
- DCOM/COM/OLE コンポーネントサービス
- メッセージキューイング用 MSMQ
- MSXML (バージョン 3.0 以降)
- デバイス用 Microsoft Foundation Class (MFC) (バージョン 9.0 以降)
- Active Template Library (ATL)
- ActiveSync
- キャビネット (CAB) ファイルインストーラ/アンインストーラ
- ToolHelp アプリケーション・プログラミング・インターフェイス (API)
- エラーレポート (ジェネレータ、転送ドライバ、制御パネル)

スクリプトのサポート

Windows CE オペレーティングシステムは以下のスクリプト機能をサポートしています。

- バッチ/コマンド (BAT ファイルと CMD ファイル)
- CS-Script
- JScript

ネットワークのサポート

Windows CE 6.0 オペレーティングシステムは以下のネットワーク機能をサポートしています。

- Winsock のサポート
- ネットワークユーティリティ - ipconfig、ping、route
- ネットワーク・ドライバ・アーキテクチャ (NDIS)
- Windows ネットワーキング API/リダイレクタ
- ワイヤード・ローカル・エリア・ネットワーク (LAN)、802.3、802.5

サーバのサポート

以下の表に、Windows CE 6.0 オペレーティングシステムでサポートされるサーバをリストします。

表 20 - Windows CE 6.0 でのサーバのサポート

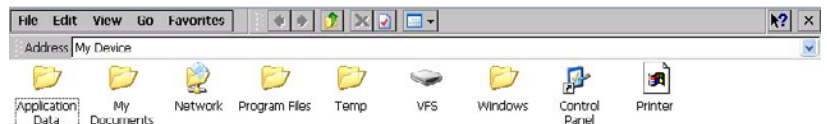
サーバ	デフォルトの状態	説明
Web サーバ	有効	Web サーバは、Web 上で HTTP プロトコルを使用して、Web ページなどのコンテンツを配信する。
FTP サーバ	有効	ファイル転送プロトコル (FTP) は、インターネット (TCP/IP ベースのネットワーク) 上でファイルを交換するための標準のネットワークプロトコル
UPnP サーバ	有効	Universal Plug and Play (UPnP) は、機器の取付け後にネットワークへの接続を可能にするネットワークプロトコルのセット
ファイルサーバ	有効	ネットワーク上のコンピュータ間でファイル、プリンタ、シリアルポート、および各種通信への共有アクセスを可能にするネットワークプロトコル
VNC サーバ	無効	Virtual Network Computing (VNC) は、ネットワーク接続を介して別のコンピュータを制御することが可能なりモート制御ソフトウェア。キーストロークとマウスクリックは、ネットワークを介してコンピュータ間で転送される。
ViewPoint サーバ	有効	ターミナルで実行中の FactoryTalk View ME HMI アプリケーションへの、Web ブラウザを介したりモート・ユーザ・アクセスを可能にする Web サーバアプリケーション。ViewPoint ソフトウェアはロックウェル・オートメーションの製品。

Windows Explorer



デスクトップから、いくつかの方法で Windows Explorer にアクセスすることができます。

- My Device アイコンをダブルクリックする。
- Start → Programs → Windows Explorer の順に選択する。



以下のいくつかのフォルダに、PanelView Plus 7 Standard ターミナルに固有のアイテムが格納されています。

フォルダ	コンテンツ
Application data	FactoryTalk View ME アプリケーションファイルが格納される。 パス : \Application Data\Rockwell Software\RSViewME\Runtime
VFS (仮想ファイルシステム)	ファームウェアファイル、および現在のシステムイメージのバックアップ/復元ファイルが格納される。 パス : \VFS\Platform Firmware and \VFS\Backup & Restore

タスクバー

タスクバーから、Start メニュー、デバイスの IP 情報、現在の言語と時刻、入力パネル、および開いているプログラムにアクセスできます。



タスクバーをオン/オフするには、Start → Settings → Taskbar および Start Menu を順に選択してから、Auto Hide チェックボックスをクリアまたはチェックします。

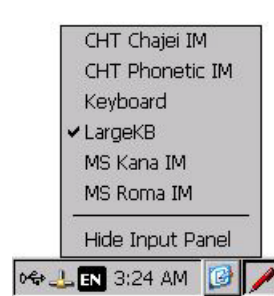
ヒント ディスプレイの最下部をタッチすると、Auto Hide モードのタスクバーが元の位置に表示されます。

ソフト入力パネル



オペレーティングシステムは、データ入力のためにさまざまな入力パネルを提供しています。これらの入力パネルにはタスクバーまたはコントロールパネルからアクセスできます。タスクバーから入力パネルアイコンをクリックし、使用するオンボードキーボードをリストから選択します。

- CHT Chajei IM (中国語)
- CHT Phonetic IM (中国語)
- Keyboard (小型キーボード)
- LargeKB (大型キーボード)
- MS Kana IM (日本語)
- MS Roma IM (日本語)
- Hide Input Panel (キーボードを閉じる)



ヒント 入力パネルアイコンは、選択された入力パネルによって異なります。

Windows コントロールパネル

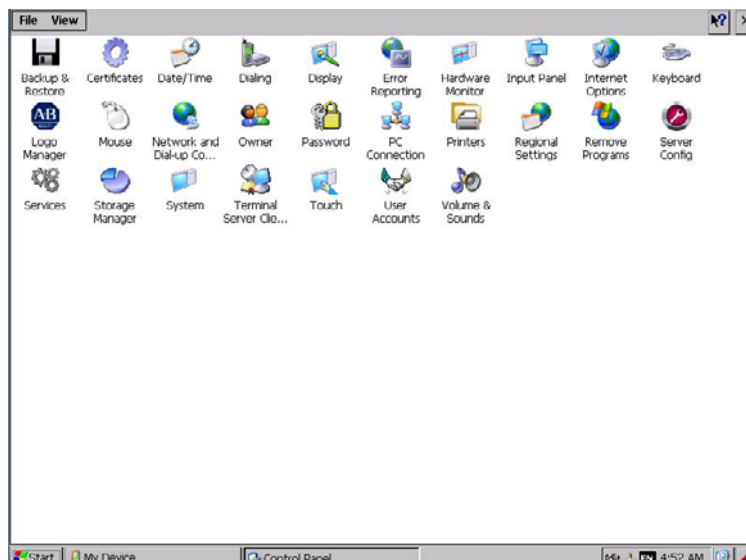
Windows コントロールパネルのアプリケーションにより、システムやターミナル設定を表示および構成することができます。例えば、ハードウェアパフォーマンスのモニタ、タッチスクリーンのキャリブレーション、またはスクリーンセーバの調整を行なうことができます。

ヒント 大部分のターミナル設定は、FactoryTalk View ME Station の構成モードでも利用できます。

コントロール・パネル・アプリケーションの言語は、オペレーティングシステムで設定された言語に基づいています。デフォルト値は English (英語) です。

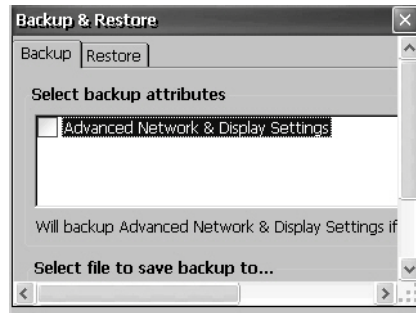
コントロールパネルにアクセスするには、複数の方法があります。

- Start → Settings → Control Panel の順に選択する。
- デスクトップで My Device を開いてから、Control Panel をダブルクリックする。この章では、ターミナルに固有のコントロール・パネル・アプリケーションについて説明します。



ヒント View メニューから、アイコンのサイズを変更したり、各アイコンの簡単な説明を表示することができます。

ヒント 多くのコントロール・パネル・アプリケーションでは、小さな画面で情報を表示するためにスクロールバーを備えています。ほとんどの例ではわかりやすくするために全画面表示の図を掲載しています。



バックアップ および復元



バックアップおよび復元アプリケーションにより、ターミナルの現在のシステムイメージをコピーして、そのイメージを同じターミナルまたは他のターミナルで復元することができます。この機能は、システムイメージを複数のターミナルに複製したい場合に役に立ちます。

ヒント システムイメージを USB ドライブや SD カードにバックアップすることができます。ロックウェル・オートメーションでは、1 GB 以上の使用可能な容量のある USB ドライブまたは SD カードの使用を推奨します。大規模なファイルシステムを使用するアプリケーションの場合は、2 GB 以上の使用可能な容量を使用してください。

一般的なバックアップには、以下のデータが含まれます。

- ファイルシステム
- ファームウェアイメージ
- Windows レジストリ
- オプションのユーザ構成データ

Backup & Restore ダイアログボックスの Advanced Network & Display Settings チェックボックスを選択することにより、ユーザ構成データをバックアップに含めることができます。

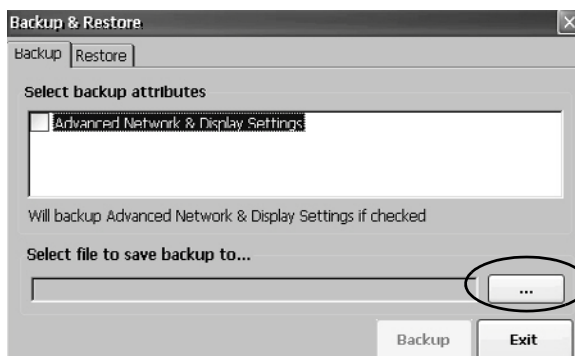
表 21 - ネットワークおよびディスプレイの高度な設定

設定	説明
Ethernet network	<ul style="list-style-type: none"> • DHCP 対応 IP アドレスまたは固定 IP アドレス • プライマリおよびセカンダリ DNS • プライマリおよびセカンダリ WNS • 速度および二重設定
USB network	USB IP アドレスとサブネットマスク、ゲートウェイ、DHCP 対応 IP アドレスまたは固定 IP アドレス
Network	デバイス名
Display	<ul style="list-style-type: none"> • ディスプレイの輝度 • スクリーンセーバのディマのタイムアウト

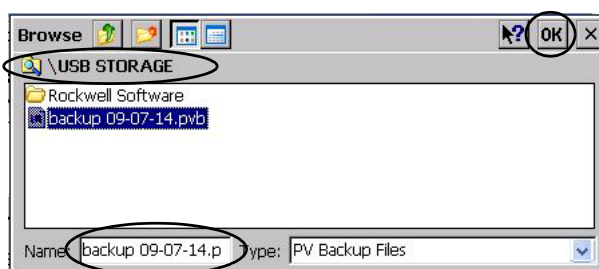
バックアップの実行

以下の手順に従って、バックアップを実行してください。

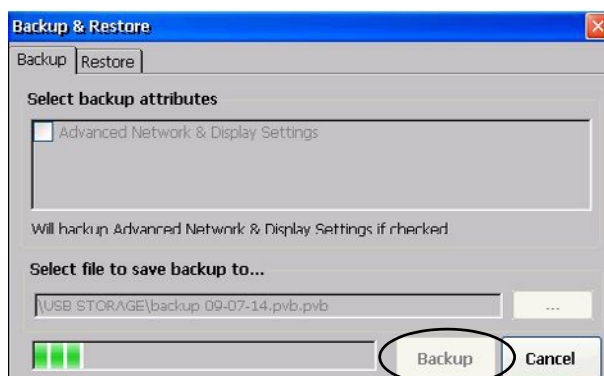
1. USB ドライブまたは SD カードをターミナルの適切なスロットに挿入します。
2. コントロールパネルで、Backup & Restore アイコンをダブルクリックします。



3. Backup タブのブラウズ ... ボタンをクリックします。

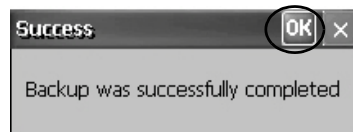


4. バックアップファイルの格納場所を選択します。
 - USB ドライブ使用時は USB Storage
 - SD カード使用時は Storage Card2
5. バックアップファイルの名前を入力します。
バックアップファイルは、.pvb ファイルタイプになります。
6. OK をクリックします。



7. Backup をクリックして、プロセスを開始します。

プログレスバーに、操作の進捗状況が表示されます。バックアップには数分かかることがあります。バックアップが完了すると、通知を受信します。



8. OK をクリックします。

そのファイルがすでに存在する場合は、現在のファイルを上書きするかどうかを確認するメッセージが表示されます。

9. Exit をクリックして Backup & Restore ダイアログボックスを閉じます。

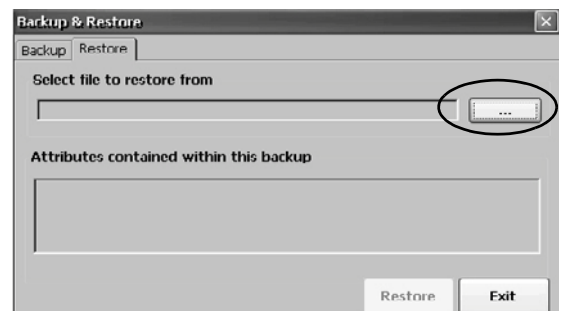
ヒント .pvb ファイルが正常に作成されたことを確認するには、My Device をダブルクリックしてバックアップの保存場所を選択します。 .pvb ファイルが正常に作成されない場合、使用可能な容量が大きな USB ドライブまたは SD カードを使用してください。

ロックウェル・オートメーションでは、1 GB 以上の使用可能な容量のある USB ドライブまたは SD カードの使用を推奨します。大規模なファイルシステムを使用するアプリケーションの場合は、2 GB 以上の使用可能な容量を使用してください。

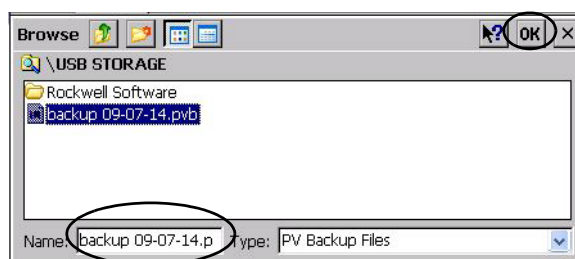
バックアップイメージの復元

以下の手順に従って、バックアップイメージをストレージデバイスに復元または複製してください。

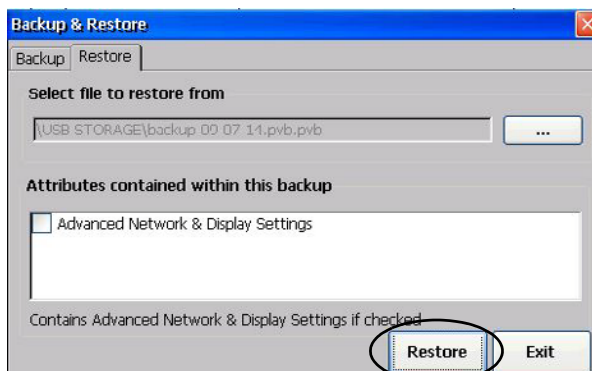
1. USB ドライブまたは SD カードをバックアップ先デバイスの適切なスロットに挿入します。
2. コントロールパネルで、Back & Restore アイコンをダブルクリックします。



3. Restore タブをクリックします。
4. 復元するバックアップファイルを選択するためにブラウズ (...) ボタンをクリックします。



5. バックアップファイルの場所を選択します。
 - USB ドライブ使用時は USB Storage
 - SD カード使用時は Storage Card2
6. 復元する .pvb バックアップファイルを選択します。
7. OK をクリックします。



8. Restore をクリックします。

バックアップを実行したときに Advanced Network and Display Settings オプションのチェックボックスが選択されている場合は、詳細なネットワークおよびディスプレイ設定が自動的に復元対象に含まれます。

9. Yes をクリックして復元プロセスを開始します。

ターミナルで復元プロセスが開始されます。この処理には数分間かかります。



重要

復元中に USB ドライブや SD カードを取り外したり、ターミナルの電源を切断しないでください。これを行なうと、ファームウェアが破損する恐れがあります。復元に失敗した場合は、メンテナンスメニューからターミナルをリセットする必要があります。詳細は、[137 ページの「メンテナンスモードでの操作」](#)を参照してください。

復元が正常に完了すると、ターミナルが再起動します。

ディスプレイプロパティ

デスクトップの背景の画像と外観、バックライトの輝度、およびスクリーンセーバ設定を制御するには、Display Properties を使用します。

デスクトップの背景

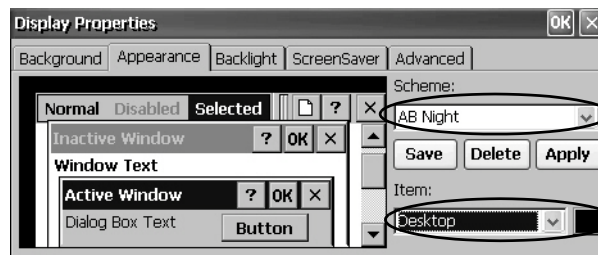
Display Properties の Background タブでは、デスクトップの背景ビットマップを制御します。デフォルトのビットマップは「abclocknight」です。



プルダウンメニューから別の画像を選択することも、システムを参照してビットマップ画像を選択することもできます。カスタム画像は \Windows フォルダ内にあります。

デスクトップの外観

Display Properties の Appearance タブでは、デスクトップおよび他のウィンドウ要素の表示スタイルおよび色を制御します。

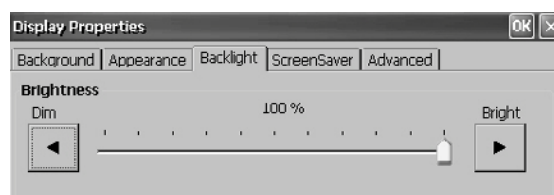


日中または夜間での表示のために2つのカスタム配色とカスタム画像が用意されています。配色を変更するときは、Background タブで画像も変更することを忘れないでください。

配色	デスクトップの色	背景ロゴ
AB Day	青色	abclockday
AB Night	黒色	abclocknight

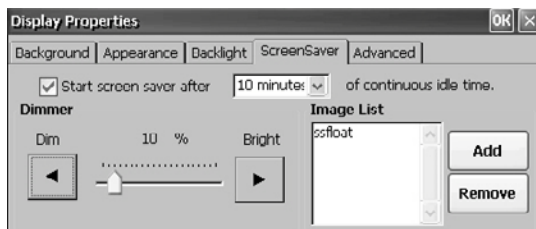
バックライトの輝度

Display Properties の Backlight タブでは、ディスプレイの輝度レベル（1～100%）を設定できます。1% では、ディスプレイはほとんど見えなくなります。



スクリーンセーバ

スクリーンセーバは、ディスプレイの寿命を延ばします。ターミナルがアイドル状態で連続した期間が過ぎると、スクリーンセーバはバックライトの輝度を下げ、移動画像を表示します。スクリーンセーバが非アクティブ化されると、ディスプレイの輝度は通常のレベルに戻ります。



Display Properties の Screen Saver タブでは以下の操作を実行できます。

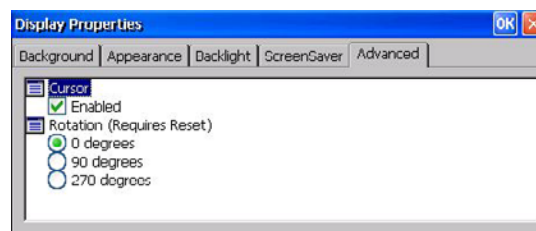
- スクリーンセーバのアイドルタイムアウトを変更します。デフォルトは 10 分です。

スクリーンセーバがアクティブ化されると、ディマーによってバックライトの輝度が制御されます。ディマーの輝度の設定範囲は 0 ~ 100% であり、デフォルトの輝度は 10% です。0% では、バックライトはほとんど見えなくなります。

- システムを参照して別のスクリーンセーバ用ビットマップを探します。デフォルトのスクリーンセーバは `SSFloat.bmp` です。スクリーンセーバのビットマップを変更するには、**Add** または **Remove** をクリックします。システムは `\Windows` フォルダに格納されているビットマップを認識します。
- **Start screen saver after** チェックボックスのチェックを解除してスクリーンセーバを無効にします。

カーソル

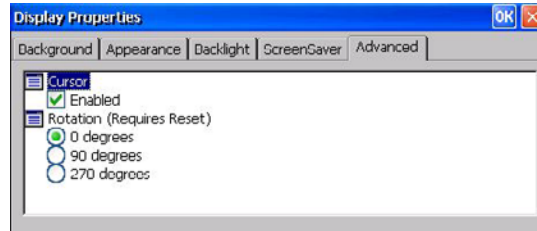
Display Properties の Advanced タブでは、ディスプレイ上に表示されるカーソルを有効または無効にすることができます。デフォルトでは、カーソルが表示されます。



画面の回転

重要 PanelView Plus 7 Standard ターミナルは、FactoryTalk View Machine Edition アプリケーションのポートレートモード（90° または 270°）ではサポートされていません。

Display Properties の Advanced タブにより、ターミナルの画面を回転することができます。デフォルトは 0° です。



画面の回転を変更した後に、タッチスクリーンのキャリブレーションを実行する必要があります。

1. USB マウスをターミナルに接続する。
2. ターミナルをリブートする。
3. マウスを使用して、タッチスクリーンのキャリブレーションを実行する。
4. キャリブレーションの詳細は、[60 ページの「タッチスクリーンのキャリブレーション」](#)を参照してください。

ハードウェアモニタ

Hardware Monitor（ハードウェアモニタ）は、ターミナルのステータスおよびトラブルシューティング情報を提供します。実行中のプロセス、システム・イベント・ログ、バッテリー電圧、現在の温度、CPU 使用率、メモリ使用率を表示することができます。

プロセス

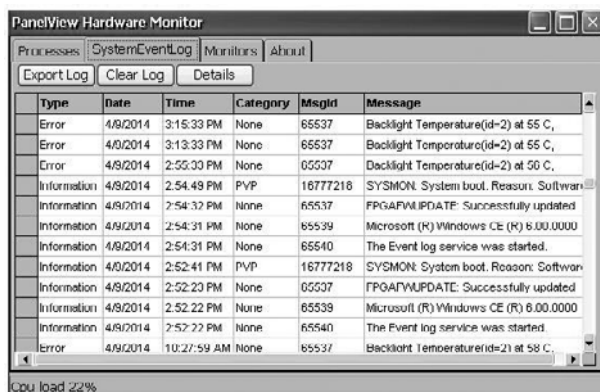
Hardware Monitor の Processes タブでは、ターミナルで実行中のすべてのプロセスと各プロセスのメモリ使用率が表示されます。

ProcessName	ProcessId	Thr	BaseAddr	HeapSize	TotalMem	Commit	Reserved
NK.exe	00000002	74	80225000	3238/04	U	U	U
uddevice.exe	01D80002	7	00010000	18560	2273280	1699840	573440
uddevice.exe	0085000A	1	00010000	2624	1818624	1634304	184320
uddevice.exe	07040000	1	00010000	4928	1818624	1634304	184320
uddevice.exe	03360006	1	00010000	1536	1818624	1630208	188416
wtsportm.exe	05500006	4	00010000	12160	2211840	1851392	360448
servicesd.exe	05F40006	45	00010000	3553040	9658368	5791744	3866624
uddevice.exe	07180002	1	00010000	2560	1953792	1646592	307200
explorer.exe	07490002	6	00010000	49280	2703360	2007040	696320
felect.exe	07B1000A	1	00010000	2048	1822720	1634304	188416
RSLinuxNG.exe	065F000E	19	00010000	1522336	5156864	3436544	1720320
RsvcHost.exe	07BD000E	13	00010000	108832	2793472	1908736	884736
control.exe	07CC000A	1	00010000	22880	1822720	1675264	147456
PVHardwareMonitor	0841054E	5	00010000	877560	6062656	6028704	50133632

Memory load 3/04652480/413/00096 [2%]

システム・イベント・ログ

Hardware Monitor の System Event Log には、ターミナルでログに記録された警告、エラー、およびイベントが表示されます。



Type	Date	Time	Category	MsgId	Message
Error	4/9/2014	3:15:33 PM	None	65537	Backlight Temperature(id=2) at 55 C,
Error	4/9/2014	3:13:33 PM	None	65537	Backlight Temperature(id=2) at 55 C,
Error	4/9/2014	2:55:30 PM	None	65537	Backlight Temperature(id=2) at 50 C,
Information	4/9/2014	2:54:49 PM	PVP	16777218	SYSMON: System boot. Reason: Software
Information	4/9/2014	2:54:32 PM	None	65537	FPGAFWUPDATE: Successfully updated.
Information	4/9/2014	2:54:31 PM	None	65539	Microsoft (R) Windows CE (R) 6.00.0000
Information	4/9/2014	2:54:31 PM	None	65540	The Event log service was started.
Information	4/9/2014	2:52:41 PM	PVP	16777218	SYSMON: System boot. Reason: Software
Information	4/9/2014	2:52:23 PM	None	65537	FPGAFWUPDATE: Successfully updated.
Information	4/9/2014	2:52:22 PM	None	65539	Microsoft (R) Windows CE (R) 6.00.0000
Information	4/9/2014	2:52:22 PM	None	65540	The Event log service was started.
Error	4/9/2014	10:27:59 AM	None	65537	Backlight Temperature(id=2) at 58 C,

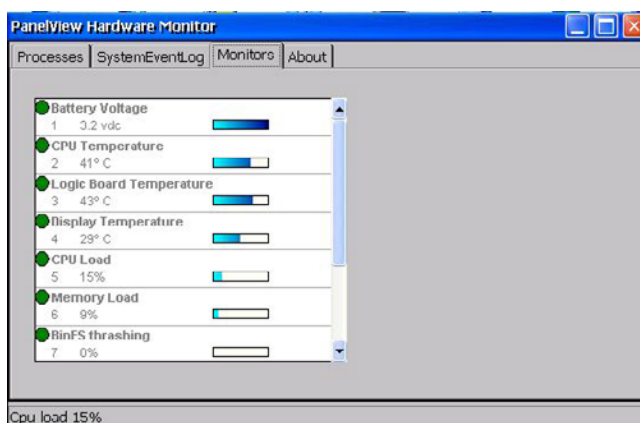
Cpu load 22%

このログは、各イベントの発生日時を示す日付とタイムスタンプとイベントについて説明するテキストを提供します。このログの最大サイズは1MB（約4,000個のレコード）です。ログが1MBを超えると、最も古い512KB分の情報が削除されます。ログファイルに以下の操作を実行することができます。

- Export Log を押して、ログファイルを CSV ファイル (*.csv) 形式で \Windows フォルダにエクスポートする。デフォルトのファイル名は、SystemLog.csv です。
- Clear Log を押して、ログからすべてのイベントを消去する。
- Details を押して、選択したイベントの詳細を表示する。

モニタ

Hardware Monitor の Monitors タブでは、ターミナルの継続的な温度、電圧、および負荷情報を提供します。



Battery Voltage	1	3.2 vdc
CPU Temperature	2	41° C
Logic Board Temperature	3	43° C
Display Temperature	4	23° C
CPU Load	5	15%
Memory Load	6	9%
BinFS thrashing	7	0%

Cpu load 15%

バッテリー電圧

Monitors タブでは、リアルタイムクロック用のバッテリーのステータスおよび電圧の読取り値がグラフで表示されます。バッテリー電圧は、起動時に読取ります。

表 22 - バッテリーの状態

状態	バッテリー
Depleted	2.0V 未満はバッテリーの故障またはバッテリー切れを示す。
Low	2.0 ~ 2.74V
Normal	2.75V 以上

バッテリーの電圧低下やバッテリーの劣化が検出された場合は、システム・イベント・ログにイベントが記録されます。

温度

Monitors タブでは、ロジックボードのステータスと現在温度の読取り値がグラフで表示されます。温度は 10 分ごとに更新されます。

表 23 - 温度条件

状態	ロジックボード
Low	-
Normal	25 ~ 94°C (77 ~ 201°F)
High	95°C (203°F) 以上

温度センサの故障が検出された場合は、システム・イベント・ログにイベントが記録されます。

重要	高温状態が検出されると、システムは自動再起動を試みます。再起動の試行は、システムが十分冷却されて通常動作を再開できるようになるまで無限に続きます。高温状態はシステム・イベント・ログに記録されます。
-----------	--

ロゴマネージャ



Logo Manager (ロゴマネージャ) を使用すると、起動時にスプラッシュ画面に表示されるロゴとデフォルトのスクリーンセーバの画像を変更できます。デフォルトのスプラッシュ画面の画像はアレン・ブラドリーのロゴ (ablogo.bmp) です。

ロゴは .bmp、.jpg、.gif、.png 画像のうちのいずれかです。90 x 90 ピクセル、16 ビットカラーの画像で最良の結果が得られます。

新しいロゴを適用する前に、以下の操作を行なえます。

- スプラッシュ画面上でロゴをプレビューする。
- スプラッシュ画面上の固定領域に合わせて画像のサイズを変更する。

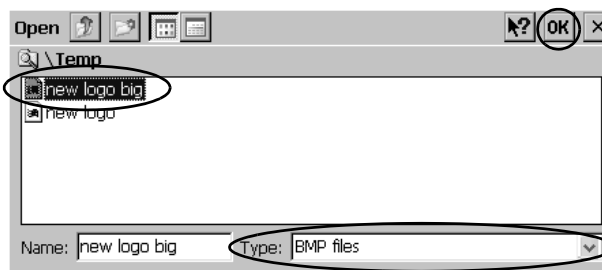
以下の手順に従って、新しいロゴをスプラッシュ画面およびスクリーンセーバに適用してください。

1. コントロールパネルで、Logo Manager をダブルクリックします。

Logo Manager が開き、現在のロゴが表示されます。

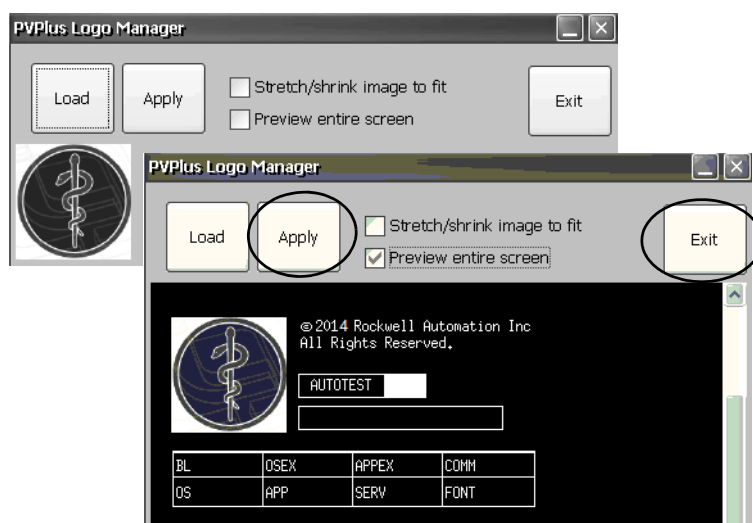


2. Load をクリックします。



3. ロードする新しい画像の場所を選択します。
 - ターミナル上のフォルダ
 - Storage Card2 - SD カード
 - USB Storage - USB ドライブ
4. ロードする画像ファイルを選択します。
5. ファイルタイプが正しいことを確認します。
6. OK をクリックします。

新しいロゴが Logo Manager ダイアログボックスに表示されます。



7. **Preview entire screen** チェックボックスをチェックして、スプラッシュ画面上にロゴを表示します。
 ロゴが一部欠けて表示されるか、小さすぎる場合は、**Stretch/shrink image to fit** チェックボックスをチェックして、領域内に収まるようにロゴのサイズを変更します。
8. プレビューしてみて問題がない場合は、**Apply** をクリックします。
 スプラッシュ画面が更新されたことがダイアログボックスに示されます。デフォルトのスクリーンセーバである `ssfloat.bmp` も新しい画像とともに更新されます。
9. **OK** をクリックし、**Exit** をクリックして **Logo Manager** を閉じます。

ユーザアカウント

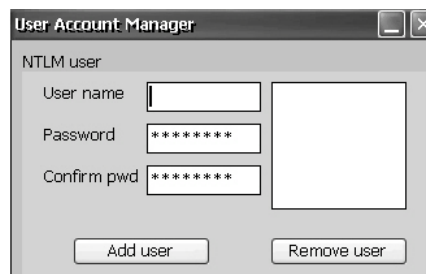
User Accounts (ユーザアカウント) を使用すると、FTP、Web、およびファイルサーバを使用する場合に、クライアントの接続を認証するための NT LAN Manager (NTLM) ユーザアカウントを設定できます。ユーザアカウントはユーザ名とパスワードから構成されます。

ヒント NTLMは、Windowsオペレーティングシステムでのユーザの認証、整合性、および秘密保持を提供するセキュリティプロトコルです。NTLM は、Windows 2000、2002、および 2003 サーバシステムをサポートするために現在も使用されています。

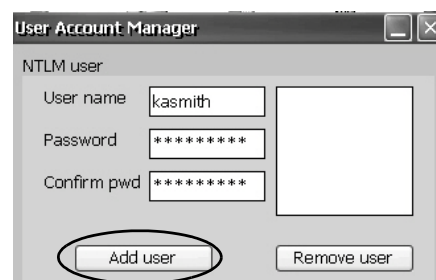
以下の手順に従って、ユーザアカウントを追加してください。



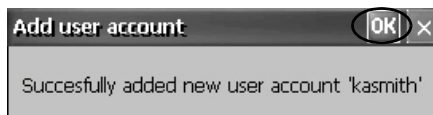
1. コントロールパネルで **User Accounts** をダブルクリックします。



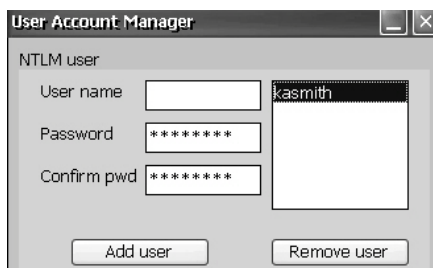
2. **User Name** フィールド内をクリックして名前を入力します。
3. **Password** フィールド内をクリックして、フィールドをクリアしてパスワードを入力します。
 パスワードを入力していくと、アスタリスク (*) が表示されます。
4. **Confirm pwd** フィールドにパスワードを再度入力します。



5. Add User をクリックします。



6. OK をクリックして、新しいユーザアカウントを承認します。
新しいユーザ名がリストに追加されます。

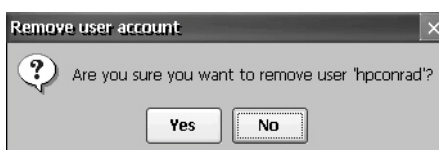


7. 手順 1 から 6 を繰り返して、その他のユーザアカウントを追加します。
8. 完了したら、X をクリックしてダイアログボックスを閉じます。

以下の手順に従って、ユーザアカウントを削除してください。



1. ユーザ名リストから名前を選択します。
2. Remove User をクリックします。



3. Yes をクリックして、選択したユーザアカウントの削除を確定します。
ユーザアカウントが永続的にユーザ・アカウント・リストから削除されます。
4. X をクリックして User Account Manager を閉じます。

ヒント ユーザアカウントが削除されると、FTP サーバ、Web サーバ、またはファイルサーバ構成の認証リストに入力されているユーザが削除されます。

サービス



Services

Services アプリケーションでは、PanelView Plus 7 Standard ターミナルがサポートするサーバを表示します。各サーバを有効（開始）または無効（停止）することができます。



各ボタンは以下のように色分けされています。

- 緑色は、サーバが現在実行中であり、システムの起動時に自動的に起動されることを示す。
- 赤色は、サーバが現在実行されていないことを示す。
- 灰色は、サーバがターミナル上で使用不可であることを示す。

サーバを有効または無効にするには、対応するボタンを押します。ボタンの色がそれに応じて変化します。

ネットワーク サーバ構成



Server
Config

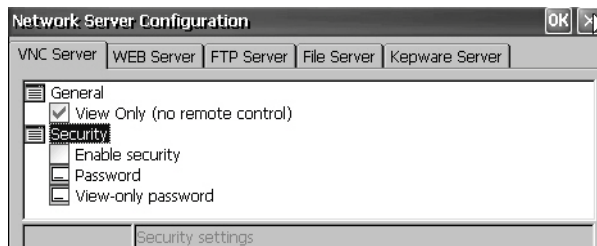
Network Server Configuration（ネットワークサーバ構成）アプリケーションでは、イーサネットネットワーク上の VNC、FTP、Web、Kepware、およびファイルサーバの動作設定を構成します。

VNC サーバ構成

このターミナルでは、2つのVNCクライアントビューアが提供されます。

- Vncviewer.exe は、ターミナルデスクトップの /Windows フォルダにあります。このビューアをパーソナルコンピュータに導入して、PanelView Plus 7 ターミナルの接続、表示、および制御を行なうことができます。詳細は、以下のセクションを参照してください。
 - [92 ページの「操作の表示のみを行なうためのパスワードを必要とする VNC コネクション」](#)
 - [94 ページの「操作の表示と制御を行なうために別々のパスワードを使用する VNC コネクション」](#)
- ターミナル上のもう 1 つのビューアにより、別の PanelView Plus 7 ターミナルへの VNC コネクションを確立することができます。このビューアにアクセスするには、Start → Programs → VNC Viewer の順に選択します。詳細は、以下のセクションを参照してください。
 - [95 ページの「ローカルターミナルとリモートターミナル間の VNC コネクションの確立」](#)
 - [97 ページの「リモートターミナルへの VNC コネクションの終了」](#)
 - [97 ページの「リモートターミナルへの新しい VNC コネクションの作成」](#)
 - [98 ページの「ローカルターミナルとリモートターミナル間のファイル転送」](#)

Network Server ConfigurationダイアログボックスのVNC Serverタブでは、VNC コネクションを介してターミナルを表示または制御するためにクライアントデバイスで使用される設定を構成します。



ヒント ダイアログボックスのタイトルバーのOKをクリックして、新しい設定を適用します。すぐにサービスを再起動するかどうかを確認するメッセージが表示されます。

表 24 - VNC サーバパラメータ

VNC パラメータ	説明	デフォルト
General		
View Only (no remote control)	VNC コネクションを介したターミナルディスプレイの表示をユーザに許可する場合は、このオプションのチェックボックスをチェックする。 View Onlyのチェックを解除すると、VNC コネクションを介したターミナルディスプレイの制御と表示の両方をユーザに許可する。 セキュリティが無効になっている場合は、ターミナルへの接続時にユーザは、パスワードの入力を求められない。	View Only が有効
Security		
Enable security	ターミナルへの VNC コネクションでパスワード保護を必要とする場合は、このオプションのチェックボックスをチェックする。つまり、ユーザは、ターミナルディスプレイを表示または制御する前に有効なパスワードを入力する必要がある。 セキュリティを有効にしている場合は、以下のいずれかのパラメータとしてパスワードを指定する必要がある。 <ul style="list-style-type: none"> • Password - 操作の制御と表示を行なう場合 • View-only password - 操作の表示のみを行なう場合 	無効 (チェック解除)
Password	ターミナルディスプレイの制御のための VNC コネクションを確立するときにユーザが入力する必要があるパスワードを指定する。チェックボックスをチェックしてから、ダイアログボックスの下部にあるフィールドにパスワードを入力する。このパスワードは最大7文字。 Password 保護は、以下の場合にターミナルディスプレイの制御が必要とされる。 <ul style="list-style-type: none"> • View Only チェックボックスを解除している (制御アクセスを許可している)。 • セキュリティが有効になっている。 	パスワードなし
View-only password	ターミナルディスプレイの表示のための VNC コネクションを確立するときにユーザが入力する必要があるパスワードを指定する。チェックボックスをチェックしてから、ダイアログボックスの下部にあるフィールドにパスワードを入力する。このパスワードは最大7文字。 ヒント : View Only パラメータのチェックボックスのチェックを解除している場合は、ターミナルへの制御アクセスと表示アクセスを持つことになる。制御アクセスが有効な状態においては、View-only password を指定することで、1人以上のユーザを表示のみアクセスに制限することができる。 View-only password 保護は、セキュリティが有効になっている場合にターミナルディスプレイの表示が必要とされる。 <ul style="list-style-type: none"> • View Only チェックボックスをチェックまたはチェック解除している。 • セキュリティが有効になっている。 	パスワードなし

操作の表示のみを行なうためのパスワードを必要とする VNC コネクション

デフォルトの VNC 構成では、ターミナルの表示のみアクセスが有効な状態で、パスワードは不要です。この構成では、VNC ビューアをターミナルからコンピュータへコピーすることが必要です。

ヒント ターミナルの \Windows フォルダにある vncviewer.exe をご使用のコンピュータにコピーして、TightVNC ソフトウェアをインストールしてください。

以下の手順に従って、ターミナルの操作を表示するためにパスワードを要求する VNC コネクションを構成してください。



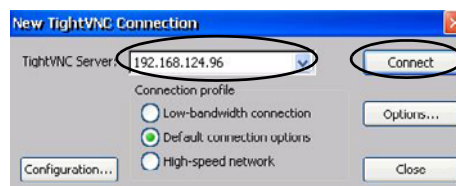
1. コントロールパネルから、Server Config をクリックします。



2. VNC Server タブで、以下のオプションのチェックボックスをチェックします。
 - View Only (no remote control)
 - Enable security
3. View-only password を選択し、表示されたフィールドに 7 文字のパスワードを入力します。
4. OK をクリックし、新しい設定を適用するようにメッセージが表示されたらサーバを再起動してください。

以下の手順に従って、ターミナルの操作を表示するために VNC コネクションを開始してください。

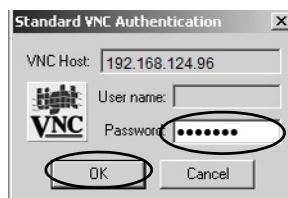
1. コンピュータから Start → Programs → TightVNC → TightVNC Viewer の順に選択します。



2. ご使用のターミナルの IP アドレスを入力し、Connect をクリックします。



ヒント システムトレイにあるネットワーク接続アイコンをクリックしてターミナルの IP アドレスを表示します。



3. ターミナルで定義された View-only password (表示のみのパスワード) を入力し、OK をクリックします。

PanelView VNC Server が開き、デスクトップ上のターミナルの現在のビューが表示されます。ユーザはターミナルの操作を表示できますが、制御することはできません。

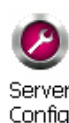
4. 完了したら、PanelView VNC Server を終了します。

操作の表示と制御を行なうために別々のパスワードを使用する VNC コネクション

操作の表示のみと制御を行なうために別々のパスワードを必要とするように VNC サーバを構成できます。この例では、ターミナルに接続されるコンピュータに導入されている VNC ビューアが使用されています。

ヒント ターミナルの \Windows フォルダにある vncviewer.exe をご使用のコンピュータにコピーして、TightVNC ソフトウェアをインストールしてください。

以下の手順に従って、操作の表示のみと制御を行なうためのパスワードを必要とするように VNC サーバを構成してください。



1. コントロールパネルから、Server Config をクリックします。



2. VNC Server タブで、以下の操作を行ないます。
 - View only (no remote control) ボックスのチェックを解除します。
 - Enable security ボックスをチェックする。
3. Password を選択して、制御権限用のパスワードを入力します。

パスワードは最大 7 文字です。

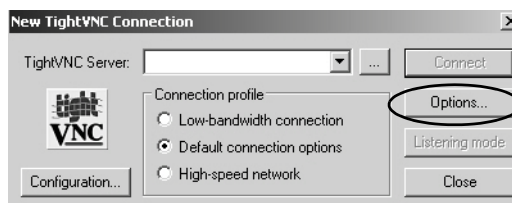


4. View-only Password を選択して、表示のみの権限用のパスワードを入力します。
5. OK をクリックし、新しい設定を適用するようにメッセージが表示されたらサービスを再起動してください。

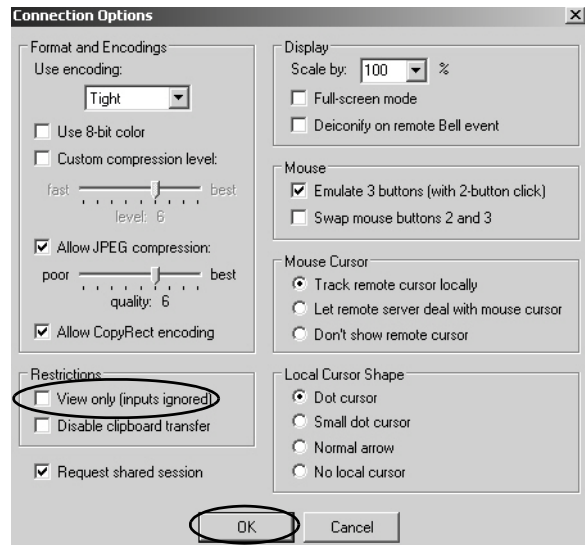
以下の手順に従って、ターミナルの制御を有効にするための VNC コネクションを起動してください。

ヒント 操作の表示のみを行なうためのパスワードを必要とする VNC コネクションをコンピュータ上で起動する場合は、[92 ページの「操作の表示のみを行なうためのパスワードを必要とする VNC コネクション」](#)を参照して手順 1~4 を実行してください。

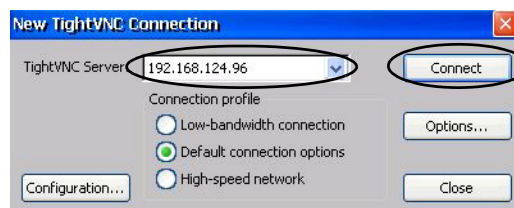
1. コンピュータから Start → Programs → TightVNC → TightVNC Viewer の順に選択します。



2. Options をクリックします。



3. View only (inputs ignored) ボックスのチェックを解除します（入力は無視される）。
4. OK をクリックします。

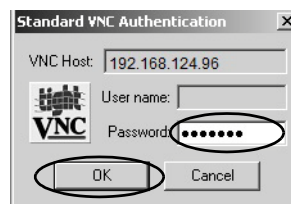


5. ご使用のターミナルの IP アドレスを入力し、Connect をクリックします。



ヒント システムトレイにあるネットワーク接続アイコンをクリックしてターミナルの IP アドレスを表示します。

Standard VNC Authentication ダイアログボックスが開きます。



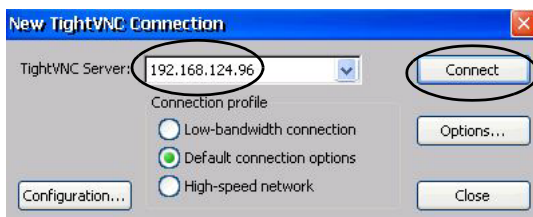
6. ターミナルで定義された制御用パスワードを入力し、OK をクリックします。
7. コンピュータで、いくつかの操作を実行して、ターミナルを制御できていることを確認します。
8. 完了したら、PanelView VNC Server を終了します。

ローカルターミナルとリモートターミナル間の VNC コネクションの確立

以下の手順に従って、ローカルターミナルからリモートターミナルへの VNC コネクションを確立してください。

1. ローカルターミナルの Windows デスクトップにアクセスします。

- ローカルターミナル（ビューア）のデスクトップで、Start → Programs → VNC Viewer の順に選択します。



- 接続するリモートターミナルの IP アドレスを入力し、Connect をクリックします。

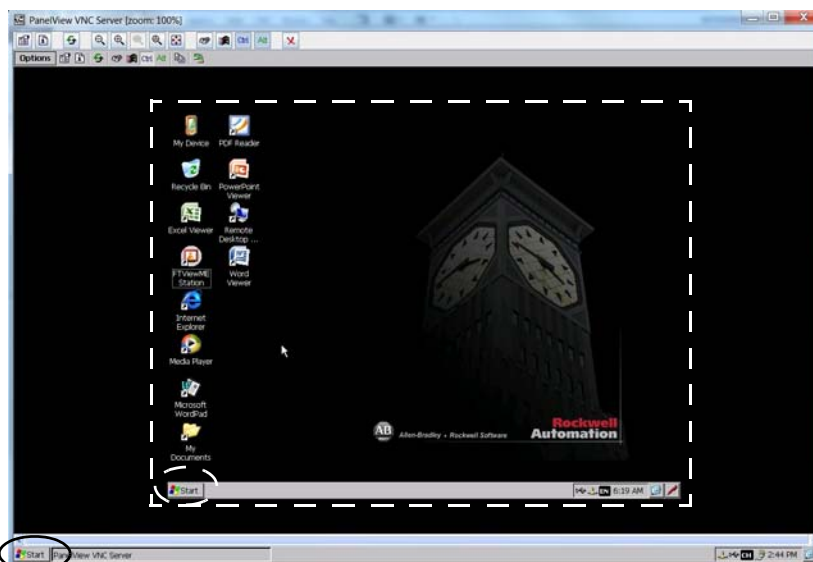
ヒント プルダウンメニューから IP アドレスを選択するか、USB キーボードまたはソフト入力パネル（[78 ページの「ソフト入力パネル」](#)を参照）を使用して IP アドレスを入力します。

コネクションの確立中にステータスメッセージが表示されます。ステータスが変わるにつれて、メッセージが繰り返し表示される場合があります。



コネクションが確立した後、リモートターミナルのデスクトップのロード中に「Please wait - initial screen loading」というメッセージも表示されます。

画面がロードされた後に、リモートターミナルのデスクトップがローカルターミナルに表示されます。これで、リモートターミナルのさまざまな機能にアクセスできるようになります。



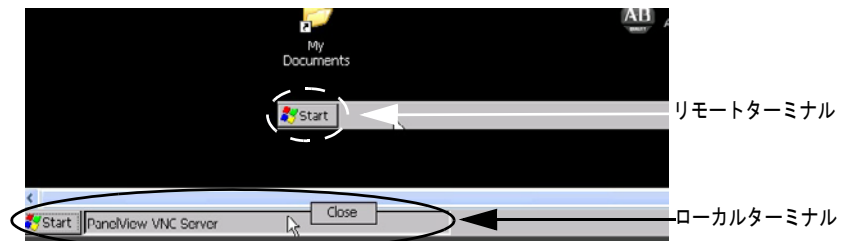
白色の点線はリモートターミナルを示すためのものです（この点線は実際にはローカルターミナルには表示されません）。Start ボタンが 2 つあることに注意してください。白色の丸で囲まれているものはリモートターミナルで、黒色の円で囲まれているのはローカルターミナルです。

リモートターミナルへの VNC コネクションの終了

以下の手順に従って、ローカルターミナルとリモートターミナル間の VNC コネクションを閉じてください。

1. ローカルターミナルからリモートターミナルへの VNC コネクションを確立します ([95 ページ](#)を参照)。
2. ローカルターミナル上で、PanelView VNC Server を右クリックします。

ヒント スクリーンを 1 秒以上タップしたままにすると、右クリック機能を実行できます。



3. Close をクリックします。

リモートターミナルへの VNC コネクションが閉じます。

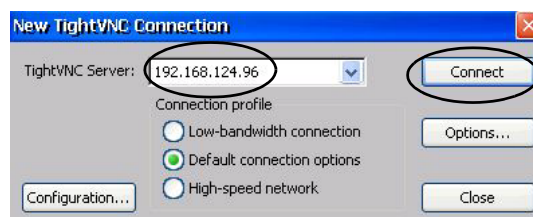
ヒント リモートターミナル（サーバ）とローカルターミナル（ビューア）の表示を切替えるには、PanelView VNC Server をクリックします。



リモートターミナルへの新しい VNC コネクションの作成

以下の手順に従って、別のターミナルへの新しい VNC コネクションを作成してください。

1. ローカルターミナルからリモートターミナルへの VNC コネクションを確立します ([95 ページ](#)を参照)。
2. メニューバーにある New connection アイコンをクリックします。



3. 接続する新しいリモートターミナルの IP アドレスを入力し、Connect をクリックします。

ヒント プルダウンメニューから IP アドレスを選択するか、ローカルターミナル（ビューア）の USB キーボードまたはソフト入力パネルを使用して IP アドレスを入力します ([78 ページの「ソフト入力パネル」](#)を参照してください)。

ローカルターミナルが新しいターミナルへの VNC コネクションを作成します。



ローカルターミナルとリモートターミナル間のファイル転送

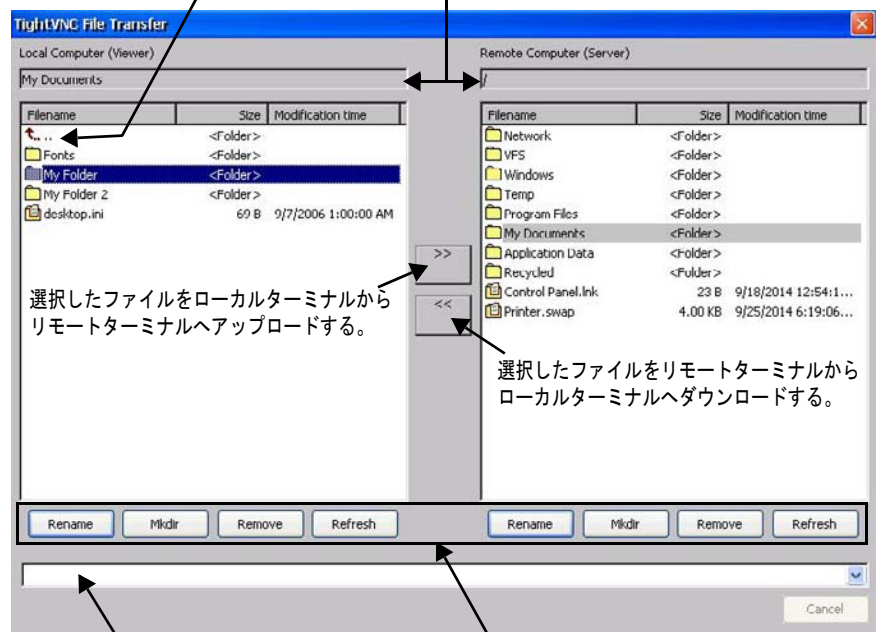
TightVNC File Transfer ダイアログボックスでは、以下の作業を行なうことができます。

- 接続されたターミナル間でファイルとフォルダを転送する。
- 選択したファイルまたはフォルダの名前を変更する。
- フォルダを作成する。
- 選択したファイルまたはフォルダを削除する。

以下の手順に従って、ローカルターミナルとリモートターミナル間でファイルを転送してください。

1. ローカルターミナルからリモートターミナルへのVNCコネクションを確立します ([95 ページ](#)を参照)。
2. メニューバーにある Transfer files アイコンをクリックします。
3. 転送するフォルダまたはファイルを選択します。
4. アップロード (>>) またはダウンロード (<<) ファイルアイコンをクリックします。
5. Yes をクリックします。
6. Refresh をクリックして、変更を表示します (必要に応じて)。

1つ上のディレクトリ階層に移動するには、現在のディレクトリ矢印をダブルクリックする。階層を表示する。



選択したファイルをローカルターミナルからリモートターミナルへアップロードする。

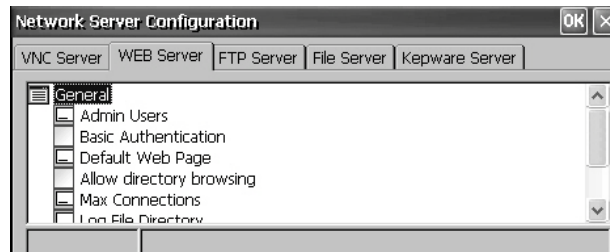
選択したファイルをリモートターミナルからローカルターミナルへダウンロードする。

現在の VNC セッションの動作とエラーを記録するメッセージフィールド。

Rename = ダイアログボックスを開き、選択したファイルまたはフォルダの名前を変更する。
 Mkdir = 新しいフォルダを作成する。
 Remove = 選択したファイルまたはフォルダを削除する。
 Refresh = 表示を更新する。

Web サーバの構成

Network Server Configuration アプリケーションの Web Server タブでは、HTTP Web アクティビティ用の設定を構成します。これらは、Microsoft Windows CE の標準パラメータです。



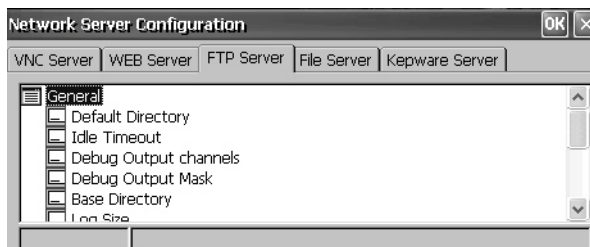
ヒント ダイアログボックスのタイトルバーの OK をクリックして、新しい設定を適用します。すぐにサービスを再起動するかどうかを確認するメッセージが表示されます。

表 25 - Web サーバパラメータ

パラメータ	説明	デフォルト
Admin Users	Web アクティビティの管理が許可されているユーザのリストを指定する。 チェックボックスがオンになっている場合は、ダイアログボックスの下部に表示されるフィールドに、ユーザ名のリストをセミコロン (;) で区切って入力できる。	ADMIN
Basic Authentication	Web サーバへのアクセスでユーザ名とパスワードを必要とする場合は、このオプションのチェックボックスをチェックする。	無効 (チェック解除)
Default Web Page	ユーザがアクセスを許可されるデフォルトの Web ページを指定する。	default.htm;index.htm
Allow Directory Browsing	Web サーバ上のディレクトリをユーザが参照することを許可する場合は、このオプションのチェックボックスをチェックする。	無効 (チェック解除)
Max Connections	着信 Web コネクションの最大数を指定する。	256
Log File Directory	ログファイルの格納先のパスを指定する。このファイルには Web アクティビティが記録される。	\\windows\www
Max Log Size	ログ・ファイル・ディレクトリに格納されるログファイルの最大サイズを指定する。 現在のログファイルが最大サイズに達すると、ログファイルが新規作成される。	32768 バイト
NTLM Authentication	Web サーバへのアクセスで有効なユーザ名とパスワードを必要とする場合は、このオプションのチェックボックスをチェックする。 NTLM Authentication が有効になっている場合は、Admin Users フィールドに有効なユーザ名を入力する必要がある。 NTLM ユーザアカウントは、コントロールパネルの User Account Manager で定義される。	有効 (チェック)

FTP サーバ構成

Network Server Configuration ダイアログボックスの FTP Server タブでは、ネットワーク上でのファイル交換用の設定を定義します。これらは、Microsoft Windows CE の標準パラメータです。



デフォルトの FTP 構成では、すべてのユーザが、匿名でログインしてターミナルへの FTP コネクションを確立すると、FTP デフォルトディレクトリ (\Temp) からファイルをダウンロードすることができます。

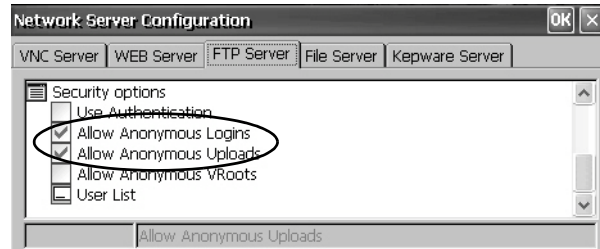
ヒント ダイアログボックスのタイトルバーの OK をクリックして、新しい設定を適用します。すぐにサービスを再起動するかどうかを確認するメッセージが表示されます。

表 26 - FTP サーバパラメータ

FTP パラメータ	説明	デフォルト
General		
Default Directory	ファイルを転送するためにターミナル上の格納場所を指定する。 ユーザが最初に FTP サーバに接続するときにアクセスするディレクトリ	\Temp\
Idle Timeout	データの転送中に非アクティブな状態の制御コネクションを閉じるまでのアイドル期間を指定する。FTP セッションでは、ファイルの転送中に 1 つの制御コネクションと 1 つのデータコネクションが必要とされる。 タイムアウトを設定しないと、対応するクライアントが制御コネクションを閉じずにクラッシュした場合に FTP サーバプロセスがいつまでも待ち状態のまま放置される可能性がある。	300 秒 (5 分)
Debug Output Channels	デバッグ出力チャネルの数を指定する。	2
Debug Output Mask	デバッグで使用される出力マスクのポート番号を指定する。	23
Base Directory	FTP ログファイルと他のサポートファイルの格納先のパスを指定する。	\Windows
Log Size	FTP アクティビティを記録するファイルの最大サイズを指定する。ログファイルはベースディレクトリに格納される。 現在のログファイルが最大サイズに達すると、ログファイルが新規作成される。	4096 バイト
Security パラメータ		
Use Authentication	FTP サーバへのアクセスで有効な NTLM ユーザ名とパスワードを必要とする場合は、このオプションのチェックボックスをチェックする。 認証が有効になっている場合は、User List フィールドに 1 つ以上の有効なユーザ名を入力する必要がある。 NTLM ユーザアカウントは、コントロールパネルの User Account Manager で定義される。	有効 (チェック)
Allow Anonymous Logins	すべてのユーザに、FTP サーバへのコネクションを許可する場合は、このオプションのチェックボックスをチェックする。匿名ログインでは、ユーザ名とパスワードは必要とされない。	有効 (チェック)
Allow Anonymous Uploads	匿名でログインしているユーザがファイルを FTP サーバ (またはデフォルトディレクトリ) にアップロードする (書込む) ことを許可する場合は、このオプションのチェックボックスをチェックする。 オフの場合、匿名でログインしているユーザは、サーバからファイルをダウンロード (コピー) できる。	無効 (チェック解除)
Allow Anonymous Uploads	匿名でログインしているユーザが仮想ルートにアクセスすることを許可する場合は、このオプションのチェックボックスをチェックする。	無効 (チェック解除)
User List	FTP サーバにアクセスしてデフォルトディレクトリとの間でファイルを交換することを許可される NTLM ユーザを指定する。 チェックボックスがオンになっている場合は、ダイアログボックスの下部に表示されるフィールドに、NTLM ユーザ名のリストをセミコロン (;) で区切って入力できる。ユーザ名とパスワードは、コントロールパネルの User Account Manager で定義される。	None

FTP 匿名ログインとアップロード

デフォルトの FTP セキュリティオプションにより、ターミナルに匿名でログインし、自分のコンピュータとターミナルのデフォルトの FTP フォルダの間で相互にファイルをコピーすることができます。



ヒント Allow Anonymous Uploads ボックスのチェックを解除している場合、ターミナル上のデフォルト FTP フォルダからファイルをコピーすることはできても、そのフォルダへファイルをコピーすることはできません。

以下の手順に従って、匿名のログインを使用して FTP コネクションを確立し、FTP フォルダとの間で相互にファイルを転送してください。

1. コンピュータ上で、Web ブラウザまたは任意のフォルダを開きます。
2. システムトレイにある Network Connection アイコンをクリックしてターミナルの IP アドレスを確認します。
3. ターミナルの IP アドレスをアドレスフィールドに入力します。



例 IP アドレスには次の構文を使用します。
ftp://ipaddress_of_the_terminal
例えば、ftp://192.168.124.96 です。

ターミナルのデフォルトの FTP ディレクトリである \Temp フォルダに対してコネクションが確立します。ターミナルには2つのファイルが表示されます。



Web ブラウザから FTP コネクションを起動した場合は、表示は以下のようになります。

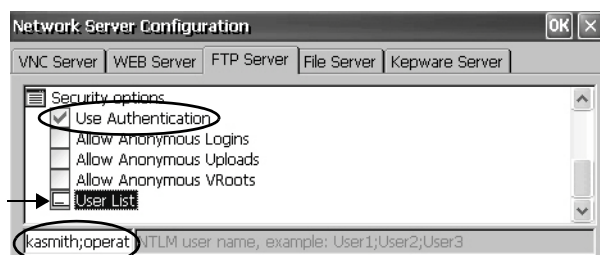


フォルダビューを表示するには、Page プルダウンメニューから Windows Explorer で Open FTP site を選択します。

4. コンピュータとターミナルの FTP フォルダ間でファイル転送を行ないます。
 - ファイルを FTP フォルダからコンピュータへドラッグまたはコピーする。
 - ファイルをコンピュータから FTP フォルダへドラッグまたはコピーする。

ユーザ認証を必要とする FTP コネクション

FTP コネクションを確立する前にユーザ名とパスワードを要求される場合があります。FTP Server タブで、Use Authentication をチェックします。User List を選択し、タブの最下部に表示されたフィールドに有効なユーザ名を入力します。



ヒント ユーザ名とパスワードは、コントロールパネルの User Account アプリケーションで設定される。詳細は、[89 ページの「ユーザアカウント」](#)を参照してください。

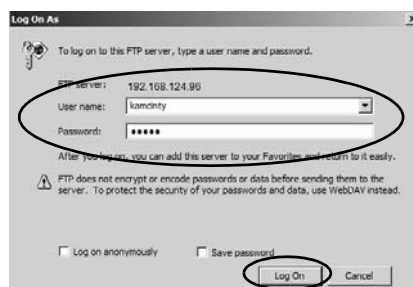
以下の手順に従って、最初に有効なユーザ名とパスワードを入力することで、ターミナルへの FTP コネクションを確立してください。



1. コンピュータ上で、任意のフォルダまたはブラウザを開きます。
2. システムトレイにある Network Connection アイコンをクリックしてターミナルの IP アドレスを確認します。
3. ターミナルの IP アドレスを Windows Explorer のアドレスフィールドに入力します。

例 IP アドレスには次の構文を使用します。
`ftp://ipaddress_of_the_terminal`
 例えば、`ftp://192.168.124.96` です。

4. FTP Folder Error ダイアログボックスが表示されたら OK をクリックします。
5. File メニューから Login As を選択します。



ヒント ユーザ名は、FTP 構成の User List に含まれている必要があり、User Accounts アプリケーションで有効なアカウントとして事前に設定済みでなければなりません。

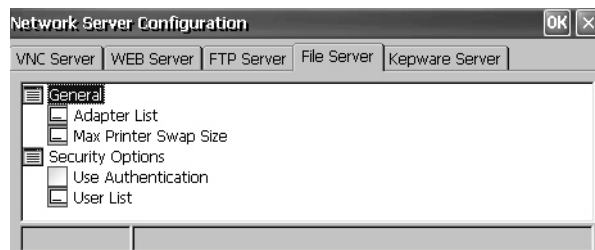
6. 有効なユーザ名とパスワードを入力し、Log Onをクリックします。

ターミナル上のデフォルト FTP ディレクトリが開きます。このフォルダとの間でファイル転送を行なうことができます。



ファイルサーバ

Network Server Configuration の File Server タブでは、ネットワーク上のコンピュータ間でファイル、プリンタ、シリアルポート、および各種通信への共有アクセスを可能にするための設定を行ないます。これらは、Microsoft Windows CE の標準パラメータです。



ヒント ダイアログボックスのタイトルバーの OK をクリックして、新しい設定を適用します。すぐにサービスを再起動するかどうかを確認するメッセージが表示されます。

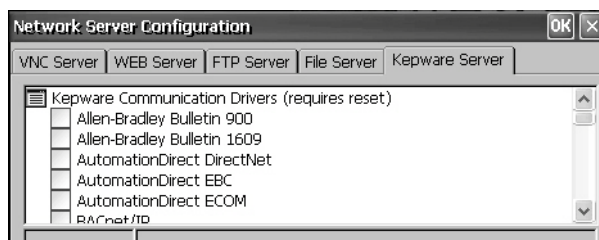
表 27 - ファイルサーバ構成

パラメータ	説明	デフォルト
General		
Adapter List	有効なアダプタのリストを示す。	* (すべてのアダプタ)
Max Printer Swap Size	プリンタのスワップファイルの最大サイズを指定する。	4096 バイト
Security Options		
Use Authentication	ファイルサーバへのアクセスで有効な NTLM ユーザ名とパスワードを必要とする場合は、このオプションのチェックボックスをチェックする。 認証が有効になっている場合は、User List フィールドに1つ以上の有効なユーザ名を入力する必要がある。 NTLM ユーザアカウントは、コントロールパネルの User Account Manager で定義される。	無効 (チェック解除)
User List	ファイルサーバへのアクセスを許可されている有効な NTLM ユーザのリストを指定する。 チェックボックスがオンになっている場合は、ダイアログボックスの下部に表示されるフィールドに、NTLM ユーザ名のリストをセミコロン (;) で区切って入力できる。ユーザ名とパスワードは、コントロールパネルの User Account Manager で定義される。	None

KEP サーバ構成

Network Server Configuration の Kepware Server タブでは、接続されたデバイス用の Kepware 通信ドライバを選択できます。

ヒント KepWare ドライバの全リストについては、<http://www.rockwellautomation.com/knowledgebase> にアクセスし、ナレッジベースで「KepWare Drivers for PanelView Plus」というキーワードを入力して検索してください。



重要 タイトルバーの OK をクリックして、新しい設定を適用します。すぐにサービスを再起動するかどうかを確認するメッセージが表示されます。ユーザはさらに、ターミナルをリセットする必要もあります。

システム情報

System Information (システム情報) アプリケーションは、ご使用のターミナルに関するシステム全体のプロパティを表示および設定できるタブを備えています。

全般情報

System Information の General タブには、Windows CE オペレーティングシステムの現在のバージョン、プロセッサタイプ、動作周波数、使用可能メモリが表示されます。



スタートアップオプション

System Information の Startup Options タブにより、以下のスタートアップオプションを設定できます。

- バッテリーの警告の表示 / 非表示
- ターミナルのオープンまたはクローズドとしての起動
- セーフモードの無効 / 有効
- システム・ウォッチドッグ・エラーの表示 / 非表示



バッテリー警告



バッテリーが電力低下しているか、検出されないか、劣化している場合は、ターミナルが起動するたびに警告が表示されます。

- ヒント**
- 日付と時刻の正確性がそれほど重要でない場合は、バッテリーなしでもターミナルを稼働させることができます。
 - バッテリーを交換するときは、デスクトップのコントロールパネルまたは FactoryTalk View ME Station のターミナル設定からシステムの日付と時刻が正しいことを確認できます。

バッテリーを処理するために 3 つのオプションが用意されています。

バッテリー警告のスタートアップオプション	説明
Always show at startup (continue with startup)	起動時に、FactoryTalk View ME Station ソフトウェアがバックグラウンドで実行されている状態でバッテリーの警告を表示する。これがデフォルト値です。
Always show at startup (halt startup)	起動時にバッテリーの警告を表示するが、起動またはブートプロセスは、OK を押すまで停止する。
Never show at startup	起動時にバッテリーの警告を非表示にする。

スタートアップオプション

Shell オプションを使用すると、起動時にオープンデスクトップまたはクローズドデスクトップを起動したり、ボタンコントロールの外観を設定したりできます。



シェル起動オプション	説明
タイプ	<p>起動時にターミナルをオープンシステムまたはクローズドシステムとして起動する。</p> <ul style="list-style-type: none"> • (オープンシステム)- 起動時に Windows CE デスクトップを起動する。 • (クローズドシステム) (デフォルト) - 起動時に FactoryTalk View ME Station の構成モードを開始する。 <p>また、Terminal Settings → Desktop Access Setup の順に押して、FactoryTalk View ME Station の構成モード内でデスクトップへのアクセスを許可または制限することもできます。44 ページの「デスクトップアクセス」を参照してください。</p>
User Interface Button Controls	<p>起動時のコントロールボタンの外観を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Windows XP Style (デフォルト) • Windows 95 Style

ブートオプション

Boot オプションは、起動時にセーフモードに入ることを可能にします。



セーフ・モード・オプション	説明
Do not detect Safe mode request at startup	<p>起動時にセーフモードの検出を無効にする。これがデフォルト値です。</p>
Detect safe mode request at startup	<p>起動中にターミナルディスプレイの左下隅に小さな白いボックスを表示する。白いボックスを押してしばらく保持すると、セーフモードに入る。これにより、ロードされた FactoryTalk View ME アプリケーションを介さずに直接、構成モードに入ることができる。白いボックスを押さなければ、システムは通常モードでブートアップします。</p> <p>セーフモードに入るもう 1 つの方法は、メンテナンスモードにアクセスすることです。137 ページの「メンテナンスモードでの操作」を参照してください。</p>

ウォッチドッグエラー

起動時にウォッチドッグエラーを表示または非表示にすることができません。



ウォッチドッグ・エラー・オプション	説明
Always show watchdog errors at startup	起動時に重大なウォッチドッグエラー（エラー 02）を表示し、通常のブートプロセスを停止する。これがデフォルト値です。 システムでは、ウォッチドッグエラーが表示されたメンテナンスウィンドウが起動される。ユーザはこのウィンドウからブート処理を続行できる。詳細は、 137 ページの「メンテナンスモードでの操作」 を参照してください。エラーはシステム・イベント・ログに記録される。
Never show watchdog errors at startup	起動時にエラーを非表示にし、エラーをシステム・イベント・ログに追加する。

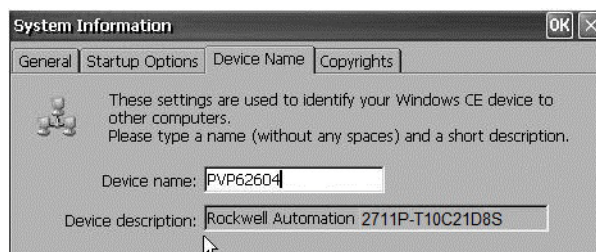
高度な診断

Advanced Diagnostics は、システムのエラーを診断して解決するための技術サポートで使用されるもので、通常のプロダクション環境で使用するものではありません。



デバイス名

System Information の Device Name タブでは、デバイス名とデバイスの説明を指定することで、ネットワーク上の他のデバイスに対してユーザのターミナルを識別します。



ヒント デバイス名は固有のものでなければなりません。重複する名前を指定すると、競合状態になり、ネットワーク問題が発生します。

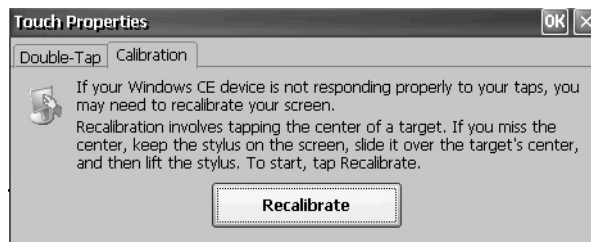
タッチプロパティ



Touch Properties は、タッチスクリーンを備えた機器でのみアクセスできます。このプロパティでは、タッチスクリーンのキャリブレーションとタッチスクリーンのタップ感度を設定できます。

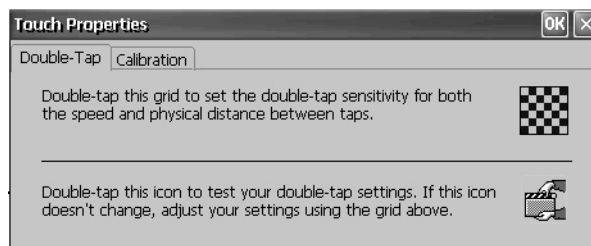
キャリブレーション

Calibration タブでは、タップしても機器が適正に応答しない場合にタッチスクリーンを再調整できます。ダイアログボックスの手順に従って、再調整を行なってください。



ダブルタップ

Double-Tap タブを使用すると、タッチスクリーンのダブルタップの感度を設定およびテストできます。



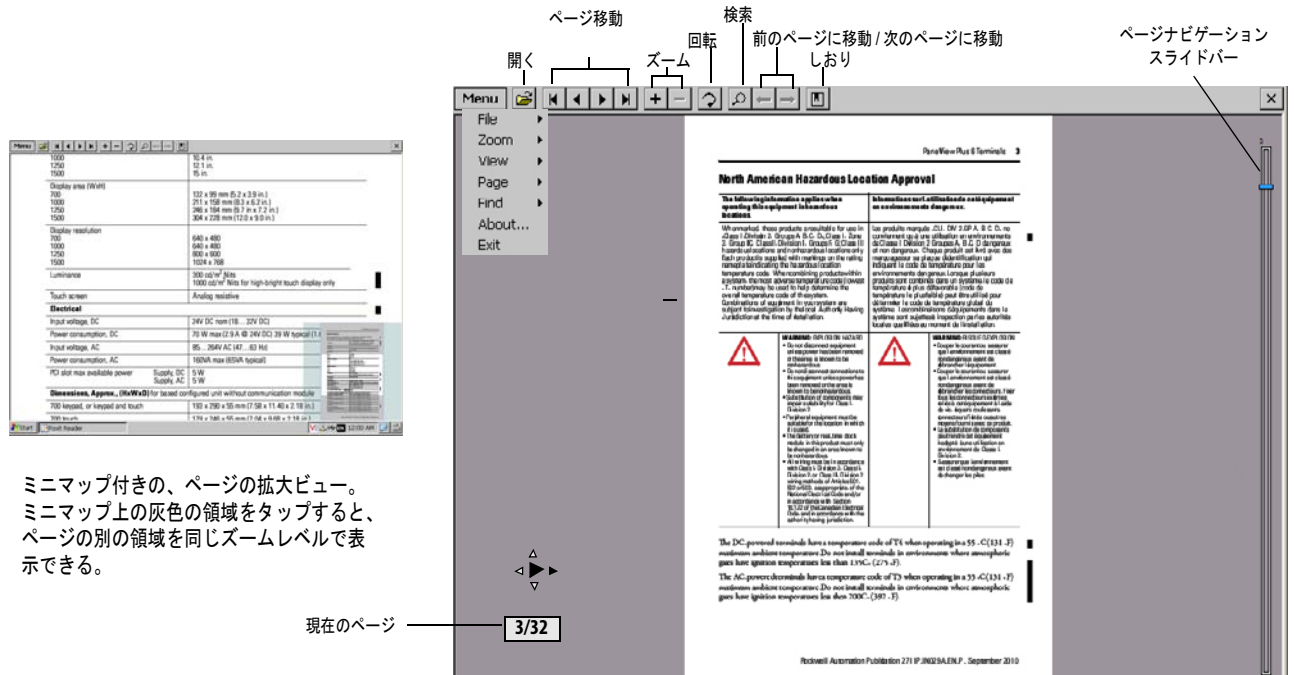
PDF リーダ



PDF リーダでは、一般的な表示および検索機能を利用することができます。PDF リーダは、Windows デスクトップまたはコマンドプロンプトから実行できます。

PDF ドキュメントを表示するときは、メニューまたはツールバーから機能を開始できます。オリジナルの PDF で作成された「しおり」がしおりに表示されます。

図 7 - PDF リーダのワークスペース



ミニマップ付きの、ページの拡大ビュー。ミニマップ上の灰色の領域をタップすると、ページの別の領域を同じズームレベルで表示できる。

現在のページ 3/32

タッチ・スクリーン・ターミナルではタップまたはドラッグによって一部の表示機能を開始できます。

表 28 - タッチスクリーンでの操作

機能	操作	インジケータ
ズームインまたはズームアウト	画面を1回タップするとズームイン（拡大）します。 画面をもう1回タップするとズームアウト（縮小）します。 Menu → View → Minimapの順に選択すると、ページの縮小ビューがワークスペースの右下に表示される。灰色の領域をタップしてビューを変更できる。	
ページの移動	<ul style="list-style-type: none"> 次のページまたは前のページを表示するには、スタイラスまたは指を右方向 / 左方向にドラッグする。 インジケータによって、ドラッグしている方向が表示される。 ボックスに、現在のページ / 総ページ数が表示される。 画面を上方向/下方向にドラッグして、右側にあるページ移動バーをアクティブにする。 ページ移動を行なうには、スライダーを上方向または下方向に動かす。 	 3/32 図7のページ移動バーを参照。
回転	ページを回転させるには、時計回りまたは反時計回りの回転方向にドラッグする。	

コマンド・プロンプト・パラメータ

PDF リーダを Windows コマンドプロンプトから実行するには、Start → Programs → Command Prompt の順に選択して、[表 29](#) に示されたコマンドパラメータを実行します。

コマンドプロンプトの構文

Foxitreader "ファイルパス/ファイル名 .pdf" パラメータ
parameter_value

- ファイルパスとファイル名を二重引用符で囲んで入力し、スラッシュを使用して、ファイル・パス・ディレクトリとファイル名を区切ります。
- パラメータとファイル、およびパラメータとオプションのパラメータ値を区切るには、スペースを使用します。

コマンドプロンプトの例

Foxitreader "windows/desktop/example.pdf" -p 4

このコマンドプロンプトは、Foxit Reader で example.pdf のページ 4 を開きます。

表 29 - コマンド・プロンプト・パラメータ

パラメータ	パラメータの機能	例	説明
-p	ページに移動	Foxitreader "ファイルパス/ファイル名 .pdf" -p 2	PDF ファイルのページ 2 を開く。
-zw	画面幅に合わせる	Foxitreader "ファイルパス/ファイル名 .pdf" -zw	PDF ファイルを開き、ページを画面幅に合わせて表示する。
-zp	画面にページ全体を表示する	Foxitreader "ファイル名 .pdf" -zp	PDF ファイルを開き、ページ全体を表示する。
-z	拡大/縮小	Foxitreader "ファイル名 .pdf" -z 150	PDF ファイルを開き、150% に拡大する。
複数のパラメータ	パラメータとパラメータ値の間にスペースを入力する。	Foxitreader "ファイルパス/ファイル名 .pdf" -p 2 -zw	PDF ファイルのページ 2 を開き、ページを画面幅に合わせて表示する。
-b	ブックマークに移動	Foxitreader "ファイルパス/ファイル名 .pdf" -b "ブックマーク 1"	Bookmark1 内の指定された場所に移動して PDF ファイルを開く。
-d	指定されたジャンプ先へ移動	Foxitreader "ファイルパス/ファイル名 .pdf" -d "ジャンプ先 1"	Destination1 内の指定された場所に移動して PDF ファイルを開く。
-g	メニューの File → Open コマンド および Open フォルダボタンを無効にする。	Foxitreader "ファイルパス/ファイル名 .pdf" -g	PDF ファイルを開き、メニューの File → Open コマンドと Open ボタンを淡色表示にする。

コンポーネントの取付けおよび交換

項目	参照ページ
USB ポートへの接続	112
USB プリンタのインストール	113
SD カードの挿入	115
バッテリーの交換	117
保護オーバーレイの取付け	119



注意：静電（ESD）防止対策

この機器は、静電気の影響を受けやすいため、静電気によって内部が損傷し、通常の動作に影響が出る可能性があります。

この機器を取り扱うときは以下のガイドラインに従ってください。

- 接地した物体に触れて、体内の静電気を放電してください。
- 適切に接地されたリストバンドを着用してください。
- コンポーネントのボード上のコネクタまたはピンには触れないでください。
- 機器内部の回路部品には触れないでください。
- 静電気対策が取られているワークステーションを使用してください（入手可能な場合）。
- 機器を使用しない間は、適切な静電気対策が取られている梱包材に包んで保管してください。



注意：感電の危険

コンポーネントの取付けまたは交換の前に、すべての電源を切断してください。電源を切断しないと、感電またはターミナルの損傷が発生する恐れがあります。



この機器が使用済みになった際は、分別されない一般のごみとは別に回収する必要があります。

ヒント

サポートされている機器の完全なリストについては、<http://www.rockwellautomation.com/knowledgebase>にアクセスし、ナレッジベースで「PanelView Plus Hardware Compatibility List」というキーワードを入力して検索してください。

USB ポートへの接続

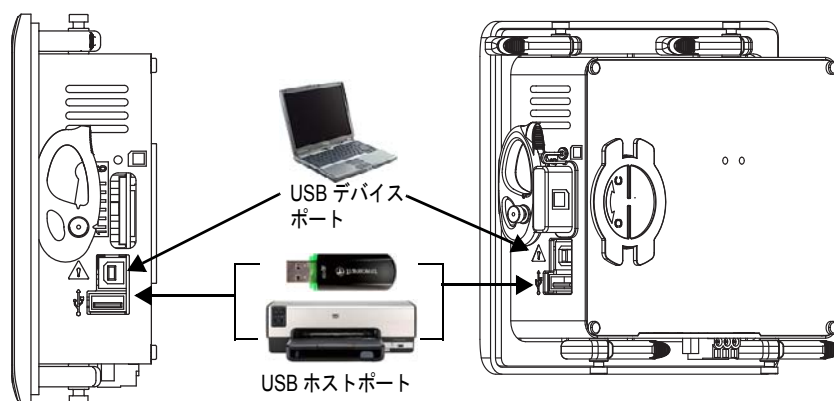
各ターミナルは、USB 2.0 (タイプ A) ホストポート x1 と USB 2.0 (タイプ B) デバイスポート x1 を備えています。

- USB ホストポートは、取り外し可能な USB ドライブおよび USB プリンタをサポートしています。

重要 危険な領域での USB ホストポートおよび USB 周辺機器の使用については、[23 ページの「USB 周辺機器に必要な回路ポートパラメータ」](#)を参照してください。

- USB デバイスポートは、ホストコンピュータへの接続をサポートしています。

重要 USB ホストおよびデバイスポートは、一時的に使用することを目的としています。USB ホストおよびデバイスポートを実行時の操作に使用しないでください。



USB ホストポートには、識別のためにアイコンが表示されています。USB ホストポートは、DC5V で 0.5A をサポートします。接続する USB 機器は、この電源負荷を超えてはなりません。

表 30 - USB コネクタのピン配列

USB ポート	アイコン	USB コネクタ	ピン	信号	説明
ホスト			1	VCC	+5V
			2	D-	データ -
デバイス			3	D+	データ +
			4	GND	グラウンド



警告 : USB ポートから給電されない USB 機器は、ターミナルと同じエンクロージャ内に配置する必要があります。USB 機器はターミナルと同じ接地システムに接続し、ガルバニ絶縁を提供する USB ハブと使用する必要があります。

USB 2.0 と互換性のあるターミナルには外部電源 USB ハブだけを接続します。USB ハブにデバイスを取付ける前に、電源アダプタが接続され電源が投入されていることを確認してください。

USB ケーブル

エラーのない伝送を実現するため、Hi-speed USB 2.0 認定ケーブルを使用してください。

USB プリンタのインストール

ターミナルは、キャノン社、エプソン社、ヒューレット・パッカード社、およびブラザー社などの USB プリンタ 1 台の接続に対応しています。プリンタは、適切なドライバが使用可能な場合は、プラグ & プレイインストールと手動インストールをサポートしています。プリンタは、ターミナル上の USB ポートに接続できます。

ヒント サポートされているプリンタについては、<http://www.rockwellautomation.com/knowledgebase> にアクセスし、ナレッジベースで「Printers Supported on PanelView Plus」というキーワードを入力して検索してください。


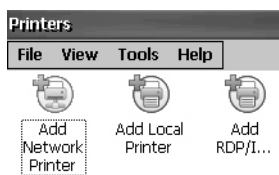
 プリンタを構成および管理するには、デスクトップのコントロールパネルにある Printers アプリケーションを使用します。プリンタのタイプごとのウィザードがサポートされています。

表 31 - プリンタのサポート



プリンタのタイプ	説明
ローカル USB	JETCET がサポートされているプリンタを USB ホストポートに接続できる。USB ホストポートに接続されているプリンタは、リモートターミナル上のネットワークプリンタとして構成されている場合、そのリモートターミナルとの共有が可能である。
ネットワーク	ターミナルは、イーサネットポートを介してネットワークに接続されているリモートプリンタをサポートしている。この種のプリンタは、デバイス名または IP アドレスによってアドレス指定できる。
RDP /ICA	ターミナル上の RDP (Remote Desktop Protocol) セッションで実行されている Windows サーバアプリケーションに対してローカルプリンタを使用可能にすることができる。

プリンタを構成し終えたら、デスクトップアプリケーションと FactoryTalk View ME Station からプリンタにアクセスできます。Terminal Settings を押してから、Print Setup を選択します。また、アプリケーションではプリンタの選択と共有を行なうこともできます。

プラグ & プレイインストール

以下の手順に従って、Windows デスクトップからプラグ & プレイプリンタをインストールしてください。プリンタの手動インストールについては、[115 ページの「プリンタの手動インストール」](#)を参照してください。


ヒント この手順では、例として、ヒューレット・パッカード社の HP deskjet 5650 プリンタのプラグ & プレイのインストールを取り上げます。

1. プリンタは、ターミナル上の USB ホストポートに接続します。
2. プリンタの電源コードをコンセントに差し込んで、プリンタの電源を投入します。

Windows がプラグ & プレイプリンタを自動的に検出し、ほとんどの場合、ユーザによる選択操作を必要とせずにプリンタがインストールされます。

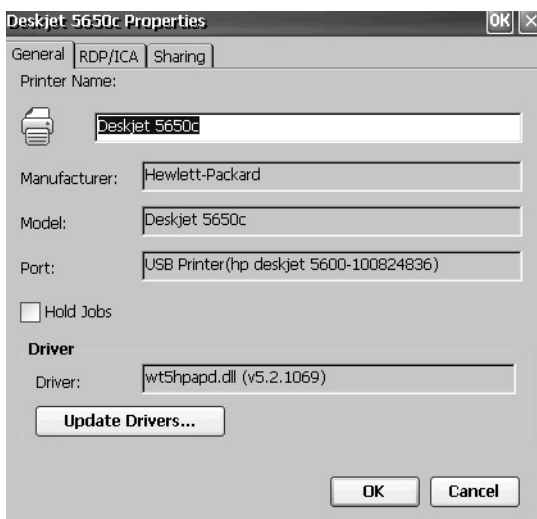
プリンタの印刷準備が完了します。

重要 プラグ & プレイの自動インストールがプリンタでサポートされていない場合は、以下のエラーが Hardware Monitor のシステム・イベント・ログに記録されます。
 例：JETCET PRINT was unable to auto-configure printer. To configure the printer manually, go to the Printers folder from the Control Panel. (JETCET PRINT はプリンタを自動構成できませんでした。プリンタを手動で構成するには、コントロールパネルから Printers フォルダにアクセスしてください。)

3. デスクトップのコントロールパネルから Printers  アプリケーションを開いてプリンタのインストールを確認します。

Deskjet 5650C プリンタのアイコンに注意してください。チェックマークは、このプリンタがデフォルトプリンタであることを示しています。

4. File メニューから、Properties を選択してプリンタのプロパティを表示します。

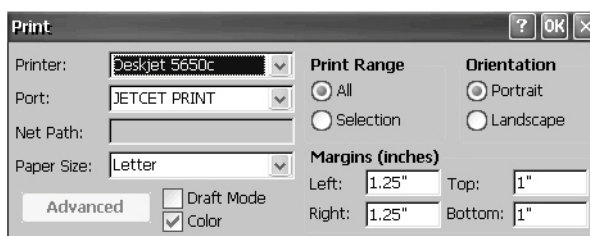


プリンタのプロパティには、プリンタ名、メーカー名とモデル、プリンタドライバ、およびポート固有のパラメータが含まれます。

- ヒント**
- 新しいプリンタ構成は、電源を切って再投入を行った後も維持されます。
 - デスクトップのコントロールパネルを通じたプリンタ設定は、FactoryTalk View ME Station で Terminal Settings → Print Setup の順に押すことでも使用できます。


5. プリンタを右クリックし、テストページを印刷してインストールを確認します。

WordPad などのアプリケーションから印刷するときは、設定を調整できる Print ダイアログボックスが開きます。



プリンタの手動インストール

以下の手順に従って、サポートされているプリンタを手動でインストールしてください。

1. プリンタをターミナルの USB ポートに接続します。
2. プリンタの電源コードをコンセントに差し込んで、プリンタの電源を投入します。
3. デスクトップのコントロールパネルから、Printers  を開きます。
4. Add Local Printer をクリックします。



5. Add Local Printer Wizard の手順に従ってプリンタを構成します。
 - a. 接続されたプリンタが USB プリンタポート上に表示されることを確認します。
 - b. JETCET プリンタのメーカー名とモデルを選択します。
 - c. デフォルトのプリンタ名をそのまま使用するか、別の名前を入力します。
 - d. テストページを印刷して、インストールされたプリンタを確認します。
 - e. ネットワーク上でプリンタを共有するかどうかを指定します。

SD カードの挿入

SD カードをターミナルの SD カードスロットに差し込むと、格納容量を追加できます。サポートされるカードは、Cat. No. 1784-SD1 および 1784-SD2 です。SD カードはホットスワップ可能であり、ターミナルの電源を投入して稼働中でも挿入および取り外すことができます。



警告：爆発の危険

電源を投入した状態でSDカードを取り外しまたは挿入すると、電気的なアークが発生する場合があります。危険な環境で取付けを行なっている場合は、これによって爆発が起こる可能性があります。

電源を切断するか、または領域が危険でないとわかるまでは、SDカードを取り外したり挿入しないでください。

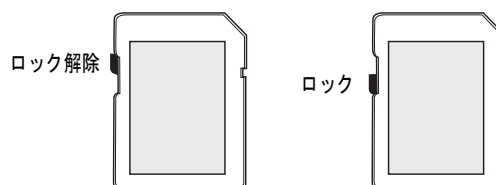
ATEX および危険な環境に設置する場合は、SD カードカバーを取付ける必要があります。

SD カードスロットには、オペレータターミナルを取付けたパネルの内側または背面からアクセスできます。

以下の手順に従って、SD カードをカードスロットに取付けてください。

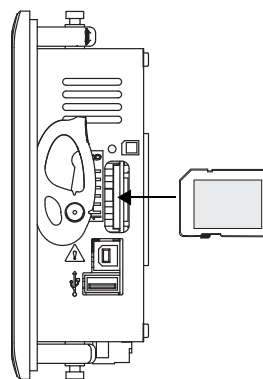
1. 保護カバーをカードスロットから取り外します。

- 希望の運用に応じて SD カードがロックまたはロック解除されていることを確認します。
 - ロックが解除されている場合、ターミナルはカードのデータを読み書きできます。
 - ロックされている場合、ターミナルはカードのデータを読み取るのみ可能です。



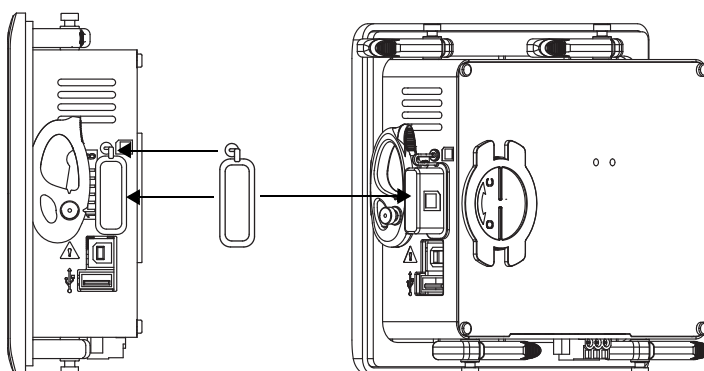
注意： スロットに挿入する前に SD カードを正しい向きにする。スロットにカードを無理やり押し込むと、カードやターミナルが損傷することがある。

- SD カードをスロットにしっかり挿入します。



カードを取り外すには、カードの端をつかんで引き抜きます。

- 保護カバーをカードスロットの上に取り付けます（保護カバーはターミナルに同梱されています）。



注意： 高衝撃・高振動環境に設置する場合は、カバーをカードに固定する必要があります。また、カードカバーは実行時の操作中に静電気（ESD）の放電からカードを保護する機能もあります。

バッテリーの交換

この製品には、リアル・タイム・クロックやスタティック RAM (SRAM) のバックアップ電源として、リチウムバッテリーが使用されています。バッテリーは、製品をパネルに取付けたままの状態でも交換することができます。バッテリーの交換に特別な工具は必要ありません。



この製品には、製品のライフサイクル中に交換が必要となる密閉型リチウムバッテリーが含まれています。

本製品に含まれるバッテリーが使用済みになった際は、分別されない一般のごみとは別に回収される必要があります。バッテリーの回収とリサイクルは、環境の保護に役立つとともに、貴重な資源を再利用することで天然資源の保全に役立ちます。



警告： この製品内のリチウムバッテリーまたはリアル・タイム・クロック・モジュールを誤った方法で交換すると、爆発の危険があります。電源を切断し、周辺に危険がないことを確認するまでは、バッテリーまたはリアル・タイム・クロック・モジュールを交換しないでください。

Cat.No. 2711P-RY2032 のバッテリーまたは同等のコイン型バッテリー CR2032 だけを使用してください。

リチウムバッテリーまたはリアル・タイム・クロック・モジュールを火に投げ入れたり、焼却炉に廃棄してはなりません。使用済みのバッテリーは、地域で定められた規則に従って廃棄してください。

漏れバッテリーの取り扱いと廃棄を含むリチウムバッテリーの取り扱いに関する安全情報は、『Guidelines for Handling Lithium Batteries』(Pub. No. [AG 5-4](#)) を参照してください。

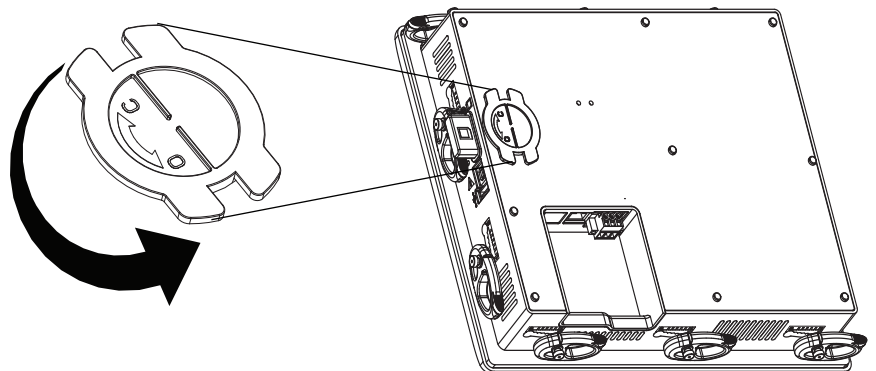
過塩素酸塩物質 – 特別な取り扱いが適用されます。

www.dtsc.ca.gov/hazardouswaste/perchlorate を参照してください。

この過塩素酸塩に関する警告は、米カリフォルニア州で販売または流通された主なマンガンリチウム酸化物 (LiMnO_2) 電池またはバッテリー、およびこれらの電池またはバッテリーを含む製品にのみ適用されます。

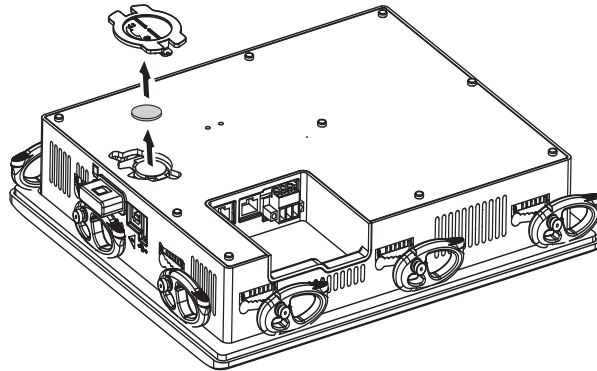
以下の手順に従って、バッテリーを交換してください。

1. ターミナルの電源を切断します。
2. バッテリーカバーを C (閉) 位置から O (開) 位置に回して取り外します。

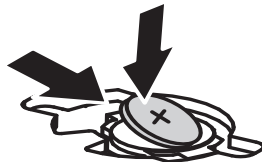


3. バッテリにかかった金属製ラッチを外すには、垂直中心線のタブをバッテリーの外側に押し外します。

バッテリーが外れます。



4. 新しいバッテリーの陽極 (+) 側を上に向け、金属製ラッチの下に角度をつけて挿入します。

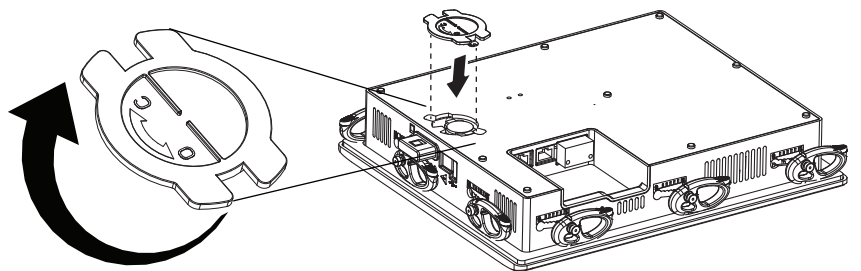


5. バッテリーの反対側を軽く押し、ラッチがロックするまではめ込みます。

重要

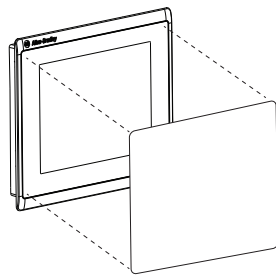
バッテリーがプラスチック製タブの下に完全に挿入されていることを確認します。この通りに取付けられていない場合、損傷の原因となり、保証は無効になります。

6. バッテリーカバーのタブを開口部の位置に合わせて取付け、カバーをO（開）位置からC（閉）位置まで回します。



保護オーバーレイの取付け

オーバーレイは、擦り傷、埃、指紋、および化学物質や摩耗による外部損傷からターミナルのタッチスクリーンを保護します。使用可能な保護オーバーレイのリストは、[17ページの表4](#)を参照してください。



保護オーバーレイは、プラスチック製の外縁部の内側にあるターミナルベゼルの表面全体を覆います。オーバーレイには、タブを引っ張って剥がすことのできる保護ライナーが貼ってあります。オーバーレイを取付ける準備ができるまでライナーを剥がさないでください。

重要

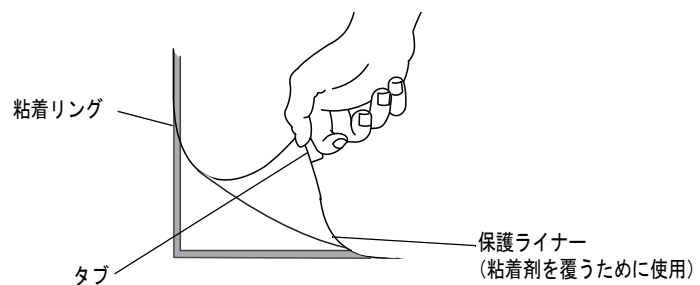
保護オーバーレイを取付ける際に、以下の注意事項に従ってください。

- 手が清潔で乾いていることを確認してください。
- オーバーレイの取り扱いは端を持って行ってください。オーバーレイに汚れや糸くずがついている場合は、オーバーレイを取付ける前に取り除いてください。
- 粘着リングに手を触れないでください。

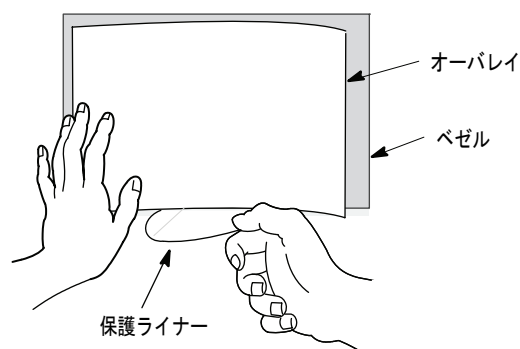
オーバーレイを取付ける前に、ケバのない布でとガラス用中性洗剤を使用してタッチスクリーンの表面を清掃してください。すべての指紋やグリース、埃を完全に拭き取ってください。残った汚れは、オーバーレイの下に入って取れなくなります。グリースもオーバーレイを低下させます。

以下の手順に従って、保護オーバーレイを貼り付けてください。

1. ターミナルの電源を切断します。
2. 辺が短い方からタブを引っ張り、粘着剤層からライナーを部分的に剥がします。



次の手順を実行するときに邪魔にならないように、保護ライナーの剥がした部分の後ろを持ちます。



3. オーバレイをベゼルの中心に合わせて、注意しながら接着面をターミナルの上に位置決めします。

オーバーレイの残りの部分を保護ライナーがまだ覆っている状態で、中央に正しく位置がっていることを確認します。

4. ゆっくりとライナーの残り部分をはぎ取りながら、柔らかい布を使ってオーバーレイをスクリーンに押しつけます。

オーバーレイが気泡やしわができないように平らに置かれていることを確認します。

5. 柔らかい布または指先で、オーバーレイの辺縁部を押さえて密着させ、粘着剤の中に入った気泡を取り除きます。

オーバーレイの清掃

清潔なケバのない布とガラス用中性洗剤を使用して、オーバーレイに洗剤の痕が残らないようにきれいに拭き取ります。Windex またはメガネクリーナーの使用をお奨めします。研磨剤の入った洗剤は使用しないでください。

オーバーレイの取り外し

オーバーレイが損傷したり、交換が必要な場合は取り外します。角の部分から剥がして、ゆっくりと引っ張って剥がします。イソプロピルアルコールを使用して、粘着剤の残りを取り除きます。オーバーレイは再使用しないでください。

ファームウェアのアップデート

項目	参照ページ
ターミナルのファームウェア	121
ファームウェアファイルのダウンロード	122
ファームウェア・アップグレード・ウィザード	123
記憶装置からのターミナルのファームウェアのアップグレード	123
ネットワークを介するターミナルファームウェアのアップグレード	127

ターミナルのファームウェア

ファームウェアコンポーネントは、1つのシステムコード(SC) .img ファイル内に XIP (execute-in-place) リージョンとしてパッケージ化されています。この SC .img ファイルをターミナルの仮想ファイルシステム(VFS)にコピーすると、XIP リージョンが更新され、ターミナルが自動的に再起動されます。以下のファームウェアコンポーネントがアップグレード時の対象になります。

- FactoryTalk View ME Station ソフトウェア
- 通信プロトコルおよびドライバ (Kepware ドライバを含む)
- Windows フォント
- Windows CE コンポーネント
- FactoryTalk コンポーネント
- ユーザによる機能拡張

以下のターミナルのコンポーネントまたは設定は、ファームウェアのアップグレードの対象とはなりません。

- Windows レジストリ
- ターミナルにロードされている FactoryTalk View ME アプリケーション⁽¹⁾を含むファイルシステム
- ネットワークデバイス名、DHCP 対応 / 静的⁽²⁾ IP アドレス、速度、二重設定などのネットワークパラメータ
- ディスプレイ設定
- スクリーンセーバ構成
- タッチスクリーンのキャリブレーション

(1) ファームウェアアップグレード後に、FactoryTalk View ME アプリケーションが見つからなくなる場合があります。

(2) ファームウェアアップグレード後に、静的 IP アドレスが DHCP 対応 IP アドレスに変更される場合があります。

ファームウェアファイルのダウンロード

ロックウェル・オートメーションの Product Compatibility and Download Center から適切なファームウェア・インストール・パッケージをダウンロードします。パッケージは以下のような名前になります。

PVP7_<ターミナルファミリー>_x.xx-yyyymmdd.exe。この場合、

- <ターミナルファミリー>は、ターミナル名です。
- x.xx は、このパッケージに含まれている FactoryTalk View ME ソフトウェアのバージョンです。
- yyyymmdd は、パッケージの作成日（年、月、日）です。

このインストールパッケージには以下のアイテムが含まれています。

- ファームウェア・アップグレード・パッケージ (FUP) には、1つの自動実行ファイルと新しいファームウェアファイルが含まれています。
- ファームウェア・アップグレード・ウィザード (FUW) バージョン 6.10 以降は、FUP の内容を使用してターミナルのファームウェアをアップグレードするために使用されます。

FUP と FUW は、ダウンロード時に、コンピュータにコピーされます。

以下の手順に従って、ファームウェア・インストール・ファイルをコンピュータにダウンロードしてください。

1. <http://www.ab.com> の Quick Links リストから、Product Compatibility and Download Center を選択します。
2. Get Downloads タブをクリックします。
3. Find Product Downloads をクリックします。
4. All Families プルダウンメニューから、PanelView Plus 7 を選択します。
5. ファームウェアのバージョンを選択してから、Downloads をクリックします。
6.  アップグレードファイル(.exe)を FactoryTalk View Machine Edition (ME) ソフトウェアと同じドライブ上のテンポラリフォルダにダウンロードします。
7. アップグレードファイル(.exe)のインストール手順を実行します。
 - FUW は FactoryTalk View ME フォルダにインストールされます。
 - ファームウェア・アップグレード・パッケージ (.fup) ファイルは、インストール手順の間に指定されたフォルダにインストールされます。

ヒント FUP の名前は、ME_PVP7xA_6=7.xx-yyyymmdd です。

- yyyymmdd は、ファームウェアパッケージの作成日です。
- 7.xx は、このパッケージに含まれている ME のバージョンです。

これで、FUW の実行により、USB ドライブ /SD カードまたはネットワーク接続を使用してターミナルのファームウェアのアップグレードを行なう準備が完了しました。

ファームウェア・アップグレード・ウィザード

ファームウェア・アップグレード・ウィザード (FUW) は、ターミナルのファームウェアをアップグレードするために使用します。ファームウェアをアップグレードするために以下の2つの方法が示されます。

- FUP ファイルの内容を使用してファームウェア・アップグレード・カードを作成し、そのカードをターミナルに装着することで、ファームウェアをアップグレードします。

ファームウェア・アップグレード・カードは USB ドライブまたは SD カード (Cat. No.1784-SDx) のいずれかになります。

- ネットワーク直接接続を介してコンピュータに接続されているターミナルでファームウェアをアップグレードします。ネットワーク接続を行なうには、RSLinx Enterprise ソフトウェア (バージョン 5.0 以降) が実行されているコンピュータが必要です。RSLinx Enterprise ソフトウェアで、アップグレードするターミナルを選択します。

FUW は、FactoryTalk View Studio ソフトウェア内から、またはコンピュータの Programs メニューから実行できます。

- FactoryTalk View Studio ソフトウェアで、Tools メニューから Firmware Upgrade Wizard を選択します。
- Start → Programs → Rockwell Software → FactoryTalk View → Tools → ME Firmware Upgrade Wizard の順に選択します。

記憶装置からのターミナルのファームウェアのアップグレード

記憶装置からファームウェアをアップグレードするプロセスは2つの手順で構成されています。最初に、必要なファームウェアファイルを使ってファームウェア・アップグレード・カードを作成し、次に、そのカードをターゲットのターミナルに装着してファームウェアをアップグレードします。

ファームウェア・アップグレード・カードは USB ドライブまたは SD カードのいずれかになります。

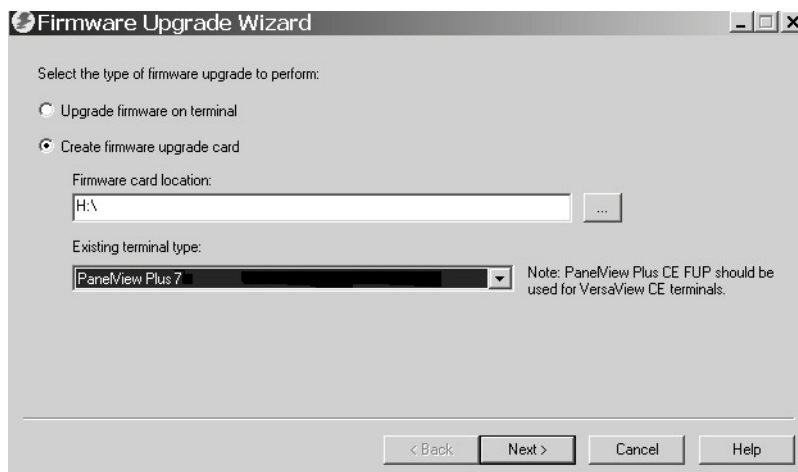
ファームウェア・アップグレード・カードの作成

以下の手順に従って、ファームウェアファイルを USB ドライブまたは SD カードにコピーしてください。

1. USB ドライブまたは SD カードをコンピュータ上の適切なスロットに挿入します。
2. ファームウェア・アップグレード・ウィザードを実行します。
 - FactoryTalk View Studio ソフトウェアで、Tools メニューから Firmware Upgrade Wizard を選択します。
 - Start → Programs → Rockwell Software → FactoryTalk View → Tools → ME Firmware Upgrade Wizard の順に選択します。

3. 最初の Firmware Upgrade Wizard ダイアログボックスで、以下の手順を行なってください。

- a. Create firmware upgrade card をクリックします。



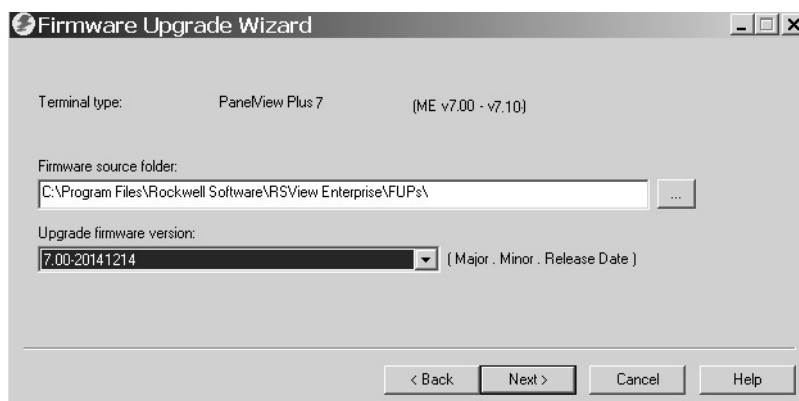
- b. コンピュータに装着されているストレージカードのルートディレクトリ (E:\ など) を参照して、ファームウェアカードの場所を選択します。

ファームウェアファイルはこの場所にコピーされます。また、ハードディスク上のフォルダを指定することもできます。

- c. Existing terminal type プルダウンメニューから、PanelView Plus 7 ターミナルを選択します。
- d. Next をクリックします。

4. ここに示すダイアログボックスで、以下の手順を行なってください。

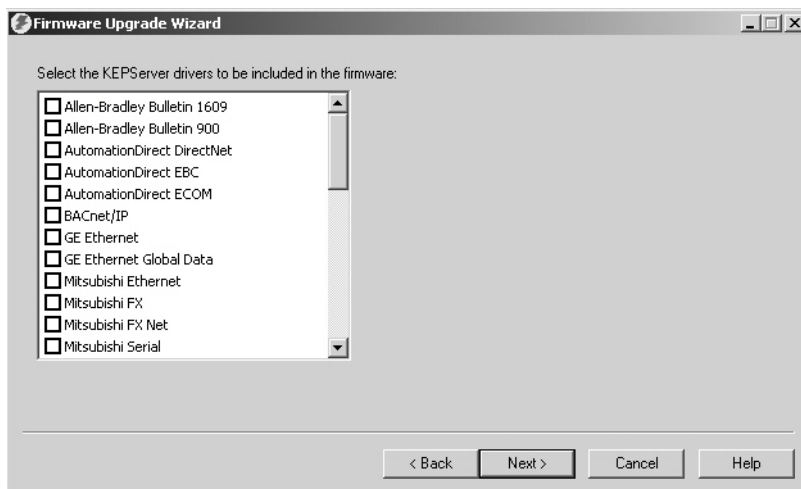
- a. コンピュータ上のファームウェア・ソース・ファイルの場所を参照して選択します。このフォルダは、FUP がインストールされていた場所です。



- b. アップグレード用のファームウェアバージョンを選択します。
- c. Next をクリックします。

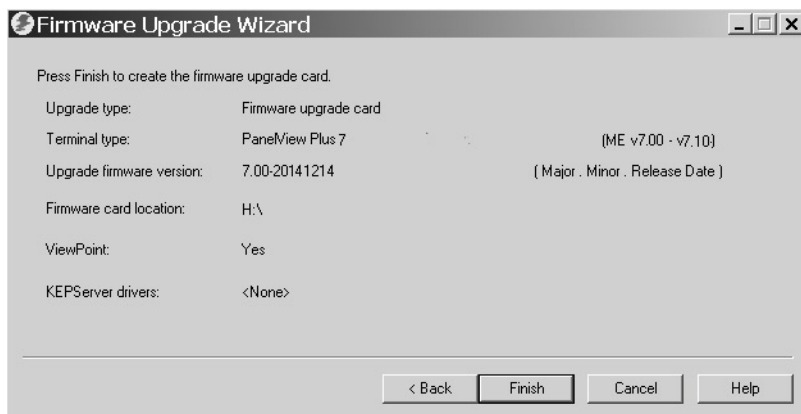
次のダイアログボックスが表示されるまでに (FUP が検索される間)、数秒かかることがあります。

- ここに示すダイアログボックスでは、オプションとして、ファームウェアに含めるKEPServerドライバを選択し、Nextをクリックします。



Keeware ドライバは、PanelView Plus 7 Standard ターミナルにすでにインストールされています。

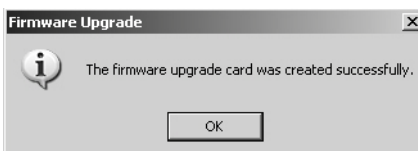
最後のダイアログボックスに、ファームウェア・アップグレード・カードを作成するために選択した内容のサマリが表示されます。



- Finish をクリックして、ファームウェアファイルをファームウェア・アップグレード・カードにコピーします。

ファイルがUSBドライブまたはSDカードにコピーされている間、プログレスバーが自動的に更新されます。

- ファームウェアアップグレードが正常に完了したら、OK をクリックします。



ヒント ファームウェアファイルがハードディスクにコピーされた場合は、それらのファイルをUSBドライブまたはSDカードのルートディレクトリにコピーします。

- USBドライブまたはSDカードをコンピュータから取り外します。
- 次のセクションに進んで、このファームウェア・アップグレード・カードを使ってターミナルのファームウェアをアップグレードします。

ファームウェア・アップグレード・カードを使用する ターミナルファームウェアのアップグレード

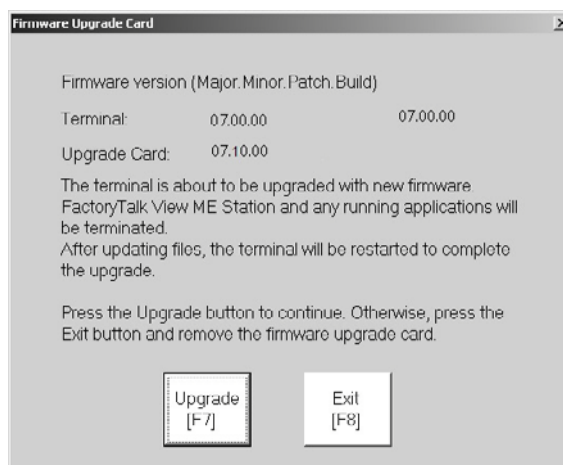
以下の手順に従って、ファームウェアファイルを USB ドライブまたは SD カードに転送してください。前のセクションで作成したファーム

-
- 重要**
- ファームウェアのアップグレード処理中に USB ドライブまたは SD カードを取り外したり接続を切断したりしないでください。これに従わないと、ファームウェアが破損し、ターミナルが不安定な状態になる恐れがあります。
 - ファームウェアのアップグレード中はターミナルの電源を切断しないでください。
 - USB ハブは、予期しない動作をすることがあるため、使用しないようにしてください。
-

ウェアアップグレード用のドライブまたはカードを使用します。

1. USB ドライブまたは SD カードをターミナルの適切なスロットに挿入します。

ファームウェアのアップグレードが自動的に開始され、ここに示すダイアログボックスが表示されます。



2. Upgrade またはターミナルの [F7] キーを押して、ファームウェアのアップグレードを開始します。

ターミナルが再起動され、アップグレード処理中にプログレスバーが表示されます。

アップグレードが完了すると、ターミナルが再起動され、新しいファームウェアが実行されます。

3. USB ドライブまたは SD カードをターミナルから取り外します。

-
- 重要**
- 停電のためファームウェアのアップグレードに失敗した場合や、ファームウェア・アップグレード・カードを間違えて取り外した場合は、ターミナルを工場出荷時の設定のファームウェアに戻すことができます。工場出荷時の初期設定に戻す方法については、[137 ページの「メンテナンスモードでの操作」](#)を参照してください。
-

ネットワークを介する ターミナルファームウェア のアップグレード

ネットワーク直接接続を介してコンピュータに接続されているターミナルでファームウェアをアップグレードします。ネットワーク接続を行なうには、ファームウェア・アップグレード・ウィザード (FUW) および RSLinx Enterprise ソフトウェア (バージョン 5.0 以降) が実行されているコンピュータが必要です。

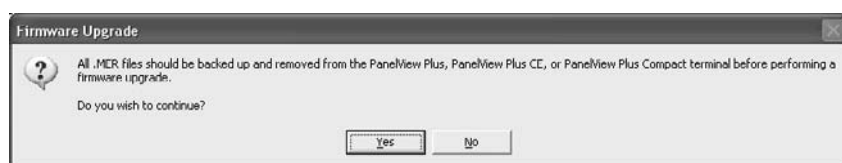
RSLinx Enterprise ソフトウェアは、ネットワーク上のターミナルを選択するために必要とされます。

以下の手順に従って、RSLinx Enterprise ソフトウェアとイーサネット通信を使用してネットワーク上でファームウェアファイルをターミナルにコピーします。

1. ファームウェア・アップグレード・ウィザードを実行します。
 - FactoryTalk View Studio ソフトウェアで、Tools メニューから Firmware Upgrade Wizard を選択します。
 - Start → Programs → Rockwell Software → FactoryTalk View → Tools → ME Firmware Upgrade Wizard の順に選択します。

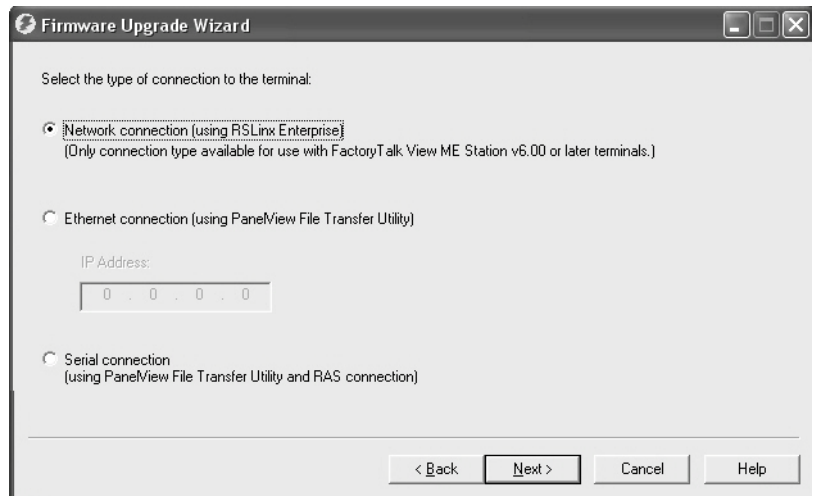


2. 'Upgrade firmware on terminal' を選択して Next をクリックします。
3. Yes をクリックして続行します。



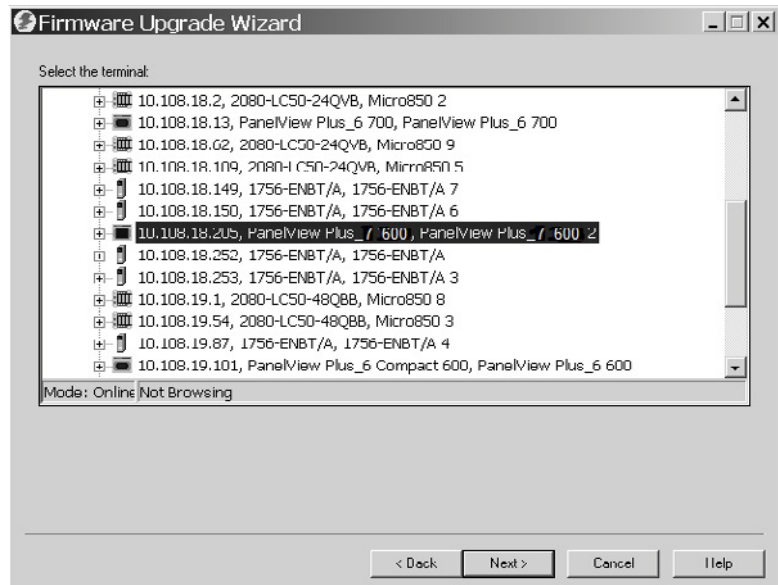
PanelView Plus 7 Standard ターミナルでファイルのバックアップを行なう必要はありません。

4. ‘Network connection (using RSLinx Enterprise)’ を選択して Next をクリックします。

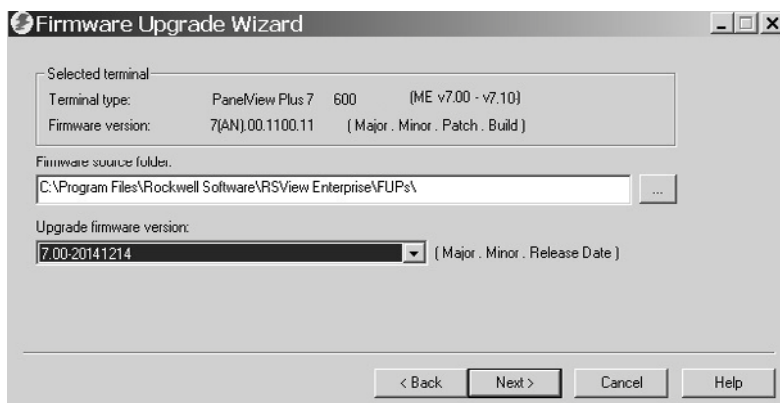


PanelView Plus 7 Standard ターミナルについて有効な選択オプションはこれだけです。

5. ファームウェアアップデートを受信するターミナルに移動して選択し、Next をクリックします。



6. ここに示すダイアログボックスで、以下の手順を行なってください。

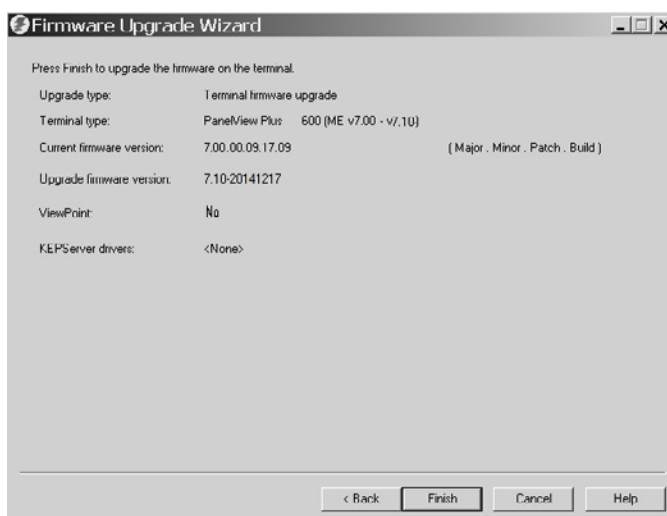


- a. コンピュータ上のファームウェア・ソース・ファイルの場所を参照して選択します。このフォルダは、FUP がインストールされていた場所です。
デフォルトの場所が表示されます。
 - b. アップグレード用ファームウェアのバージョンをプルダウンメニューから選択します。
 - c. Next をクリックします。
次のダイアログボックスが表示されるまでに (FUP が検索される間)、数秒かかることがあります。
7. ここに示すダイアログボックスでは、オプションとして、ファームウェアに含める KEPServer ドライバを選択し、Next をクリックします。



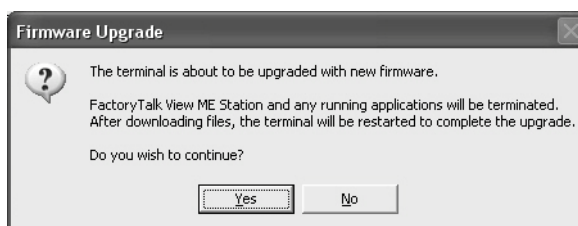
Keeware ドライバは、PanelView Plus 7 Standard ターミナルにすでにインストールされています。

最後のダイアログボックスに、ターミナルのファームウェアをアップグレードするために選択した内容のサマリが表示されます。



8. Finish をクリックして、ターミナルのファームウェアを更新します。

9. Yes をクリックして更新を続行します。



ファームウェアファイルがターミナルにコピーされる間、プログレスバーが更新されます。

10. ファームウェアのアップグレードが完了したら、OK をクリックします。



ターミナルが再起動され、新しいファームウェアが実行されます。

重要 停電のためファームウェアのアップグレードに失敗した場合や、ファームウェア・アップグレード・カードを間違っ取り外した場合は、ターミナルを工場出荷時の設定のファームウェアに戻すことができます。工場出荷時の初期設定に戻す方法については、[137 ページの「メンテナンスモードでの操作」](#)を参照してください。

トラブルシューティング

項目	参照ページ
システム情報の表示	131
ステータスインジケータ	132
ターミナルが起動しない	133
ターミナルの断続的な再起動	133
タッチスクリーンの問題	133
ディスプレイに関する問題	134
イーサネットに関する問題	134
パフォーマンスが遅い	135
化学物質に対する耐性	135
ディスプレイの清掃	136
ターミナルの発送	136
メンテナンスモードでの操作	137

システム情報の表示

FactoryTalk View ME Station ランタイムまたはコントロールパネルの Hardware Monitor から、ターミナルのシステム情報を表示します。

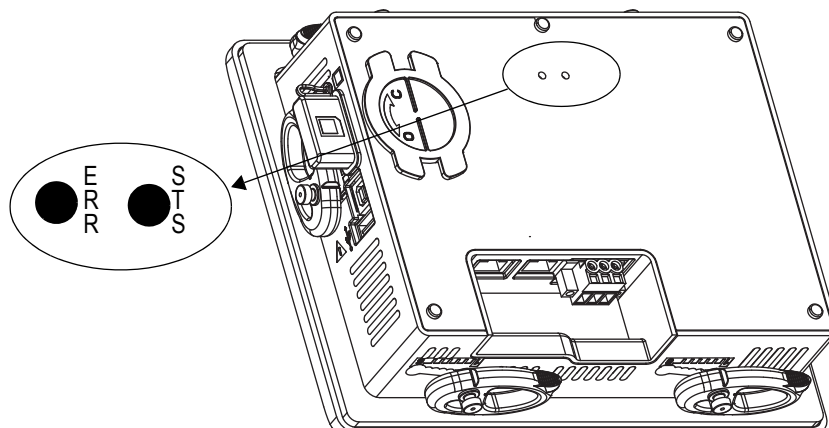
以下の手順に従って、インストールされているコンポーネントのシステム情報を表示してください。

1. FactoryTalk View ME Station ランタイムにアクセスします。
2. Terminal Settings をタップしてから、System Information → About FactoryTalk View ME Station の順に選択します。

ステータスインジケータ

ターミナルの背面には、システムステータスを表示する 2 つのインジケータがあります。

- STS インジケータ (緑色) は、ターミナルの電源が投入されており、動作中であることを示します。
- ERR インジケータ (赤色) は、ハードウェアフォルトおよびファームウェアフォールを示します。



起動時、STS と ERR インジケータが点滅してから、STS インジケータが点滅して起動中の進捗状況を知らせます。インジケータが消灯したままの場合は、電源ケーブルを点検してください。

起動が正常に完了すると、STS インジケータが点灯したままの状態になります。

以下の表に、起動時にターミナルが停止した場合のインジケータの状態を示します。

表 32 - ターミナル起動時のフォルトインジケータの状態

ERR (赤色)	STS (緑色)	説明	処置
点滅	消灯	回復可能なファームウェアエラー	ファームウェアを再ロードしてください。
		回復可能な構成エラー	ターミナルを工場出荷時の初期設定状態に復元する。 81 ページの「バックアップイメージの復元」 を参照してください。
点灯	点灯	致命的なハードウェアエラー	ターミナルを交換してください。
	点滅	致命的なディスプレイハードウェアのエラー	ターミナルを交換してください。

ターミナルが起動しない

ターミナルが正常に起動しない場合は、考えられる原因についての表を確認してください。

表 33 - ターミナルが正常に起動しない

確認項目	操作	参照ページ
電力不足	デバイスに十分な電源が供給されていることを確認する。 • DC 電源の要件を確認する。	33 ページ
不適切な電源配線	電源配線が正しいことを確認する。 • 配線仕様を確認する。 • DC 電線を点検する。	32 ページ 33 ページ
ステータスインジケータ	起動時にステータスインジケータを点検する。	132 ページ
進捗状況インジケータが停止	ターミナルが進捗状況インジケータを表示したまま停止し、アプリケーションまたは構成画面をロードしない場合は、ファームウェアを再ロードするか、工場出荷時のデフォルトを復元する。	81 ページ
ディスプレイの接触物	ディスプレイに何も接触していないか、または起動中に自分がディスプレイに触れていないかを確認する。	適用しない

ターミナルの断続的な再起動

ターミナルが断続的に再起動する場合は、考えられる原因についての表を確認してください。

表 34 - ターミナルが断続的に再起動する

確認項目	操作	参照ページ
不適切な電源配線	電源配線が正しいことを確認する。 • 配線仕様を確認する。 • DC 電線を点検する。	32 ページ 33 ページ
温度超過状態	プロセッサが通常のターミナル動作温度を超えていないか確認する。 • プロセッサの温度を確認する。 • 温度超過状態が発生していないかシステム・イベント・ログを確認する。 • パネル内のターミナルの周囲に十分な隙間があるかを確認する。 • 適正な動作温度であるかを確認する。	67 ページ または 86 ページ 66 ページ または 86 ページ 24 ページ 87 ページ

タッチスクリーンの問題

タッチスクリーンが指やスタイラスによるタッチに正しく反応していない場合は、以下の表を確認してください。

表 35 - タッチスクリーンが応答しない

確認項目	操作	参照ページ
不適切なキャリブレーション	動作ポイントがタッチポイントからずれていないかを確認する。 タッチスクリーンをキャリブレーションする。	60 ページ または 108 ページ
タッチスクリーンが機能しない	タッチスクリーンに亀裂、過度の摩耗などの損傷がないかを確認する。損傷がある場合は、ターミナルを交換してください。	適用しない
複数の入力素子へのタッチ	アプリケーション画面には、Machine Edition アプリケーションで構成されたグラフィック入力素子がある。これらの素子にタッチすると、予測可能な形で動作を実行する。 例えば、アプリケーションの特定の画面に移動したり、タッチするとモータが始動するように入力素子が構成されている。 複数の動作を同時に実行することはできない。そのようにしようとすると、意図しない動作が実行される場合がある。 • 複数の入力素子に同時にタッチしないでください。 • ディスプレイの上で手や複数の指を休めないようにしてください。	適用しない

ディスプレイに関する問題

ディスプレイが読取れないか、ディスプレイが突然真っ暗になります。



注意：ディスプレイが暗くなる場合、またはバックライトが適切に機能しない場合、スクリーンを読取ることが困難になり、このタッチスクリーンが危険な結果をもたらす可能性があります。このような状況の場合はタッチスクリーンを使用しないでください。システムを設計する際には、タッチスクリーンが機能を失ってシステム制御を保持または変更することができなくなる可能性を考慮に入れる必要があります。タッチスクリーンだけで重要な機能を制御しないようにしてください。タッチスクリーンは非常停止ボタンの代用にするためのものではありません。

システムを設計する際は、該当するすべての規約と適切なエンジニアリング方式に従う必要があります。以下の項目を考慮してください。

- タッチスクリーンが読取り不能になっている可能性
 - タッチスクリーンが動作しなくなっている可能性
 - 予期しない通信エラーまたは遅延
 - システム制御におけるオペレータのエラー
 - 非常停止機能とその他の安全操作方の適切な使用
- ユーザは、異常時に安全状態を実現する手段を提供し、重要な機能に対してシステムに十分な冗長性があることを確認してください。

これらの指示に従わないと、死亡者や深刻な負傷者が出たり、機器が損傷する原因になる可能性があります。

表 36 - ディスプレイが暗くなる

確認項目	参照ページ
ディスプレイの輝度設定が低い	58 ページ または 83 ページ
スクリーンセーバの輝度レベルが低い	59 ページ または 84 ページ
温度が動作範囲外	67 ページ または 86 ページ

ヒント バックライトの寿命は、ディスプレイの輝度を低くする、スクリーンセーバを低い輝度で使用する、または低温度で動作させることによって延ばすことができます。

イーサネットに関する問題

[135 ページ](#)の [図 37](#) に、イーサネットの障害を特定するためのヒントを記載します。

表 37 - イーサネット接続に関する問題

確認する問題	操作
無効なイーサネット接続状態	<ul style="list-style-type: none"> リンクが確立されていると緑色のインジケータが点灯する。 アクティビティが検出されると黄色のインジケータが点滅する。 ネットワーク接続を確認する。
ケーブル接続が不十分	以下の項目についてイーサネットケーブルを確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ケーブルがしっかりと接続されていることを確認する。 ケーブルの圧着を点検する。 イーサネットスイッチのコネクタを確認する。 アップリクポートを確認する。
ターミナルの IP アドレスが誤っている。	53 ページの「ターミナルのイーサネットアドレスの設定」 を参照してください。 DHCP が有効になっている場合、ターミナルは起動後にネットワークから自動的に有効な IP アドレスを取得する。デバイスがネットワークから IP アドレスを取得できない場合は、TCP/IP プロトコルが自動的に 169.254.xxx.xxx を割り付ける。一般に、169 で始まる IP アドレスはネットワーク接続をサポートしない。
IP アドレスの競合	DHCP が有効ではなく静的 IP アドレスが指定されている場合は、IP アドレスが、ネットワーク上の別のデバイスのアドレスと競合状態にないことを確認してください。

パフォーマンスが遅い

例えば、画面の変化やテキスト表示の変更など、アプリケーションの応答時間が遅い場合、以下の問題を確認してください。

- アプリケーション画面に含まれる要素が多すぎる。
- コントローラがフィードバックを行なうようにプログラムされている場合、これが遅延の原因である可能性があります。
- ネットワークパフォーマンスが低速である場合やノイズが発生している場合は、再試行が行なわれる可能性があります。

化学物質に対する耐性

ベゼル、タッチスクリーンオーバーレイ、およびパネルのシーリングガスケットなどのターミナルの外表面は、化学物質に対する耐性試験が行なわれています。化学物質の一部は、変色を引き起こす場合がありますが、ターミナルの動作には影響を及ぼしません。

ヒント 製品の化学物質への耐性については、<http://www.rockwellautomation.com/knowledgebase> にアクセスし、ナレッジベースで「Chemical Resistance PanelView Plus」というキーワードを入力して検索してください。

重要 ターミナルを直射日光が当たる場所で運転しないでください。紫外線に直接さらされると、タッチスクリーンが変色する可能性があります。

ディスプレイの清掃

保護オーバーレイを使用するとターミナルの寿命を延ばして、ディスプレイの清掃が簡単になります。[17 ページの表 4](#) に、オーバーレイのカタログ番号を記載します。



注意: 研磨性の洗浄剤や溶剤は使用しないでください。ディスプレイを損傷させることがあります。ディスプレイをごしごし磨いたり、ブラシを使用したりしないでください。洗浄液を直接ターミナルのスクリーンに使用しないでください。洗浄液がガスケットに垂れたり染み込んだりすることがあります。洗浄液を清潔なスポンジまたは柔らかい布につけて、スクリーンの埃や汚れをそっと拭き取ってください。

以下の手順に従って、ディスプレイを清掃してください。

1. ターミナルの電源を主電源から切断します。
2. 清潔なスポンジまたは柔らかい布と、低刺激性の石けんまたは洗剤を使用して、傷をつけないようにディスプレイを清掃します。
3. セーム皮または湿ったセルローススポンジでディスプレイを拭いて、水濡れを防ぎます。

塗料やグリースの除去

以下の手順に従って、NEMA、UL タイプ、または IP 定格のエンクロージャに適切に正しく取付けられたベゼルから塗料やグリースを除去してください。

1. イソプロピルアルコール（70% の濃度）で軽く拭きます。
2. 低刺激性の石けんまたは洗剤を使用して、残った汚れを落とします。
3. きれいな水ですすぎます。

機器の洗浄



注意: ターミナルのフロントベゼルの洗浄に高圧洗浄機を使用しないでください。高圧洗浄機は、ターミナルを損傷する可能性があります。

通気孔のあるエンクロージャの洗浄に高圧洗浄機を使用しないでください。エンクロージャ内に水が浸入し、ターミナルおよび他の機器を損傷する可能性があります。

ターミナルの電源が入っていると、機器の洗浄中に画面オブジェクトが作動する可能性があることに注意してください。

ターミナルの発送

ターミナルを取付けた状態でエンクロージャを発送する場合は、ターミナルをしっかりと固定し、衝撃、鋭利な物体、または研削材などによって損傷しないように保護してください。



注意: 当社では、パネルまたはエンクロージャに取付けた状態で発送または輸送される製品の損傷に対して責任を負いません。

メンテナンスモードでの操作

診断や修理のためにシステムをメンテナンスモードで起動するには、起動時にディスプレイの左下隅に表示される白色のボックスを押したまましばらく待ちます。

ヒント USB キーボードを接続して F1 キーを押しても、メンテナンスモードのメニューにアクセスすることができます。

ターミナルの起動時に ME アプリケーションを実行するように設定されている場合、起動時に白色のボックスを押したままにすると、ターミナルはセーフモードで起動します。

表 38 - メンテナンスモードでの操作

操作	説明
None	メンテナンスモードを終了し、通常の再起動を継続する。
Safe Mode (セーフモード)	システムをセーフ動作モードで起動する。これは機能を少なく抑えた診断モードであり、ソフトウェアを異常から回復させるために使用する。セーフモードでは、エラーの原因となった障害のあるアプリケーションや変更内容を修復できる。 重要 : FactoryTalk View ME Station ソフトウェアは、起動時に HMI .mer アプリケーションがロードされている場合でも当該アプリケーションを実行せず、かわりに構成モードに入る。HMI アプリケーションは、次にシステムがリセットされたときに実行される。
Clear all data (全データの消去)	ターミナル上でユーザがアクセス可能なストレージおよび構成データを元の初期設定状態に復元する。現在のファームウェアバージョンは保持される。 重要 : すべての記憶媒体は、ファームウェアを除いて、購入時の元の状態に戻る。最新の FactoryTalk View ME イメージが保持される。ユーザによるデータの変更または追加内容はすべて失われる。
Factory default (工場出荷時の初期設定)	ターミナルのすべての記憶媒体は、ファームウェア、レジストリ、ファイルシステム、および構成データを含め、工場出荷時の初期設定に復元する。通常、このオプションは、ファームウェアのアップグレードの失敗からの復元に使用される。 重要 : すべての記憶媒体は、購入時の元の状態に戻る。ユーザがインストールしたファームウェアアップデートもすべて削除される。復元を実行する方法については、 81 ページの「バックアップイメージの復元」 を参照してください。

メンテナンス操作を実行することで、問題を診断し修復してください。

- **Safe mode** – アプリケーションが自動起動するのを阻止します。
- **Clear all data** – ユーザによってインストールされたアプリケーション、ユーザによる構成の変更、およびユーザアクセスが可能なデータを削除します。
- **Factory default** – ターミナルを工場出荷時の初期状態に戻します。

Notes:

ターミナルの常駐フォント

TrueType フォント

以下の表に、ターミナルに事前にインストールされている TrueType フォントのリストを示します。デフォルトのシステムフォントは Tahoma です。

ヒント Arial Unicode MS フォントはおよそ 50,000 文字をカバーし、アラビア語、ヘブライ語、ベトナム語、タイ語、ヒンディー語（デバナーガリ文字）、他のインド系言語など、多くの非ラテン系言語およびスクリプトに対するデフォルトの言語サポートを提供しています。このフォントは、中国語、日本語、および韓国語（CJK）もサポートしています。

フォントファイルをターミナルデスクトップ上の \Windows\Fonts フォルダにコピーすることで、システムに追加のフォントをロードできます。このフォルダにアクセスするには、ターミナルデスクトップ上の My Device アイコンを開くか、Start → Programs → Windows Explorer の順に選択します。

重要 OpenType フォント（.otf）には、多くの追加の記号や文字が含まれているため、ファイルサイズが大きくなる場合があります。OpenType フォントをインストールすると、アプリケーションで使用可能なメモリが少なくなる場合があります。TrueType フォントのみをインストールすることをお奨めします。OpenType フォントが必要な場合は、使用するフォントファミリーのみをインストールしてください。

表 39 - TrueType フォント (.tff および .ttc)

フォントタイプ	フォント名	ファイル名	
欧文フォント	Arial Unicode MS バージョン 1.01	arialuni.ttf	
	Arial		
	Arial (サブセット 1_30)	arial_1_30.ttf	
	Arial Black	arialk.ttf	
	Arial Bold	arialbd.ttf	
	Arial Bold Italic	arialbi.ttf	
	Arial Italic	ariali.ttf	
	Comic Sans MS		
	Comic Sans MS	comic.ttf	
	Comic Sans MS Bold	comicbd.ttf	
	Courier New		
	Courier New (サブセット 1_30)	cour_1_30.ttf	
	Courier New Bold	courbd.ttf	
	Courier New Bold Italic	courbi.ttf	
	Courier New Italic	couri.ttf	
	欧文フォント	Georgia	
		Georgia	georgia.ttf
Georgia Bold		georgiab.ttf	
Georgia Bold Italic		georgiaz.ttf	
Georgia Italic		georgiai.ttf	
Impact		impact.ttf	
Kino		kino.ttf	
Microsoft Logo		mslogo.ttf	
記号		symbol.ttf	
Tahoma			
Tahoma (サブセット 1_07)		tahoma_1_07.ttf	
Tahoma Bold		tahomabd.ttf	
Times New Roman			
Times New Roman (サブセット 1_30)		times_1_30.ttf	
Times New Roman Bold		timesbd.ttf	
Times New Roman Bold Italic		timesbi.ttf	
Times New Roman Italic		timesi.ttf	
Trebuchet MS			
Trebuchet MS		trebuc.ttf	
Trebuchet MS Bold		trebucbd.ttf	
Trebuchet MS Bold Italic		trebucbi.ttf	
Trebuchet MS Italic		trebucit.ttf	
Verdana			
Verdana	verdana.ttf		
Verdana Bold	verdanab.ttf		
Verdana Bold Italic	verdanaz.ttf		
Verdana Italic	verdanai.ttf		
記号	Webdings	webdings.ttf	
	Wingding	wingding.ttf	

表 39 - TrueType フォント (.ttf および .ttc) (続き)

フォントタイプ	フォント名	ファイル名
PanelView フォント	PV 12 x 24、PV 12 x 8	PV12x24.ttf、PV12x8.ttf
	PV 16 x 24	PV16x24.ttf
	PV 18 x 16、PV 18 x 8	PV18x16.ttf、PV18x8.ttf
	PV 24 x 32	PV24x32.ttf
	PV 32 x 40、PV 32 x 64	PV32x40.ttf、PV32x64.ttf
	PV 4 x 6	PV4x6.ttf
	PV 6 x 16、PV 6 x 24、PV 6 x 8、PV 6 x 9	PV6x16.ttf、PV6x24.ttf、 PV6x8.ttf、PV6x9.ttf
	PV 8 x 16、PV 8 x 20、PV 8 x 24	PV8x16.ttf、PV8x20.ttf、 PV8x24.ttf
	PV Double High	PVdouble_high.ttf
	PV Double Wide	PVdouble_wide.ttf
	PV Extra Large	PVextra_large.ttf
	PV Large	PVlarge.ttf
	PV Small	PVsmall.ttf
	PV Tiny	PVtiny.ttf
PV Very Tiny	PVvery_tiny.ttf	
東アジアのフォント	Gulim バージョン 2.21 - 韓国語	gulim.ttc
	MS Gothic バージョン 2.30 - 日本語	gulim.ttc

Notes:

記号

.mer アプリケーション 39, 43, 51, 56, 65

A

ActiveX コントロール 14, 69

ATEX

定格 19
取付け 12

D

DC 電源バス 33

DHCP 53

E

ESD

防止対策 111

F

FactoryTalk View ME

診断 65
ファイルの整合性チェック 65

Foxitreader 110

FTP サーバ

構成 100
セキュリティ 100
パラメータ 100

FTP セキュリティオプション 101

FUP 122

FUW 122

H

HMI 9

I

IP アドレス

割付け 53

K

KEPServer ドライバ 125, 129

M

ME 9

N

NEC 23

P

PDF リーダ 109

Product Compatibility and Download Center 10

R

RJ45 コネクタ 35

RSLinx Enterprise ソフトウェア 52

S

SD カード

スロット 115
取付け 115

STS インジケータ 132

U

USB

ケーブル 113
デバイスポート 112
ハブ 112
プリンタ 113
ホストポート 23, 112
ホストポート回路パラメータ 23
USB/ シリアル・ポート・アダプタ 18

V

VNC 14

構成 92
サーバパラメータ 92
制御パスワード 94
接続パスワード 93
表示のみのパスワード 94

W

Web サーバパラメータ 99

Windows CE

オペレーティングシステム 14
機能 75
サーバのサポート 77

Windows Explorer 77

Windows コントロールパネル 78

ア

アースグラウンド

接続 33
配線 33

アクセサリ 17

アプリケーション

整合性のチェック 65
バックアップ 79
復元 79

アプリケーションの復元 79

アラーム 66

安全に関する注意事項

USB デバイスの接地 112
アーク放電 32, 35, 115
アースグラウンド接続 33
感電 111
配線および安全に関するガイドライン 20
爆発の危険 32, 35
バッテリーの交換 117
非常停止 19

イ

イーサネット

- コネクタのピン配列 35
- ステータスインジケータ 35
- ドライバ 52
- 二重性の設定 54
- リンク速度 54

イベントログ

- イベント 66
- エラー 66
- 警告 66

印刷設定 62

インジケータ

- ERR 132
- STS 132

ウ

ウォッチドッグエラー 107

エ

エラーインジケータ 132

オ

温度 67

- 現在の温度を表示 87
- コード T4 22
- 条件 87
- センサの故障 87

温度超過メッセージ 67

カ

仮想キーボード 13

カタログ番号

- PanelView Plus 7 Standard ターミナル 16
- SD カード 17
- USB プログラミングケーブル 17
- 交換用バッテリー 17
- 電源 17
- 電源端子台 17
- 取付け具 17
- 保護オーバーレイ 17

カットアウト寸法 24

ガルバニ絶縁 112

環境およびエンクロージャに関する注意事項 20

キ

キーボード 78

起動

- オプション 15, 37, 49
- シーケンス 37

起動オプションの構成 39

キャリブレーション

- タッチスクリーン 60, 108

ク

クライアント接続の認証 89

クローズドシステム 106

ケ

ケーブル

- イーサネットポート間の長さ 34
- インダクタンス値 23
- 静電容量値 23

言語

- 設定 72

コ

構成モード 15

構成モードへのアクセス

- Goto Configuration Mode ボタン 39
- HMI アプリケーションから 39
- Windows デスクトップから 39

コマンドプロンプト

- Foxitreader 110
- 構文 110
- パラメータ 110

コントロールパネル

- タッチスクリーンのキャリブレーション 108

サ

サーキットブレーカ定格 20

サーバ

- FTP 100
- アドレス 54
- ファイル 103
- 有効 / 無効 91

シ

シェルオプション 105

時刻

- 形式 73
- 設定 71

システム

- 情報 131
- ステータス 132

システム・イベント・ログ 86

- 最大サイズ 86

資料のダウンロード 9

診断 64

- 高度な 107

ス

数値キーパッド 13

スクリーンカーソル

- 有効 / 無効 59

スクリーンセーバ

- 構成 59

ステータスインジケータ 132

- イーサネット 35

寸法

- パネルカットアウト 24

セ

セーフモード 106, 137

静電気 111

設置

- パネルカットアウト 24
- 全データを消去 137

ソ**ソフトウェアバージョン**

- FactoryTalk View Machine Edition Station 13
- FactoryTalk View Studio for Machine Edition 13
- FactoryTalk ViewPoint 13

ソフトキーボードのコントロール 42**タ****ターミナル**

- 設定 41
- デバイス名 55

ターミナルステータス

- バッテリー電圧 67
- プロセッサ温度 67
- メモリ割当て 68
- ランタイム RAM 68

ターミナルの構成

- オープンシステム 14
- クローズドシステム 14

ターミナルの取付け

- 間隔 24
- 最小限の間隔 24
- 周囲温度 24
- 準備 25
- 設置場所に関する注意事項 24
- 取付けレバー 25
- パネル内 28

ターミナルのリセット 39**大気の発火温度 22****タイム**

- ゾーン 70

ダウンロード

- 資料 9

タッチスクリーン

- 感度の設定 61
- キャリブレーション 60, 108
- ジェスチャ
 - タップ 13
 - ダブルタップ 13
 - ドラッグ 13
 - 長押し 13

- 入力 13

タッチスクリーンのキャリブレーション 108**端子台**

- 電源 32

テ**ディスプレイ**

- バックライトの調整 58

テクニカルサポート 69**デスクトップ**

- カーソル 84
- 外観 83
- 回転 85
- 輝度 83
- スクリーンセーバ 84
- 背景の画像 83

デスクトップアクセス

- 制限 44, 45
- デフォルトのパスワード 44
- パスワード 44
- パスワードの再設定 48
- パスワードの設定 47
- 無効 45
- 有効 44

デバイス名

- ターミナル 55

電源

- PELV 33
- SELV 33
- 仕様 12
- 接続 33
- 端子台
 - 取付け 32
 - 取り外し 32
 - ワイヤ仕様 32

電力

- DC バス 33
- 供給 33
- 公称 DC24V 33
- 定格 33

ト**トラブルシューティング 85****ニ****入力パネル 78****ネ****ネットワーク**

- FTP サーバ 100
- VNC サーバ 92
- サポートされるタイプ 34
- トポロジ 34
- ファイルサーバ 103

ネットワークトポロジ

- スター 36
- リニア 35

ハ**ハードウェアの仕様**

- SD カードスロット 12
- USB デバイスポート 12
- USB ホストポート 12
- イーサネットポート 12
- ステータスインジケータ 12
- ディスプレイ / タッチスクリーン 12
- バッテリー 12

配線および安全に関するガイドライン 20**爆発の危険 32, 35, 117****バックアップイメージ 81****バックアップ電源 117**

バッテリー

- 警告 105
- 交換 117
- 状態 87
- 電圧の表示 87
- バックアップ電源 117
- リチウム 117

バッテリー電圧 67

パネルカットアウト寸法 24

ヒ

日付

- 設定 71

日付形式

- 長い 74
- 短い 74

ヒューズ定格 20

フ

ブートオプション 106

ファームウェア

- アップグレードウィザード 123
- アップグレードに失敗 126, 130
- アップグレードパッケージ 122
- アップグレードファイルをコピー
 - SDカードに 123
 - USBフラッシュドライブに 123
- アップグレード方法 123

- ダウンロード 122
- 破損 126

- リビジョン 69

ファームウェアアップグレード

- SDカード経由 126
- USBフラッシュドライブ経由 126
- ウィザード 123
- 記憶装置の使用 123
- ネットワーク接続経由 127

ファイルサーバ

- 構成 103

フォルトインジケータ

- ハードウェア 132
- ファームウェア 132

フォント 139

プリンタ 113

プリンタ設定 62

プロセス

- ターミナルで実行中 85
- メモリ使用率 85

分岐回路 20

ホ

保護オーバーレイ 119

- クリーニング 120
- 取付け 119
- 取り外し 120

ボタンのスタイル 106

メ

メンテナンスモード 137

ユ

ユーザアカウント 89

ラ

ラダーロジック 9

リ

リチウムバッテリー

- 安全な取り扱い 117

リリースノート 10

ロ

ログファイル

- アプリケーションファイル 65
- 削除 57
- ランタイムファイル 65

当社のサポートサービス

ロックウェル・オートメーションでは、Web に製品の使用を支援するための技術情報を提供しています。<http://www.rockwellautomation.com/support> では、テクニカルノートやアプリケーションノート、サンプルコードやソフトウェア・サービス・パックへのリンクがあります。

また、サポートセンター (<https://rockwellautomation.custhelp.com/>) にアクセスして、ソフトウェアアップデート、サポート用のチャットやフォーラム、技術的な情報、FAQ などが利用でき、製品のアップデート通知を申し込むこともできます。

さらに、設置、構成、およびトラブルシューティングのための複数のサポートプログラムもご用意しています。詳細は、代理店またはロックウェル・オートメーションの支店に問い合わせるか、または <http://www.rockwellautomation.com/services/online-phone> をご覧ください。

設置支援

設置から 24 時間以内にハードウェアモジュールに問題が起こったときは、まず本書に記載された情報を確認してください。製品の起動と動作の初期支援のための特別なカスタマサポート番号にご連絡いただくこともできます。

米国またはカナダ	1.440.646.3434
米国またはカナダ以外	弊社の Webu サイト : http://www.rockwellautomation.com/rockwellautomation/support/overview.page の Worldwide Locator にアクセスするか、お近くのロックウェル・オートメーションの代理店までお問い合わせください。

製品の返品

ロックウェル・オートメーションでは、製造工場からの出荷時に製品が完全に動作することをテストしていますが、製品が機能せず返品する必要があるときには、以下のように手続きを行なってください。

米国	代理店に連絡してください。返品手続きを行なうには、代理店にカスタマサポートのケース番号を知らせる必要があります (ケース番号は上記の電話番号にお問い合わせください)。
米国以外	返品手続きについては、お近くのロックウェル・オートメーションの支店にお問い合わせください。

マニュアルに関するご意見やご要望

お客様のご意見はより良いマニュアル作りに役立ちます。マニュアルの改善についてご提案があれば、フォーラム (Pub.No. [RA-DU002](#) (<http://www.rockwellautomation.com/literature/> で入手可能)) にご意見をご記入してお送りください。

ロックウェル・オートメーションでは、以下の Web サイトで最新の製品環境情報を公開しています。
<http://www.rockwellautomation.com/rockwellautomation/about-us/sustainability-ethics/product-environmental-compliance.page>

www.rockwellautomation.com

Power, Control and Information Solutions Headquarters

Americas: Rockwell Automation, 1201 South Second Street, Milwaukee, WI 53204-2496 USA, Tel: (1) 414.382.2000, Fax: (1) 414.382.4444

Europe/Middle East/Africa: Rockwell Automation NV, Pegasus Park, De Kleetlaan 12a, 1831 Diegem, Belgium, Tel: (32) 2 663 0600, Fax: (32) 2 663 0640

Asia Pacific: Rockwell Automation, Level 14, Core F, Cyberport 3, 100 Cyberport Road, Hong Kong, Tel: (852) 2887 4788, Fax: (852) 2508 1846

ロックウェル オートメーション ジャパン株式会社
本社営業部 〒104-0033 東京都中央区新川1-3-17 Tel (03) 3206-2786 Fax (03) 3206-2796
関西支店 〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-1-14 Tel (06) 6397-1020 Fax (06) 6397-1090
中部支店 〒460-0003 名古屋市中区錦1-6-5 Tel (052) 222-7060 Fax (052) 222-7065